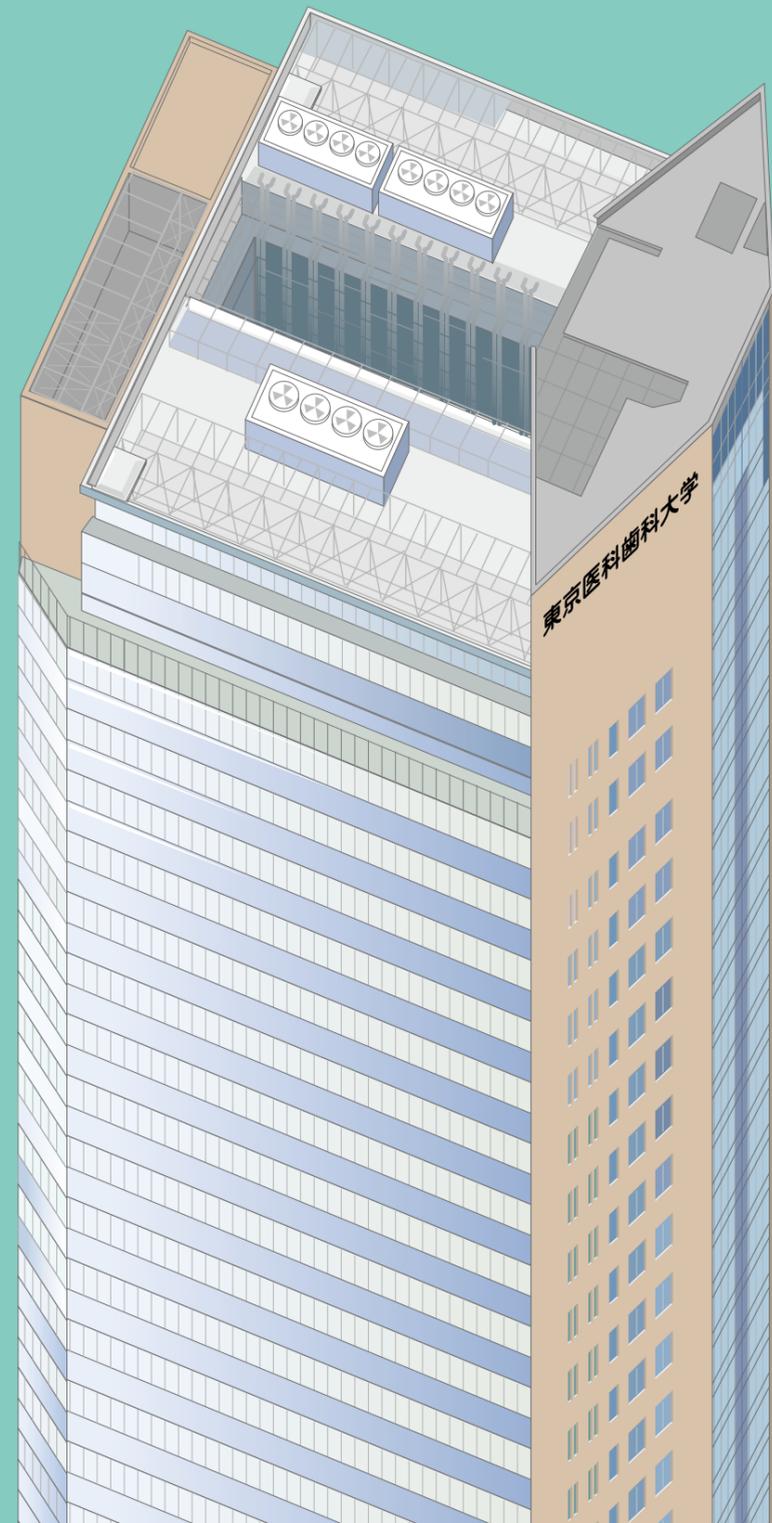


# TMDU OVERVIEW 2008

平成 20 年度

国立大学法人 東京医科歯科大学概要  
Tokyo Medical and Dental University



平成20年度

国立大学法人 東京医科歯科大学概要 Tokyo Medical and Dental University

TMDU OVERVIEW 2008



## TMDU OVERVIEW 2008 国立大学法人 東京医科歯科大学概要



編集発行  
国立大学法人 東京医科歯科大学広報室  
〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45  
電話：03-5803-4530  
ホームページ：http://www.tmd.ac.jp/

医歯学総合研究棟（Ⅱ期棟）

# Tokyo Medical and Dental University

## 教育理念

幅広い教養と豊かな感性を備えた  
人間性の養成

自己問題提起、  
自己問題解決型の創造的人間の養成

国際性豊かな医療人の養成

## P.02 学長からのメッセージ

### P.04 沿革・組織

- 06 歴代校長及び学長
- 07 沿革図
- 10 運営組織等
- 12 機構図
- 14 役職員

### P.18 大学院・学部等

- 20 大学院 医歯学総合研究科
- 24 大学院 保健衛生学研究科
- 24 大学院 生命情報科学教育部
- 24 大学院 疾患生命科学研究所
- 25 医学部、歯学部
- 26 教養部、生体材料工学研究所
- 27 難治疾患研究所
- 28 附属図書館
- 29 全国共同利用施設、学内共同教育研究施設、保健管理センター
- 30 附属病院

### P.32 特色ある教育・研究

- 34 今年度新規採択プロジェクト
- 36 グローバルCOEプログラム
- 38 がんプロフェッショナル養成プラン
- 39 現代的教育ニーズ取組支援プログラム
- 40 大学病院連携型高度医療人養成推進事業
- 41 大学教育の国際化推進プログラム（戦略的国際連携支援）
- 42 社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム
- 45 特色ある大学教育支援プログラム
- 46 大学院教育改革支援プログラム
- 48 科学技術振興調整費
- 52 新興・再興感染症研究拠点形成プログラム
- 53 独自のシーズ展開事業 大学発ベンチャー創出推進
- 54 分子イメージング研究プログラム
- 55 ライフサイエンス分野の統合データベース整備事業
- 56 日本学術振興会先端研究拠点事業
- 57 大学教育の国際化加速プログラム（国際共同・連携支援（総合戦略型））
- 58 産学官連携戦略展開事業（戦略展開プログラム）
- 59 特別教育研究経費
- 64 政策課題対応経費
- 65 大学院医歯学総合研究科医歯科学専攻（修士課程）  
医療管理政策学（MMA）コース  
知的財産本部・技術移転センター（TLO）

### P.66 国際交流

- 68 パートナース・ハーバード・メディカル・インターナショナルとの医学教育提携
- 70 国際交流協定校／学部等間協定
- 72 外国人留学生在籍者数

### P.74 統計

- 76 職員数
- 77 学生数（大学院）
- 78 学生数（学部）
- 79 平成20年度入学志願者・入学者数（大学院）
- 80 平成20年度入学志願者・入学者数（学部）
- 81 大学院修了者・学部卒業生数及び進路（大学院・学部）
- 82 学位授与数
- 83 附属教育施設
- 84 平成20年度科学研究費補助金採択状況
- 84 受託研究費等受入状況（平成19年度）
- 84 平成20年度厚生労働科学研究費補助金採択状況
- 85 寄附講座・寄附研究部門一覧、平成20年度収入・支出予算

- 86 キャンパス概要
- 88 土地・建物及び所在地、関係施設位置図

# 学長からのメッセージ

国立大学法人 東京医科歯科大学

学長

大山 喬史

## “世界で活躍する人材の育成を目指して”

東京医科歯科大学は、医歯学総合研究科、保健衛生学研究科、生命情報科学教育部、疾患生命科学研究部の4つの大学院組織、医学部医学科、医学部保健衛生学科、歯学部歯学科、歯学部口腔保健学科の4つの学部学科組織、教養教育を担当する教養部、生体材料工学研究所、難治疾患研究所の2つの附置研究所、および医学部附属病院、歯学部附属病院を擁する日本唯一の医療系総合大学院大学です。

本学が学生諸君に求める人間像は、あらゆる事象に好奇心を持ち、その多様性を尊重しつつも変化を求め、未知なるものへのチャレンジ精神を備え、真理を探究する努力を惜しまぬ科学者像であります。それは、「医学」を学び、「医学・医療」に携わる人に求められる姿そのものです。しかも、その「科学」は「人が生きる」上で役立つものでなければなりません。だからこそ、学生諸君がそれぞれの将来において、それまでの苦労を超えた、科学者としての無上の喜び、充実した達成感を得ることができるのです。

本学は、社会の要請に応え得る医師、歯科医師、コメディカルスタッフの養成は勿論、世界の第一線で活躍し得る研究者、指導者の育成を目指しております。したがって、大学は勉強するところではなく、勉強する方法を自ら学び、自律するための場であるとの認識を学生諸君に徹底しております。以上の目標、目的を達成するため、本学では3つの教育理念を掲げております。

## 1 幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性の養成

論語に「君子は、器ならず」とあります。ここで言う「器」とは特定の目的に使用される道具です。君子は決して単なる専門家ではいけないという意味です。「君子」とは学者、そして聖人を意味しますが、幅広い知識、豊かな感性が必要だと言っております。医療人こそ、ここで言う「器」であってはならないのです。

弟子が孔子に、「生涯守るもので一つを挙げるとしたら、それは何でしょうか」と尋ねたところ、「それは恕です。自分にして欲しくないことは、人にしてはならない」と孔子は答えております。「恕」とは「思いやり」を意味します。さらに弟子の曾子は、老師の人生は忠（まごころ）と恕（思いやり）、それに尽きますと述べています。「忠」とは、自分の良心に忠実なことを意味しますが、それだけでは他人に通用しない。そこで「恕」すなわち他人の身になってみて考える知的な同情を併せ持つことが大切だと答えています。

この「知的」というところが肝心で、単なる優しさ、憐みではなく、幅広い教養に根づいた同情を意味します。「忠」と「恕」とが一体となっているのが論語の根本原理「仁」なのです。まさに医療人たる心得を述べていると言えます。

私たち、医療の現場では、当然最善を尽くします。そこではある達成感があります。しかし、それだけでは自己満足にしか過ぎません。「最善を尽くしました」では済まされないのです。医療現場での達成感とは患者さん、ご家族の方々から「ありがとうございます」ということばがあって、はじめて真の達成感が得られるものです。私たち医療人の「忠恕」には患者さん、ご家族からの「ありがとう」との「答え」が必要なのです。

医学に携わるものは、「死とは」「老いるとは」というような、従来なら哲学の領域だったテーマにも関心を持ち、造詣を深めておき、自らの哲学的思考を絶えず磨き続ける努力をしていなければなりません。というのは、「再生医療」や「遺伝子治療」が注目されてきた最近の医療現場では、様々な場面で倫理上の決断を否応なく迫られることになるからです。

教養教育を通じて、幅広い知識や思考法などを獲得し、人間としてのあり方や生き方への深い洞察力を養うことが求められます。



## 2 自己問題提起、自己問題解決型の創造的人間の養成

最近まで、詰め込み教育を蔑視する傾向がありました。しかし、私たち医療人に限っては別です。まず十分な知識、技術を身につけて、初めての確な問題発見・適切な問題解決が可能となります。そうして、将来リーダーシップを発揮できる研究者、教育者、臨床家が育つというものです。一流のリーダーになるには、「知」と「技」に「ゆとり」があってはじめて可能となります。同時に、そのためには努力、忍耐が必要で、それに負けないだけの「体力と精神力」にも「ゆとり」が必要です。

また、「知識や情報を沢山得て、どれだけ習っていても自分で考えてみないと、自分の人生でどう生かせばよいのか分からない。逆に、個人の理性の中だけに頼った思案だけでは独善的になって過ちを犯すことになり兼ねない」という意味の言葉『学びて思わざれば則ち（すなわ）ち罔（くら）く、思いて学ざれば則ち殆（うたが）う』がありますが、これは、カントの批判哲学『知識は経験と共に始まるが、思惟がなければ盲目となる。』を連想させる孔子の発想です。

学生諸君には、教養科目、専門科目のいずれにおいても、決して蔑ろにすることなく自ら学んで、自ら問いかける学問をしていただきたい、そして自ら答えを導き出す能力を自ら育む習慣を身につけてもらうことを期待しております。

## 3 国際性豊かな医療人の養成

本学は臨床面でも研究面でも国際舞台でリーダーシップがとれる医療人を養成することが期待されております。日本人としての幅広い教養を身につけ、日本の精神文化と豊かな感性を備えて、はじめて国際性豊かな人材が育まれるものです。幅広い教養を身につければ、日本の文化に根付いた教育、研究、臨床を創出できる医療人が育つものと期待しております。

医学部ではハーバード大学での臨床実習を行っており、今まで32名の学生が参加し、教育現場で高い評価を得ています。歯学部においてもそのような教育カリキュラムの導入について検討を開始しております。これは、教育を外国に委託するというのではなく、また単なる物まねでもありません。確かに「学ぶ」とは「まねる」から派生したことばのようですが、本学では既に「まねる」から脱して本学独自の教育システムを構築してきました。

また、それとは別に各学部学科の成績・就学態度の優秀者には数ヶ月の海外研修の機会が与えられます。すべての学生諸君に頑張ってもらって、是非その機会を掴んでもらいたいと思っております。

最後に、論語に「徳は孤（こ）ならず、必ず鄰（となり）有り」とあります。これは、人間としての徳を磨き、徳を備えれば、一見孤立しているように見えても、必ず理解者、感銘を受けた人が傍に集まってくるものです。大学時代に多くの良き友人、尊敬する先輩、師匠、恩師に出会い、“自分自身を磨いてもらいたいものです”。人こそ生涯にわたる貴重な財産となります。

Message  
from  
the President



# 沿革・組織

## Overview 2008

歴代校長及び学長

沿革図

運営組織等

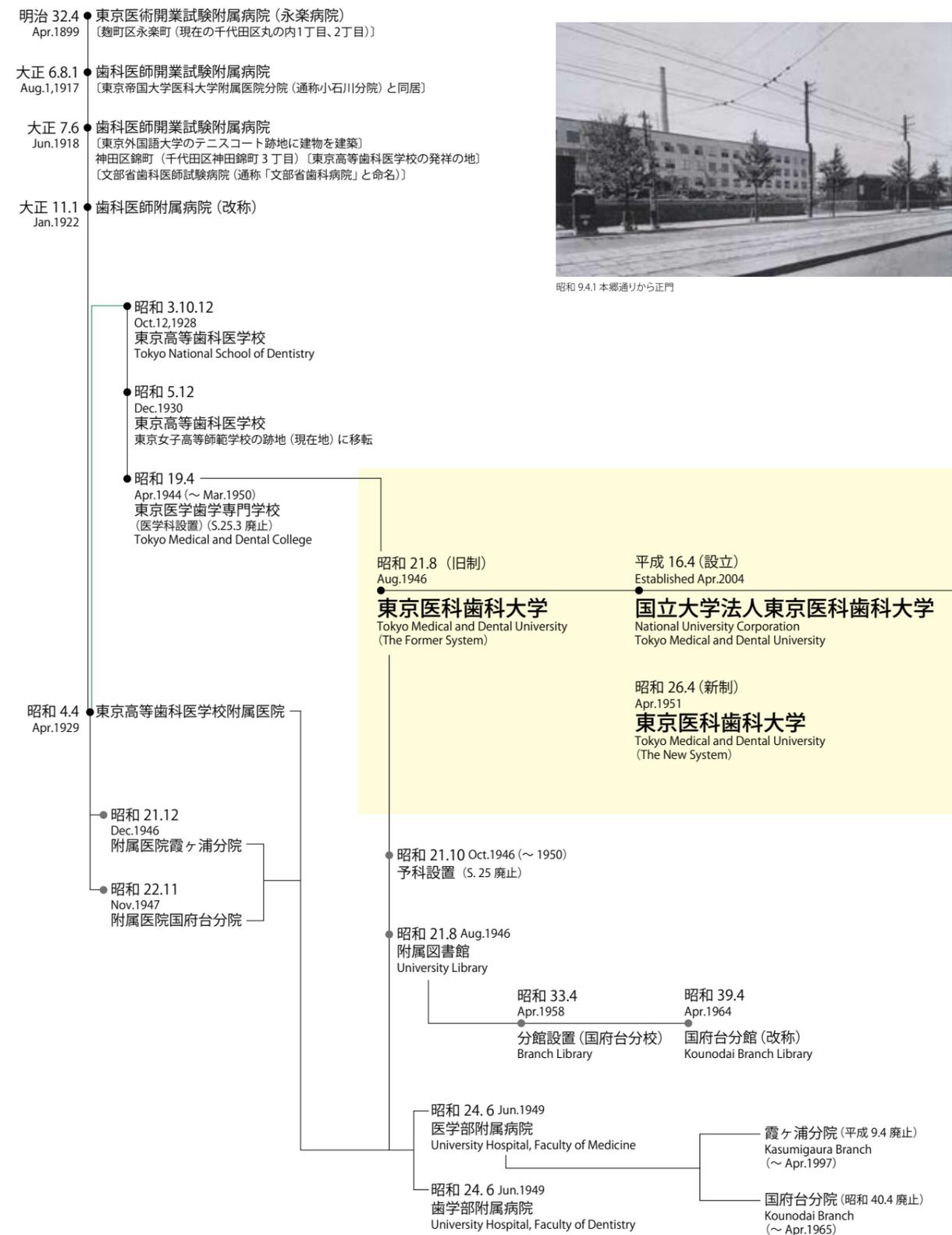
機構図

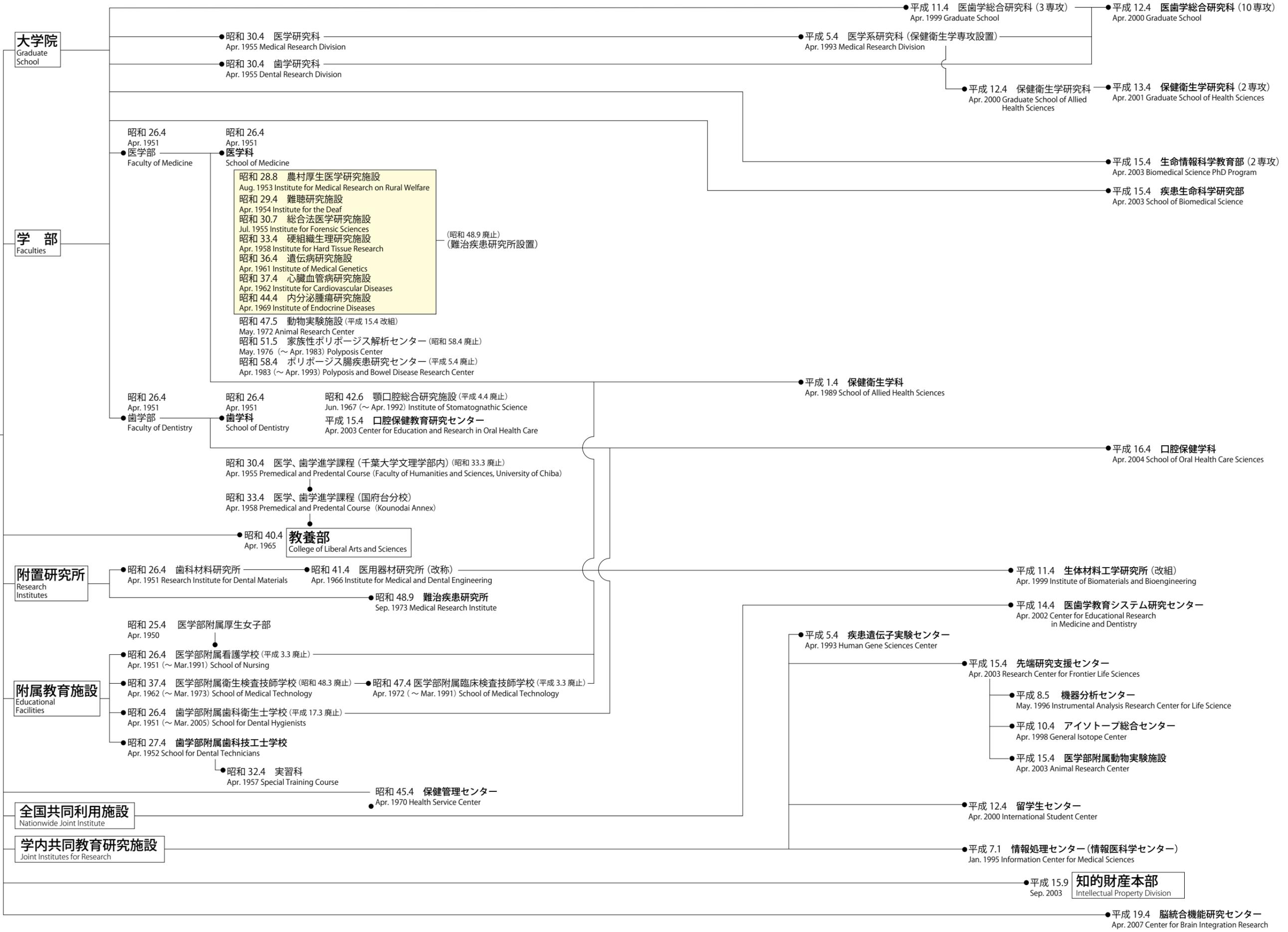
役職員

## 歴代校長及び学長

東京高等歯科医学校長 Tokyo National School of Dentistry	昭和3年10月13日～昭和19年3月31日 Oct.13,1928～Mar.31,1944	島峰 徹 Shimamine Toru
東京医学歯学専門学校長 Tokyo Medical and Dental College	昭和19年4月1日～昭和20年2月9日 Apr.1,1944～Feb.9,1945	島峰 徹 Shimamine Toru
東京医学歯学専門学校長事務取扱 Tokyo Medical and Dental College	昭和20年2月10日～昭和20年2月19日 Feb.10,1945～Feb.19,1945	長尾 優 Nagao Masaru
東京医学歯学専門学校長 Tokyo Medical and Dental College	昭和20年2月20日～昭和25年3月31日 Feb.20,1945～Mar.31,1950	長尾 優 Nagao Masaru
東京医科歯科大学長事務取扱 Tokyo Medical and Dental University	昭和21年8月27日～昭和21年10月4日 Aug.27,1946～Oct.4,1946	長尾 優 Nagao Masaru
東京医科歯科大学長(旧制) Tokyo Medical and Dental University (The Former System)	昭和21年10月5日～昭和26年3月31日 Oct.5,1946～Mar.31,1951	長尾 優 Nagao Masaru
東京医科歯科大学長(新制) Tokyo Medical and Dental University (The New System)	昭和26年4月1日～昭和36年6月30日 Apr.1,1951～Jun.30,1961	長尾 優 Nagao Masaru
	昭和36年7月1日～昭和43年2月29日 Jul.1,1961～Feb.29,1968	岡田 正弘 Okada Masahiro
東京医科歯科大学長事務取扱 Tokyo Medical and Dental University	昭和43年3月1日～昭和43年3月15日 Mar.1,1968～Mar.15,1968	太田 敬三 Ota Keizo
東京医科歯科大学長 Tokyo Medical and Dental University	昭和43年3月16日～昭和44年10月8日 Mar.16,1968～Oct.8,1969	太田 敬三 Ota Keizo
東京医科歯科大学長事務取扱 Tokyo Medical and Dental University	昭和44年10月9日～昭和45年9月17日 Oct.9,1969～Sep.17,1970	清水 文彦 Shimizu Fumihiko
東京医科歯科大学長 Tokyo Medical and Dental University	昭和45年9月18日～昭和49年9月17日 Sep.18,1970～Sep.17,1974	清水 文彦 Shimizu Fumihiko
	昭和49年9月18日～昭和52年7月31日 Sep.18,1974～Jul.31,1977	勝木 保次 Katsuki Yasuji
	昭和52年8月1日～昭和60年7月31日 Aug.1,1977～Jul.31,1985	吉田 久 Yoshida Hisashi
	昭和60年8月1日～平成3年7月31日 Aug.1,1985～Jul.31,1991	加納 六郎 Kano Rokuro
	平成3年8月1日～平成7年7月31日 Aug.1,1991～Jul.31,1995	山本 肇 Yamamoto Hajime
	平成7年8月1日～平成16年3月31日 Aug.1,1995～Mar.31,2004	鈴木 章夫 Suzuki Akio
国立大学法人東京医科歯科大学長 National University Corporation Tokyo Medical and Dental University	平成16年4月1日～平成20年3月31日 Apr.1,2004～Mar.31,2008	鈴木 章夫 Suzuki Akio
	平成20年4月1日～ Apr.1,2008～	大山 喬史 Ohyama Takashi

## 沿革図





# 運営組織等

## 体制図



# 役員会 Board of Trustees

## 重要事項の議決 Vote on important items

学長 President 大山 喬史 Ohyama Takashi	大山 喬史 Ohyama Takashi
理事(企画・国際交流担当) Trustee (Planning/International Exchange) 佐々木 成 Sasaki Sei	佐々木 成 Sasaki Sei
理事(総務・財務・施設担当) Trustee (General Affairs/Finance/Facilities) 入江 孝信 Irie Takanobu	入江 孝信 Irie Takanobu
理事(教育担当) Trustee (Education) 須田 英明 Suda Hideaki	須田 英明 Suda Hideaki
理事(研究担当) Trustee (Research) 篠田 義一 Shinoda Yoshikazu	篠田 義一 Shinoda Yoshikazu
理事(医療担当) Trustee (Medical/Dental/Treatment) 吉澤 靖之 Yoshizawa Yasuyuki	吉澤 靖之 Yoshizawa Yasuyuki

# 経営協議会 Administrative Council

## 経営に関する重要事項を審議 Deliberate on management issues

### 【学内委員】 Internal Committee

学長 President 大山 喬史 Ohyama Takashi	大山 喬史 Ohyama Takashi
理事(企画・国際交流担当) Trustee (Planning/International Exchange) 佐々木 成 Sasaki Sei	佐々木 成 Sasaki Sei
理事(総務・財務・施設担当) Trustee (General Affairs/Finance/Facilities) 入江 孝信 Irie Takanobu	入江 孝信 Irie Takanobu
理事(教育担当) Trustee (Education) 須田 英明 Suda Hideaki	須田 英明 Suda Hideaki
理事(研究担当) Trustee (Research) 篠田 義一 Shinoda Yoshikazu	篠田 義一 Shinoda Yoshikazu
理事(医療担当) Trustee (Medical/Dental/Treatment) 吉澤 靖之 Yoshizawa Yasuyuki	吉澤 靖之 Yoshizawa Yasuyuki

### 【学外委員】 External Committee

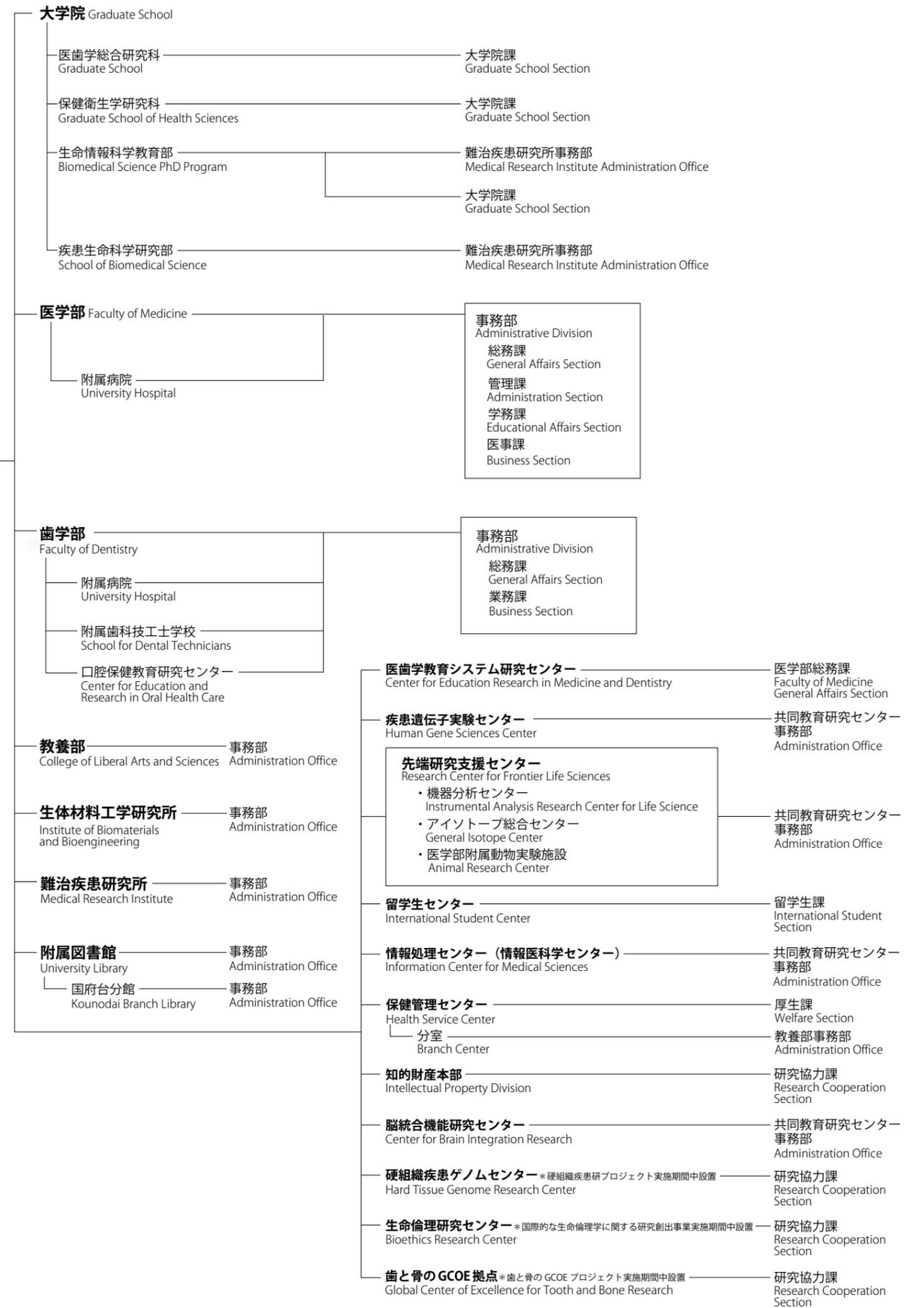
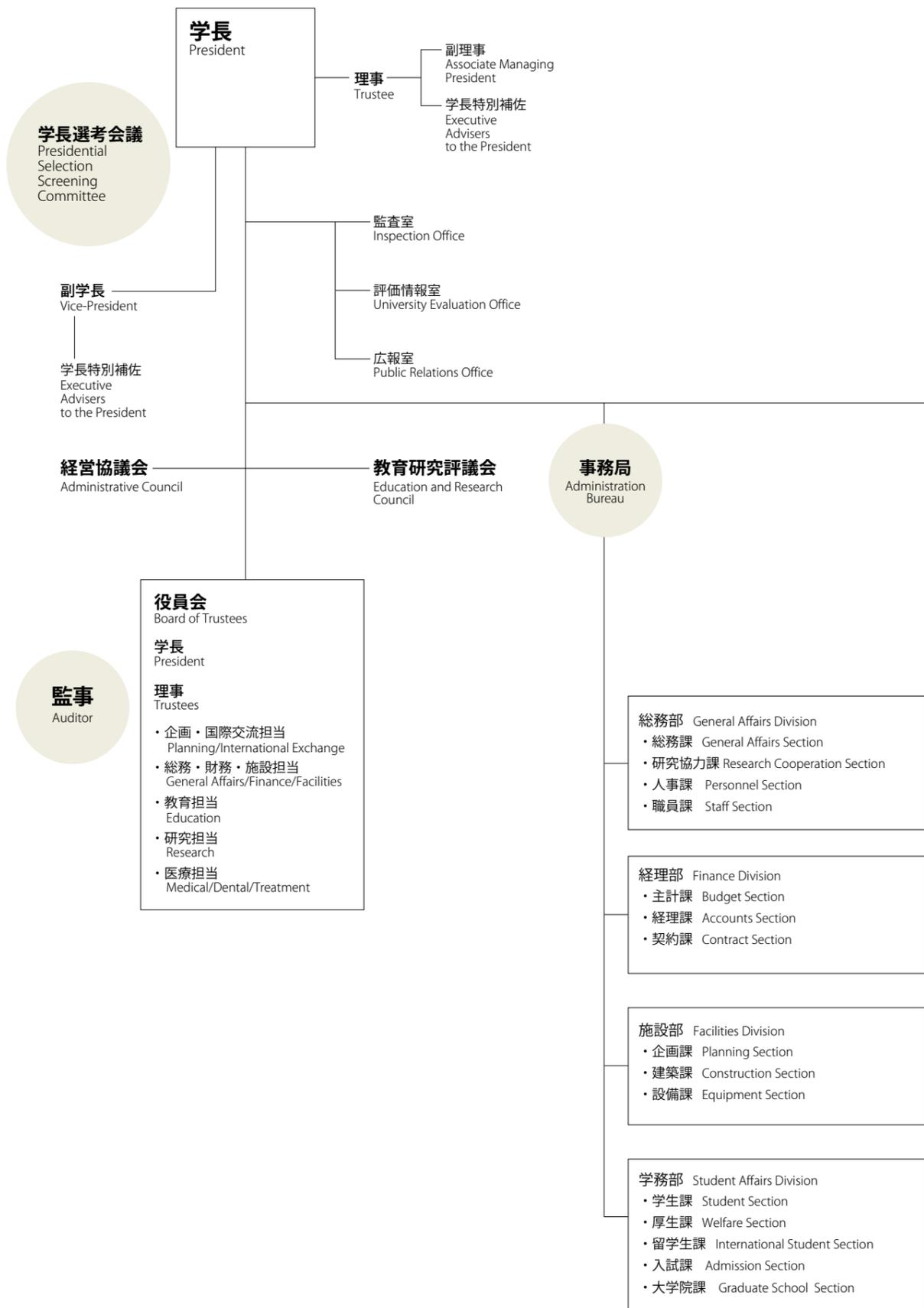
クオンタムリープ株式会社代表取締役 Chief Executive Officer, Quantum Leaps Corporation 出井 伸之 Idei Nobuyuki	財団法人放送大学教育振興会理事長 Chairperson of The Society for the Promotion of the University of the Air 井上 孝美 Inoue Takayoshi
文京学院大学 Dean of the Faculty of Health Science Technology Bunkyo Gakuin University, Professor 小池 盛雄 Koike Morio	あいおい損害保険会社特別顧問 Aioi Insurance Co., Ltd, Special Adviser 瀬下 明 Seshimo Akira
高橋矯正歯科診療所理事長、本学名誉教授 Director of Takahashi Orthodontic Office, Professors Emeritus 三浦 不二夫 Miura Fujio	読売新聞グループ本社 代表取締役会長・主筆 Chairman of the Board, Editor-in-Chief, The Yomiuri Shimbun Holdings 渡邊 恒雄 Watanabe Tsuneo

# 教育研究評議会 Education and Research Council

## 教育研究に関する重要事項を審議 Deliberate on educational and research issues

学長 President 大山 喬史 Ohyama Takashi	大山 喬史 Ohyama Takashi	生体材料工学研究所長 Director, Institute of Biomaterials and Bioengineering 山下 仁大 Yamashita Kimihiro
理事(企画・国際交流担当) Trustee (Planning/International Exchange) 佐々木 成 Sasaki Sei	佐々木 成 Sasaki Sei	難治疾患研究所長 Director, Medical Research Institute 野田 政樹 Noda Masaki
理事(総務・財務・施設担当) Trustee (General Affairs/Finance/Facilities) 入江 孝信 Irie Takanobu	入江 孝信 Irie Takanobu	附属図書館長 Director, University Library 天笠 光雄 Amagasa Teruo
理事(教育担当) Trustee (Education) 須田 英明 Suda Hideaki	須田 英明 Suda Hideaki	医学部附属病院長 Director, University Hospital, Faculty of Medicine 坂本 徹 Sakamoto Tohru
理事(研究担当) Trustee (Research) 篠田 義一 Shinoda Yoshikazu	篠田 義一 Shinoda Yoshikazu	歯学部附属病院長 Director, University Hospital, Faculty of Dentistry 嶋田 昌彦 Shimada Masahiko
理事(医療担当) Trustee (Medical/Dental/Treatment) 吉澤 靖之 Yoshizawa Yasuyuki	吉澤 靖之 Yoshizawa Yasuyuki	大学院歯医学総合研究科教授(医学系) Professor of the Graduate School(Medicine) 湯浅 保仁 Yuasa Yasuhiro
大学院歯医学総合研究科長、歯学部長 Dean, Graduate School Dean, Faculty of Dentistry 田上 順次 Tagami Junji	田上 順次 Tagami Junji	大学院歯医学総合研究科教授(歯学系) Professor of the Graduate School(Dentistry) 森田 育男 Morita Ikuo
大学院保健衛生学研究科長 Dean, Graduate School of Health Sciences 佐藤 健次 Sato Kenji	佐藤 健次 Sato Kenji	大学院保健衛生学研究科教授 Professor of the Graduate School of Health Sciences 井上 智子 Inoue Tomoko
大学院生命情報科学教育部長 Dean of Biomedical Science PhD Program 田中 博 Tanaka Hiroshi	田中 博 Tanaka Hiroshi	教養部教授 Professor of the College of Liberal Arts and Sciences 千葉 司 Chiba Tsukasa
大学院疾患生命科学研究部長 Dean of the School of Biomedical Science 大野 喜久郎 Ohno Kikuo	大野 喜久郎 Ohno Kikuo	生体材料工学研究所教授 Professor of the Institute of Biomaterials and Bioengineering 三林 浩二 Mitsubayashi Koji
医学部長 Dean, Faculty of Medicine 和田 勝 Wada Masaru	和田 勝 Wada Masaru	難治疾患研究所教授 Professor of the Medical Research Institute 北嶋 繁孝 Kitajima Shigetaka

# 機構図



## 役職員

<b>学長</b> President	大山 喬史 Ohyama Takashi	<b>副学長</b> Vice-President	総括 Overall Management	大野 喜久郎 Ohno Kikuo	<b>学長特別補佐</b> Executive Advisers to the President	企画・国際交流担当 Planning/International Exchange	川口 陽子 Kawaguchi Yoko	<b>事務局</b> Administration Bureau	事務局長 Director General	入江 孝信 Irie Takanobu
<b>理事</b> Trustee		入試 Entrance Exam	喜多村 健 Kitamura Ken	教育担当 Education	田中 雄二郎 Tanaka Yujiro	総務部長 Director, General Affairs Division	島村 富雄 Shimamura Tomio	総務課長 Head, General Affairs Section	土居 孝一 Doi Koichi	
企画・国際交流担当 Planning/International Exchange	佐々木 成 Sasaki Sei	評価 Evaluation	木村 彰方 Kimura Akinori	教育担当 Education	小村 健 Omura Ken	総務課長 Head, General Affairs Section	研究協力課長 Head, Research Cooperation Section	研究協力課長 Head, Research Cooperation Section	村田 正一 Murata Shoichi	
総務・財務・施設担当 General Affairs/Finance/Facilities	入江 孝信 Irie Takanobu	情報管理 Information management	高瀬 浩造 Takase Koza	研究担当 Research	森田 育男 Morita Ikuo	人事課長 Head, Personnel Section	職員課長 Head, Staff Section	職員課長 Head, Staff Section	常盤 勝己 Tokiwa Katsumi	
教育担当 Education	須田 英明 Suda Hideaki	苦情相談・学生支援 Complaint Consultation and Student support	谷口 尚 Taniguchi Hisashi	入試 Entrance Exam	東 みゆき Azuma Miyuki	経理課長 Head, Finance Division	経理部長 Director, Finance Division	経理部長 Director, Finance Division	阿部 幸輔 Abe Kousuke	
研究担当 Research	篠田 義一 Shinoda Yoshikazu	広報 Public Relations	高谷 節雄 Takatani Setsuo	入試 Entrance Exam	森尾 友宏 Morio Tomohiro	主計課長 Head, Budget Section	主計課長 Head, Budget Section	主計課長 Head, Budget Section	鳥居 剛志 Shimai Tsuyoshi	
医療担当 Medical/Dental/Treatment	吉澤 靖之 Yoshizawa Yasuyuki	産学連携 Industrial Collaboration	宮坂 信之 Miyasaka Nobuyuki	評価 Evaluation	水谷 修紀 Mizutani Shuki	経理課長 Head, Accounts Section	経理課長 Head, Accounts Section	経理課長 Head, Accounts Section	齋藤 勝男 Saitou Katsuo	
<b>監事</b> Auditor			佐々木 成 Sasaki Sei	評価 Evaluation	柳下 正樹 Yanagishita Masaki	契約課長 Head, Contract Section	契約課長 Head, Contract Section	契約課長 Head, Contract Section	菅瀬 真生 Sugase Manabu	
	小林 徹 Kobayashi Toru		須田 英明 Suda Hideaki	苦情相談・学生支援 Complaint Consultation and Student support	松浦 雅人 Matsuura Masato	施設部長 Director, Facilities Division	施設部長 Director, Facilities Division	施設部長 Director, Facilities Division	田中 敏夫 Tanaka Toshio	
	高橋 茂樹 Takahashi Shigeki		篠田 義一 Shinoda Yoshikazu	苦情相談・学生支援 Complaint Consultation and Student support	江石 義信 Eishi Yoshinobu	企画課長 Head, Planning Section	企画課長 Head, Planning Section	企画課長 Head, Planning Section	齋藤 禎美 Saitou Yoshimi	
		<b>副理事</b> Associate Managing Trustee	吉澤 靖之 Yoshizawa Yasuyuki	広報 Public Relations	高久田 和夫 Takakuda Kazuo	建築課長 Head, Construction Section	建築課長 Head, Construction Section	建築課長 Head, Construction Section	草 一宏 Kusa Kazuhiro	
		企画・国際交流担当 Planning/International Exchange	鳥山 一 Karasuyama Hajime	産学連携 Industrial Collaboration	水島 昇 Mizushima Noboru	設備課長 Head, Equipment Section	設備課長 Head, Equipment Section	設備課長 Head, Equipment Section	齋藤 道孝 Saitou Michitaka	
		教育担当 Education	和田 勝 Wada Masaru			学務部長 Director, Student Affairs Division	学務部長 Director, Student Affairs Division	学務部長 Director, Student Affairs Division	谷田 弘 Tanida Hiroshi	
		研究担当 Research	野田 正樹 Noda Masaki			学生課長 Head, Student Section	学生課長 Head, Student Section	学生課長 Head, Student Section	山戸 恵秀 Yamato Suguru	
		研究担当 Research	水澤 英洋 Mizusawa Hidehiro			厚生課長 Head, Welfare Section	厚生課長 Head, Welfare Section	厚生課長 Head, Welfare Section	(兼) 山戸 恵秀 Yamato Suguru	
		医療担当 Medical/Dental/Treatment	坂本 徹 Sakamoto Tohru			留学生課長 Head, International Student Section	留学生課長 Head, International Student Section	留学生課長 Head, International Student Section	長岡 篤 Nagaoka Atsushi	
		医療担当 Medical/Dental/Treatment	嶋田 昌彦 Shimada Masahiko			入試課長 Head, Admission Section	入試課長 Head, Admission Section	入試課長 Head, Admission Section	早川 知宏 Hayakawa Tomohiro	
				<b>監査室</b> Inspection Office		大学院課長 Head, Graduate School	大学院課長 Head, Graduate School	大学院課長 Head, Graduate School	齋藤 良雄 Saitou Yoshio	
				監査室長 Head, Inspection Office	須田 英明 Suda Hideaki					
				<b>広報室</b> Public Relations Office						
				広報室長 Head, Public Relations Office	高谷 節雄 Takatani Setsuo					
				<b>評価情報室</b> University Evaluation Office						
				評価情報室長 Head, University Evaluation Office	木村 彰方 Kimura Akinori					

## 大学院

Graduate School

医歯学総合研究科長  
Dean, Graduate School田上 順次  
Tagami Junji医歯学総合研究科副研究科長  
Vice Dean, Graduate School大野 喜久郎  
Ohno Kikuo

保健衛生学研究科長

Dean, Graduate School of Health Sciences

佐藤 健次  
Sato Kenji

生命情報科学教育部長

Dean of Biomedical Science PhD Program

田中 博  
Tanaka Hiroshi

疾患生命科学部研究部長

Dean of the School of Biomedical Science

鏑田 武志  
Tsubata Takeshi

## 医学部

Faculty of Medicine

医学部長

Dean, Faculty of Medicine

大野 喜久郎  
Ohno Kikuo

医学科長

Director, School of Medicine

四宮 謙一  
Shinomiya Kenichi

保健衛生学科長

Director, School of Health Sciences

井上 智子  
Inoue Tomoko

附属病院長

Director, University Hospital

坂本 徹  
Sakamoto Tohru

事務部長

Director, Administrative Division

加藤 健  
Kato Ken

総務課長

Head, General Affairs Section

富田 有一  
Tomita Yuichi

管理課長

Head, Administration Section

廣瀬 一郎  
Hirose Ichiro

学務課長

Head, Educational Affairs Section

西山 茂  
Nishiyama Shigeru

医事課長

Head, Business Section

丸山 和久  
Maruyama Kazuhisa

## 歯学部

Faculty of Dentistry

歯学部長

Dean, Faculty of Dentistry

田上 順次  
Tagami Junji

歯学科長

Director, School of Dentistry

大谷 啓一  
Ohya Keiichi

口腔保健学科長

Director, School of Oral Health Care Sciences

吉増 秀實  
Yoshimasu Hidemi

附属病院長

Director, University Hospital

嶋田 昌彦  
Shimada Masahiko

歯科技工士学校長

Principal, School for Dental Technicians

三浦 宏之  
Miura Hiroyuki

口腔保健教育研究センター長

Director, Center for Education and Research in Oral Health Care

高木 裕三  
Takagi Yuzo

事務部長

Director, Administrative Division

中嶋 恒夫  
Nakajima Tsuneo

総務課長

Head, General Affairs Section

石橋 秀昭  
Ishibashi Hideaki

業務課長

Head, Business Section

石川 勝美  
Ishikawa Katsumi

## 教養部

College of Liberal Arts and Sciences

教養部長

Dean, College of Liberal Arts and Sciences

和田 勝  
Wada Masaru

事務長

Office Head

古市 和正  
Furuichi Kazumasa

## 生体材料工学研究所

Institute of Biomaterials and Bioengineering

研究所長

Director

山下 仁大  
Yamashita Kimihiro

事務長

Office Head

竹内 勉  
Takeuchi Tsutomu

## 難治疾患研究所

Medical Research Institute

研究所長

Director

野田 政樹  
Noda Masaki

事務長

Office Head

川柳 成巳  
Kawayanagi Narumi

## 附属図書館

University Library

館長

Director

天笠 光雄  
Amagasa Teruo

国府台分館長

Director, Kounodai Branch Library

鈴木 直  
Suzuki Tadashi

事務長

Office Head

仲野 正  
Nakano Tadashi

## 医歯学教育システム研究センター

Center for Education Research in Medicine and Dentistry

センター長

Head, Inspection Office

奈良 信雄  
Nara Nobuo

## 疾患遺伝子実験センター

Human Gene Sciences Center

センター長

Director

中村 正孝  
Nakamura Masataka

## 先端研究支援センター

Research Center for Frontier Life Sciences

センター長

Director

田邊 勉  
Tanabe Tsutomu

機器分析センター

Instrumental Analysis Research Center for Life Sciences

センター長

Director

田邊 勉  
Tanabe Tsutomu

アイソトープ総合センター

General Isotope Center

センター長

Director

森田 育男  
Morita Ikuo

医学部附属動物実験施設

Animal Research Center

施設長

Director

湯浅 保仁  
Yuasa Yasuhito

## 留学生センター

International Student Center

センター長

Office Head

和田 勝  
Wada Masaru

## 情報処理センター（情報医科学センター）

Information Center for Medical Sciences

センター長

Director

田中 博  
Tanaka Hiroshi

## 共同教育研究センター事務部

Joint Institutes for Education and Research Administration Office

事務長

Director

田中 孝行  
Tanaka Takayuki

## 保健管理センター

Health Service Center

センター長

Director

三宅 修司  
Miyake Shuji

## 知的財産本部

Intellectual Property Division

知的財産本部長

Director, Intellectual Property Division

宮坂 信之  
Miyasaka Nobuyuki

## 脳統合機能研究センター

Center for Brain Integration Research

センター長

Director

水澤 英洋  
Mizusawa Hidehiro

## 硬組織疾患ゲノムセンター

Hard Tissue Genome Research Center \* 硬組織疾患プロジェクト実施期間中設置

センター長

Director

野田 政樹  
Noda Masaki

## 生命倫理研究センター

Bioethics Research Center \* 国際的な生命倫理学に関する研究創出事業実施期間中設置

センター長

Director

水谷 修紀  
Mizutani Shuki

## 歯と骨のGCOE拠点

Global Center of Excellence for Tooth and Bone Research

\* 歯と骨のGCOEプロジェクト実施期間中設置

拠点長

Director

野田 政樹  
Noda Masaki



# 大学院・学部等

## Graduate Schools Faculties

- 大学院
- 医学部
- 歯学部
- 教養部
- 生体材料工学研究所
- 難治疾患研究所
- 附属図書館
- 全国共同利用施設
- 学内共同教育研究施設
- 保健管理センター
- 附属病院

医歯学総合研究科 Graduate School of Medical and Dental Sciences

修士課程

医歯科学専攻 Medical and Dental Sciences

医歯科学専攻 医療管理政策学コース Medical and Dental Sciences Master of Medical Administration Course

博士課程

口腔機能再構築学系専攻 Oral Health Sciences

講座	分野	教授
口腔機能再建学講座 Oral Restitution	口腔病理学 Oral Pathology 分子腫瘍学 Molecular Cellular Oncology and Microbiology 分子免疫学 Molecular Immunology 口腔放射線腫瘍学 Oral Radiation Oncology 顎口腔外科学 Oral and Maxillofacial Surgery 口腔放射線医学 Oral and Maxillofacial Radiology 麻酔・生体管理学 Anesthesiology and Clinical Physiology 疼痛制御学 Orofacial Pain Management 口腔病態診断科学 Diagnostic Oral Pathology	山口 朗 Yamaguchi Akira  東 みゆき Azuma Miyuki 三浦 雅彦 Miura Masahiko 小村 健 Omura Ken 倉林 亨 Kurabayashi Toru 海野 雅浩 Umino Masahiro 嶋田 昌彦 Shimada Masahiko
口腔機能発育学講座 Orofacial Development and Function	小児歯科学 Developmental Oral Health Sciences 咬合機能矯正学 Orthodontic Science	高木 裕三 Takagi Yuzo
摂食機能保存学講座 Restorative Sciences	う蝕制御学 Cariology and Operative Dentistry 摂食機能保存学 Fixed Prosthodontics 歯髄生物学 Pulp Biology and Endodontics 先端材料評価学 Advanced Biomaterials 有機材料学 Organic Biomaterials 機能材料学 Functional Biomaterials	田上 順次 Tagami Junji 三浦 宏之 Miura Hiroyuki 須田 英明 Suda Hideaki
摂食機能回復学講座 Masticatory Function Rehabilitation	部分床義歯補綴学 Removable Prosthodontics インプラント・口腔再生医学 Oral Implantology and Regenerative Dental Medicine 全部床義歯補綴学 Complete Denture Prosthodontics	五十嵐 順正 Igarashi Yoshimasa 春日井 昇平 Kasugai Shohei 水口 俊介 Minakuchi Shunsuke

顎顔面頸部機能再建学系専攻 Maxillofacial/Neck Reconstruction

講座	分野	教授
顎顔面機構制御学講座 Maxillofacial Biology	顎顔面解剖学 Maxillofacial Anatomy 認知神経生物学 Cognitive Neurobiology 分子発生学 Molecular Craniofacial Embryology 分子細胞機能学 Cellular Physiological Chemistry 分子神経生物学 Molecular Neurobiology	山下 靖雄 Yamashita Yasuo  井関 祥子 Iseki Sachiko 森田 育男 Morita Ikuo 野崎 修一 Nozaki Shuichi
顎顔面機能修復学講座 Maxillofacial Reconstruction and Function	顎顔面外科学 Maxillofacial Surgery 顎顔面矯正学 Maxillofacial Orthognathics 顎顔面補綴学 Maxillofacial Prosthetics 障害者歯科学 Dentistry for Persons with Disabilities 金属材料学 Metallic Biomaterials 機械学 Biomechanics	天笠 光雄 Amagasa Teruo 森山 啓司 Moriyama Keiji 谷口 尚 Taniguchi Hisashi
頭頸部再建学講座 Head and Neck Reconstruction	臨床解剖学 Clinical Anatomy 形成外科学 Plastic, Reconstructive and Cosmetic Surgery 頭頸部外科学 Head and Neck Surgery 腫瘍放射線医学 Diagnostic Radiology and Oncology	岸本 誠司 Kishimoto Seiji 渋谷 均 Shibuya Hitoshi

生体支持組織学系専攻 Bio-Matrix

講座	分野	教授
生体硬組織再生学講座 Hard Tissue Engineering	硬組織構造生物学 Biostructural Science 硬組織薬理学 Pharmacology 硬組織再生学 Tissue Regeneration 硬組織病態生化学 Biochemistry 分子情報伝達学 Cell Signaling 歯周病学 Periodontology 無機材料学 Bioceramics	高野 吉郎 Takano Yoshiro 大谷 啓一 Ohya Keiichi  柳下 正樹 Yanagishita Masaki 高柳 広 Takayanagi Hiroshi 和泉 雄一 Izumi Yuichi
支持分子制御学講座 Molecular Regulation of Supportive Tissue	細胞生物学 Cell Biology 病態代謝解析学 Medical Biochemistry 運動器外科学 Orthopedic Surgery	中田 隆夫 Nakata Takao 畑 裕 Hata Yutaka 宗田 大 Muneta Takeshi

環境社会医歯学系専攻 Public Health

講座	分野	教授
国際健康開発学講座 International Health Development	健康推進医学 Health Promotion 国際環境寄生虫病学 Environmental Parasitology 司法医学 Forensic Medicine 国際保健医療協力学 International Health 健康推進学 Oral Health Promotion スポーツ医歯学 Sports Medicine/Dentistry 法歯学 Forensic Dentistry 社会精神保健学 Social Psychiatry 分子疫学 Molecular Epidemiology	高野 健人 Takano Takehito 太田 伸生 Ohta Nobuo 上村 公一 Uemura Koichi  川口 陽子 Kawaguchi Yoko
医療政策学講座 Health Science Policies	政策科学 Health Care Management and Planning 医療経済学 Health Care Economics 歯学教育開発学 Dental Education Development 研究開発学 Research Development 医療情報システム学 Health Care Informatics 歯科医療政策学 Health Policy and Management in Dentistry 歯学教育システム評価学 Educational System Dentistry	河原 和夫 Kawahara Kazuo 川渕 孝一 Kawabuchi Koichi 森尾 郁子 Morio Ikuko 高瀬 浩造 Takase Kozo

老化制御学系専攻 Gerontology and Gerodontology

講座	分野	教授
口腔老化制御学講座 Gerodontology	高齢者歯科学 Gerodontology	植松 宏 Uematsu Hiroshi
加齢制御学講座 Aging Control Medicine	包括病理学 Comprehensive Pathology 統合呼吸器病学 Integrated Pulmonology 血流制御内科学 Geriatrics and Vascular Medicine 血管・応用外科学 Vascular and Applied Surgery リハビリテーション医学 Rehabilitation Medicine	北川 昌伸 Kitagawa Masanobu 吉澤 靖之 Yoshizawa Yasuyuki 下門 顕太郎 Shimokado Kentaro

全人の医療開発学系専攻 Comprehensive Patient Care

講座	分野	教授
包括診療歯科学講座 Comprehensive Oral Health Care	総合診療歯科学 General Dentistry 頭頸部心身医学 Head and Neck Psychosomatic Medicine 歯科医療行動科学 Behavioral Dentistry 顎関節咬合学 Temporomandibular Joint and Occlusion	豊福 明 Toyofuku Akira 俣木 志朗 Mataka Shiro
全人診断治療学講座 Comprehensive Diagnosis and Therapeutics	臨床検査医学 Laboratory Medicine 救命救急医学 Critical Care Medicine 心療・緩和医療学 Liaison Psychiatry and Palliative Medicine 薬物動態学 Pharmacokinetics and Pharmacodynamics 臨床医学教育開発学 Medical Education Research and Development 救急災害医学 Acute Critical Care and Disaster Medicine	今井 孝祐 Imai Takasuke  田中 雄二郎 Tanaka Yujiro 大友 康裕 Otomo Yasuhiro

認知行動医学系専攻 Cognitive and Behavioral Medicine

講座	分野	教授
システム神経医学講座 Systems Neuroscience	神経機能形態学 Neuroanatomy and Cellular Neurobiology システム神経生理学 Systems Neurophysiology 眼科学 Ophthalmology and Visual Science 耳鼻咽喉科学 Otolaryngology 認知システム学 Molecular and Cognitive Neuroscience 生体システム制御学 Biosystem Regulation	寺田 純雄 Terada Sumio 望月 學 Mochizuki Manabu 喜多村 健 Kitamura Ken
脳行動病態学講座 Brain Medical Science	細胞薬理学 Neurobiology and Cell Pharmacology 脳神経病態学 Neurology and Neurological Science 精神行動医学 Psychiatry and Behavioral Sciences 脳神経機能外科学 Neurosurgery 神経病理学 Neuropathology	田邊 勉 Tanabe Tsutomu 水澤 英洋 Mizusawa Hidehiro 西川 徹 Nishikawa Toru 大野 喜久郎 Ohno Kikuo

生体環境応答学系専攻 Bio-Environmental Response

講座	分野	教授
感染応答学講座 Infection and Bioreponse	免疫アレルギー学 Immunology Allergology ウイルス制御学 Molecular Virology 免疫治療学 Immunotherapeutics 細胞制御学 Cell Regulation 病態細胞生物学 Pathological Cell Biology	烏山 一 Karasuyama Hajime 山岡 昇司 Yamaoka Shoji 神奈木 真理 Kannagi Mari
生体応答学講座 Bioregulation	発生発達病態学 Pediatrics and Developmental Biology 膠原病・リウマチ内科学 Rheumatology 皮膚科学 Dermatology 代謝応答化学 Pathological Biochemistry 免疫応答制御学 Immunology 環境生物学 Cellular and Environmental Biology	水谷 修紀 Mizutani Shuki 宮坂 信之 Miyasaka Nobuyuki 横関 博雄 Yokozeki Hiroo

器官システム制御学系専攻 Systemic Organ Regulation

講座	分野	教授
消化代謝病学講座 Digestive and Metabolic Diseases	人体病理学 Human Pathology 消化器病態学 Gastroenterology and Hepatology 腫瘍外科学 Surgical Oncology	江石 義信 Eishi Yoshinobu 渡邊 守 Watanabe Mamoru 杉原 健一 Sugihara Kenichi
呼吸循環病学講座 Cardio-Pulmonary Diseases	細胞生理学 Physiology and Cell Biology 循環制御内科学 Cardiovascular Medicine 心肺統御麻酔学 Anesthesiology 心肺機能外科学 Thoracic-Cardiovascular Surgery 循環病態生理学 Cardiovascular Physiology and Pathophysiology 生体情報薬理学 Bio-informational Pharmacology 分子代謝医学 Molecular Medicine and Metabolism	水島 昇 Mizushima Noboru 磯部 光章 Isobe Mitsuaki 横田 浩史 Makita Koshi 荒井 裕国 Arai Hirokuni
生体調節制御学講座 Regulation of Internal Environment and Reproduction	腎臓内科学 Nephrology 生殖機能協同学 Comprehensive Reproductive Medicine 泌尿器科学 Urology 自律生理学 Autonomic Physiology 分子薬理学 Molecular Pharmacology 細胞機能調節学 Molecular Cell Biology 形質発現制御学 Functional Genomics エピジェネティクス Epigenetics 発生再生生物学 Developmental and Regenerative Biology	佐々木 成 Sasaki Sei 久保田 俊郎 Kubota Toshiro 木原 和徳 Kihara Kazunori

先端医療開発学系専攻 Advanced Therapeutic Sciences

講座	分野	教授
遺伝子・分子医学講座 Gene and Molecular Medicine	分子腫瘍医学 Molecular Oncology 血液内科学 Hematology and Oncology 分子内分泌内科学 Clinical and Molecular Endocrinology シグナル遺伝子制御学 Signal Gene Regulation 創薬化学I Drug Design Chemistry 創薬化学II Medicinal-Chemical Biology 遺伝制御学 Genetic Regulation 生命情報学 Bio-informatics 遺伝子応用医学 Applied Genetics 分子細胞遺伝学 Molecular Cytogenetics 遺伝子機能医学 Biochemical Genetics	湯浅 保仁 Yuasa Yasuhiro 三浦 修 Miura Osamu 平田 結喜緒 Hirata Yukio
先端外科治療学講座 Advanced Surgical Therapeutics	肝胆膵・総合外科学 Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery 胸部臓器置換学 Thoracic Organ Replacement 整形外科学 Orthopaedic and Spinal Surger 画像・核医学開発学 Investigative Radiology and Endoscopy 診断病理学 Surgical Pathology 先端技術開発医学 Medical Technology 先端機器開発医学 Medical Instruments 人工臓器工学 Artificial Organ Engineering	有井 滋樹 Arai Shigeki 坂本 徹 Sakamoto Toru 四宮 謙一 Shinomiya Kenichi

寄附講座 Endowed Departments

臨床インフォマティクス講座 Department of Clinical Informatics 薬害監視学講座 Department of Pharmacovigilance ナノメディスン (DNP) 講座 Department of Nanomedicine 脊椎・脊髄再生治療学講座 Department of Regenerative Therapeutics for Spine and Spinal Cord	応用腫瘍学講座 Department of Translational Oncology 歯科睡眠呼吸障害管理学講座 Department of Sleep-Related Respiratory Disorders 生体機能性分子探索学講座 Development of Natural Bioproducts 血管病先進制御学講座 Department of Advanced Regulatory Vascular Surgery	分子肝炎制御学講座 Department for Hepatitis Control 軟骨再生学講座 Department of Cartilage Regeneration 消化管先端治療学講座 Department of Advanced Therapeutics for GI Diseases
--	---	---

## 保健衛生学研究科 Graduate School of Health Sciences

### 博士課程

#### 総合保健看護学専攻 Comprehensive Health Nursing Sciences

講座	分野	教授
地域・在宅ケア看護学講座 Community Health and Home Care Nursing	地域保健看護学 Community Health Nursing 在宅ケア看護学 Home Care Nursing リプロダクティブヘルス看護学 Reproductive Health Nursing 精神保健看護学 Mental Health and Psychiatric Nursing	佐々木 明子 Sasaki Akiko 本田 彰子 Honda Akiko 大久保 功子 Ohkubo Noriko 宮本 真巳 Miyamoto Masami
看護機能・ケアマネジメント開発学講座 Nursing Function and Care Management	生体・生活機能看護学 Fundamental Nursing and Life Support 小児・家族発達看護学 Child and Family Nursing 先端侵襲緩和ケア看護学 Critical and Invasive-palliated Care Nursing 高齢者看護・ケアシステム開発学 Gerontological Nursing and Health Care System 看護システムマネジメント学 Nursing System Management	齋藤 やよい Saito Yayoi 廣瀬 たい子 Hirose Taiko 井上 智子 Inoue Tomoko 山本 則子 Yamamoto Noriko
健康教育開発学講座 Health Education	健康情報分析学 Analytical Health Science 健康教育学 Occupational Health Education	佐藤 千史 Sato Chifumi

#### 生体検査科学専攻 Biomedical Laboratory Sciences

講座	分野	教授
生命情報解析開発学講座 Life Sciences and Bio-informatics	分子生命情報解析学 Biochemistry and Biophysics 形態・生体情報解析学 Anatomy and physiological Science 生命機能情報解析学 Biofunctional Informatics 生体機能支援システム学 Biophysical System Engineering 疾患モデル生物情報解析学 Laboratory Animal Science	原 諭吉 Hara Yukichi 佐藤 健次 Sato Kenji 松浦 雅人 Matsuura Masato 若松 秀俊 Wakamatsu Hidetoshi
分子・遺伝子応用検査学講座 Moleculo-genetic Sciences	先端分析検査学 Analytical Laboratory Chemistry 生体防御検査学 Microbiology and Immunology 分子病態検査学 Molecular Pathophysiology 先端血液検査学 Laboratory Molecular Genetics 先端生体分子分析学 Advanced Analytical Chemistry	戸塚 実 Tozuka Minoru 岡村 登 Okamura Noboru 滝澤 登一郎 Takizawa Toichiro

## 生命情報科学教育部 Biomedical Science PhD Program

### 博士課程

#### バイオ情報学専攻 Bioinformatics

#### 高次生命科学専攻 Functional Biology

## 疾患生命科学研究所 School of Biomedical Science

研究部門	分野	教授
疾患生命情報研究部門 Medical Bioinformatics	疾患ゲノム Genome Diversity システム情報生物学 Computational Biology プロテオーム情報学 Proteome Informatics 疾患情報管理学 Disease Information Management ゲノム情報処理学 Genome Informatics	田中 博 Tanaka Hiroshi
高次生命制御研究部門 Functional Biology	細胞機能制御学 Gene Expression 高次神経科学 Molecular Neuroscience 高次生体制御学 Immunology 生命システムモデリング Biosystem Modeling 生体異物情報学 Immune Recognition 発生再生医学 Development and Regenerative Medicine	萩原 正敏 Hagiwara Masatoshi 田中 光一 Tanaka Koichi 鏑田 武志 Tsubata Takeshi 増田 正 Masuda Tadashi
応用構造情報研究部門 Applied Structural Biology	分子構造情報学 Structural Biology ケミカルバイオロジー Medicinal Chemistry	伊藤 暢聡 Ito Nobutoshi 影近 弘之 Kagechika Hiroyuki

## 医学部

## 医学科 School of Medicine

学科目	機能形態学 Functional Morphology 機能協同学 Physiology and Pharmacology 分子遺伝医学 Molecular Genetics 感染免疫学 Infectious Immunology 病因病態学 Pathology	環境社会医学 Environmental Social Medicine 全人診療学 Comprehensive Diagnostics 内科学 Internal Medicine 小児医学 Pediatric Medicine 精神医学 Neurology and Psychiatry	外科学 Surgery 感覚器医学 Sensory Organ Sciences 皮膚医学 Dermatology and Plastic Surgery 女性医学 Female Medicine 尿路生殖医学 Urology and Reproductive Medicine
-----	--	---	--

## 保健衛生学科 School of Allied Health Sciences

専攻	学科目	基礎・臨床看護学 Fundamental and Clinical Nursing	地域保健看護学 Community Health Nursing
看護学専攻 Nursing Science			
検査技術学専攻 Medical Technology		基礎検査学 Laboratory Science	病因・病態検査学 Laboratory Technology

## 歯学部

## 歯学科 School of Dentistry

学科目	口腔顎顔面構造学 Oral and Maxillofacial Structure 口腔顎顔面機能学 Oral and Maxillofacial Function 口腔病因病態学 Oral Pathology and Pathophysiology 口腔顎顔面再生医工学 Oral and Maxillofacial Bioengineering 歯科社会医療倫理学 Oral Public Health and Ethics in Dentistry	包括診療歯科学 Comprehensive Oral Health Care 歯科保存・齶触制御学 Restorative Dentistry/Cariology 歯周病学 Periodontology 口腔顎顔面外科学 Oral and Maxillofacial Surgery 歯科補綴学 Prosthodontics	高齢者歯科・口腔老化制御学 Gerodontology 口腔機能咬合機能育成制御学 Orofacial Development and Function 障害者歯科・生体管理学 Dentistry for the Disabled/Clinical Physiology
-----	--	---	--

## 口腔保健学科 School of Oral Health Care Sciences

講座	分野	教授
口腔保健衛生基礎学講座 Fundamental Oral Health Care Sciences	顎口腔基礎科学 Oral and Maxillofacial Biology 口腔保健衛生基礎学 Fundamental Oral Health Care Science	杉本 久美子 Sugimoto Kumiko
口腔健康推進統合学講座 Oral Health Care Promotion	口腔健康教育学 Oral Health Care Education 口腔疾患予防学 Preventive Oral Health Care Science	寺岡 加代 Teraoka Kayo 木下 淳博 Kinoshita Atsuhiro
生涯口腔保健衛生学講座 Lifetime Oral Health Care Sciences	発達口腔保健衛生学 Pediatric Oral Health Care Science 成人口腔保健衛生学 Adult Oral Health Care Science 高齢者口腔保健衛生学 Geriatric Oral Health Care Science	石川 雅章 Ishikawa Masaaki 下山 和弘 Shimoyama Kazuhiro
地域・福祉口腔保健衛生学講座 Community Oral Health Care Science	地域・福祉口腔保健衛生学 Community Oral Health Care Science	吉増 秀實 Yoshimasu Hidemi

## 附属教育研究施設 Affiliated Educational and Research Facilities

	設置目的
附属歯科技工士学校 School for Dental Technicians	歯科技工に関する高度の技術を授ける
口腔保健教育研究センター Center for Education and Research in Oral Health Care	口腔保健の需要と供給に関する調査・研究

## 教養部

学科目	教授
哲学 Philosophy	
歴史学 History	
文学 Literature	
社会思想史 History of Social Thought	
社会学 Sociology	板橋 作美 Itabashi Sakumi
数学 Mathematics	清田 正夫 Kiyota Masao
物理学 Physics	千葉 司 Chiba Tsukasa
化学 Chemistry	岡崎 三代 Okazaki Mitsuyo
生物学 Biology	和田 勝 Wada Masaru, 服部 淳彦 Hattori Atsuhiko
英語 English	フィリップ マイケル トロモビッチ Philip Michael Tromovitch
独語 German	鈴木 直 Suzuki Tadashi
仏語 French	中島 ひかる Nakashima Hikaru
保健体育学 Health Science and Physical Education	水野 哲也 Mizuno Tetsuya



ヒポクラテスホール (校舎棟)



シャン・ドゥ・コーズリー

## 生体材料工学研究所

### 設置目的

生体に用いられる物質及び材料並びに生体工学に関する学理及びその応用の研究

### ●研究部門

研究部門	研究内容	教授
機能分子研究部門 Division of Biofunctional Molecules	分子認識 Molecular Recognition 分子設計 Molecular Design 分子制御 Applied Functional Molecules バイオセンサー Biosensors	玉村 啓和 Tamamura Hirokazu 岸田 晶夫 Kishida Akio
素材研究部門 Division of Biomaterials	金属材料 Metals 無機材料 Inorganic Materials 有機材料 Organic Materials 生体材料物性 Biomaterials Mechanics	埴 隆夫 Hanawa Takao 山下 仁大 Yamashita Kimihiro 秋吉 一成 Akiyoshi Kazunari
システム研究部門 Division of Biosystems	バイオデザイン Biodesign 情報 Biomedical Information 計測 Biomedical Devices and Instrumentation 制御 Biosystem Regulation 生体システム Artificial Organs	高久田 和夫 Takakuda Kazuo 安田 賢二 Yasuda Kenji 三林 浩二 Mitsubayashi Koji 東 洋 Azuma Hiroshi 高谷 節雄 Takatani Setsuo



生体材料工学研究所

## 難治疾患研究所

### 設置目的

膠原病その他の難治疾患に関する学理及びその応用に関する研究

### ●研究部門

研究部門	研究内容	教授
先端分子医学研究部門 Advanced Molecular Medicine	分子代謝医学 Molecular Medicine and Metabolism 分子薬理学 Molecular Pharmacology 分子細胞生物学 Molecular Cell Biology 分子神経科学 Molecular Neuroscience 細胞制御学 Cell Regulation 生体情報薬理学 Bio-informational Pharmacology プロジェクト研究室 Project Research Unit	小川 佳宏 Ogawa Yoshihiro 野田 政樹 Noda Masaki 澁谷 浩司 Shibuya Hiroshi 古川 哲史 Furukawa Tetsushi
難治病態研究部門 Pathophysiology	神経病理学 Neuropathology 病態生化学 Pathological Biochemistry 病態細胞生物学 Pathological Cell Biology 発生再生生物学 Developmental and Regenerative Biology 免疫疾患 Immunology 分子病態 Molecular Pathogenesis フロンティア研究室 (ウイルス治療学) Frontier Research Unit Virus Research Unit プロジェクト研究室 Project Research Unit	岡澤 均 Okazawa Hitoshi 寺岡 弘文 Teraoka Hirobumi 清水 重臣 Shimizu Shigeomi 仁科 博史 Nishina Hiroshi 木村 彰方 Kimura Akinori
ゲノム応用医学研究部門 Medical Genomics	分子細胞遺伝学 Molecular Cytogenetics 分子遺伝学 Molecular Genetics 分子疫学 Molecular Epidemiology 遺伝生化学 Biochemical Genetics 形質発現 Functional Genomics エピジェネティクス Epigenetics 生命情報学 Bioinformatics フロンティア研究室 (レドックス応答細胞生物学) Frontier Research Unit Redox Response Cell Biology プロジェクト研究室 Project Research Unit	稲澤 謙治 Inazawa Joji 三木 義男 Miki Yoshio 村松 正明 Muramatsu Masaaki 北嶋 繁孝 Kitajima Shigetaka 石野 史敏 Ishino Fumitoshi
客員研究部門 Division of Integrative Research	病態発現機構 Division of Pathogenetic Regulation 機能構築 Division of Biosystem Generation	



難治疾患研究所

## 附属図書館

### 蔵書数

(平成19年度) (Fiscal Year 2007)

区分	和書	洋書	計
附属図書館 The Main Library	108,832 冊	150,681 冊	259,513 冊
国府台分館 Kounodai Branch Library	72,316 冊	16,604 冊	88,920 冊
計 Total	181,148 冊	167,285 冊	348,433 冊

### 施設

区分	閲覧室		書庫	事務室・その他	計
	面積	座席数			
附属図書館 The Main Library	551 m <sup>2</sup>	142 席	880 m <sup>2</sup>	1,192 m <sup>2</sup>	2,623 m <sup>2</sup>
国府台分館 Kounodai Branch Library	280 m <sup>2</sup>	125 席	468 m <sup>2</sup>	285 m <sup>2</sup>	1,033 m <sup>2</sup>

### 利用状況

(平成19年度) (Fiscal Year 2007)

区分	開館日数	入館者数	開館時間		館外貸出冊数	
			平日	土日・祝日	学生	教職員
附属図書館 The Main Library	360 日	166,906 人	9:00 ~ 22:00	9:00 ~ 17:00	8,588 冊	2,586 冊
国府台分館 Kounodai Branch Library	235 日	44,004 人	9:00 ~ 20:00	—	1,349 冊	203 冊



閲覧室

## 全国共同利用施設

### 医歯学教育システム研究センター Center for Education Research in Medicine and Dentistry

教授

- 学習知識と態度・技能到達度評価の調査・研究
- 医学・歯学教育の教育内容およびカリキュラム改善の調査・研究

奈良 信雄 Nara Nobuo  
荒木 孝二 Araki Koji

## 学内共同教育研究施設

研究施設	設置目的	教授
疾患遺伝子実験センター Human Gene Sciences Center	基礎・臨床疾患遺伝子分野に関する教育及び研究	中村 正孝 Nakamura Masataka
先端研究支援センター Research Center for Frontier Life Science ・機器分析センター Instrumental Analysis Research Center for Life Science ・アイソトープ総合センター General Isotope Center ・医学部附属動物実験施設 Animal Research Center	機器分析技術の開発、研究及び教育 放射性同位元素等の研究及び教育 動物実験及び動物の飼育管理並びに研究	
情報処理センター (情報医科学センター) Information Center for Medical Sciences	情報医科学の教育及び研究	
留学生センター International Student Center	留学生に対する教育及び指導助言並びに研究	山下 早代子 Yamashita Sayoko



留学生センター



疾患遺伝子実験センター

## 保健管理センター

### 保健管理センター Health Service Center

教授

- 保健管理の充実
- 学生及び職員の健康の保持増進

三宅 修司 Miyake Shuji

# 附属病院

## 医学部附属病院 University Hospital, Faculty of Medicine

病床数 800  
Beds

### 診療科 Hospital Departments

内科系診療部門 Department of Internal Medicine	血液内科 Hematology 膠原病・リウマチ内科 Rheumatology 内分泌・代謝内科 Endocrine, Metabolic, Diabetes	腎臓内科 Nephrology 老年病内科 Geriatrics 消化器内科 Gastroenterology and Hepatology	循環器内科 Cardiovascular Medicine 呼吸器内科 Pulmonary Medicine
外科系診療部門 Department of Surgery	食道・胃外科 Esophageal and Gastric Surgery 大腸・肛門外科 Colorectal Surgery 肝胆膵外科 Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery	乳腺外科 Breast Surgery 血管外科 Vascular Surgery 心臓・肺外科 Thoracic-Cardiovascular Surgery	胸部人工臓器外科 Thoracic Organ Replacement 泌尿器科 Urology 頭頸部外科 Head and Neck Surgery
感覚・皮膚・運動機能診療部門 Department of Sensory, Motor System Medicine and Dermatology	眼科 Ophthalmology 耳鼻咽喉科 Oto-Rhino-Laryngology	皮膚科 Dermatology 形成・美容外科 Plastic and Aesthetic Surgery	整形外科 Orthopedic Surgery
小児・周産・女性診療部門 Department of Pediatrics, Maternal and Woman's Clinic	小児科・小児外科 Pediatrics and Pediatric Surgery	周産・女性診療科 Maternal and Woman's Clinic	
脳・神経・精神診療部門 Department of Neurology, Neurosurgery and Neuropsychiatry	脳神経外科 Neurosurgery 神経内科 Neurology	精神科 Neuropsychiatry 麻酔・蘇生・ペインクリニック科 Anesthesiology and Pain Clinic	心身医療科 Psychosomatic and Palliative Medicine
放射線診療部門 Department of Radiology	画像診断・放射線治療科 Diagnostic Radiology and Oncology		

## 救命救急センター Trauma and Acute Critical Care Medical Center

## 中央診療施設等 Central Clinical Facilities

薬剤部 Department of Pharmacy	材料部 Supply Unit	総合診療部 Department of General Medicine	高気圧治療部 Hyper Baric Medical Center
検査部 Clinical Laboratory	分娩部 Maternity Ward	外来化学療法・注射センター Outpatient Chemotherapy Center	MEセンター ME Center
手術部 Operating Center	病理部 Department of Pathology	核医学・PETセンター Positron Emission Tomography Center	細胞治療センター Center for Cell Therapy
放射線部 Radiological Center	光学医療診療部 Department of Endoscopic Diagnosis and Therapy	医療福祉支援センター Center for Medical Welfare and Support	病歴管理部 Department of Medical Records
輸血部 Hospital Blood Transfusion Center	医療情報部 Department of Medical Informatics	臨床試験管理センター Clinical Research Center	安全管理対策室 Quality Management Section
リハビリテーション部 Physical Medicine Center	血液浄化療法部 Department of Blood Purification	臨床教育研修センター Center for Postgraduate Medical Education	感染対策室 Infection Control Center
集中治療部 Intensive Care Unit			

## 看護部 Department of Nursing



3号館・医科新棟

## 歯学部附属病院 University Hospital, Faculty of Dentistry

病床数 60 治療台 317  
Beds Chair Units

### 診療科 Hospital Departments

育成系診療科 Clinics for Dentofacial Growth and Development	矯正歯科外来 Orthodontics	小児歯科外来 Pediatric Dentistry	
維持系診療科 Clinics for Conservation of Oral and Maxillofacial Function	むし歯外来 Operative Dentistry and Endodontics 歯周病外来 Periodontics	ペインクリニック Orofacial Pain Clinic 頭頸部心療外来 Head and Neck Psychosomatic Medicine	顎関節治療部 Temporomandibular Joint Clinic
回復系診療科 Clinics for Oral and Maxillofacial Rehabilitation	口腔外科外来 Oral Surgery 顎顔面外科外来 Maxillofacial Surgery 義歯外来 Prosthodontics	顎義歯外来 Maxillofacial Prosthetics スポーツ歯科外来 Sports Dentistry 言語治療外来 Speech Clinic	インプラント外来 Dental Implant Clinic
総合診療科 Clinics for General Dentistry	歯科総合診療部 Oral Diagnosis and General Dentistry (専) いびき無呼吸歯科外来 Dental Sleep Clinic 第1総合診療室 General Dentistry I 第2総合診療室 General Dentistry II 第3総合診療室 General Dentistry III	歯科麻酔外来 Ambulatory Anesthesia Service 歯科放射線外来 Oral and Maxillofacial Radiology スペシャルケア外来 Special Care Clinic (専) 摂食リハビリテーション外来 Dysphagia Rehabilitation 息さわやか外来 Fresh Breath Clinic	クリーンルーム歯科外来 Cleanroom 口腔ケア外来 Oral Health Care 歯科アレルギー外来 Dental Allergy

## 中央診療施設等 Central Clinical Facilities

検査部 Clinical Laboratory	歯科臨床研修センター Center for Advanced Dental Clinical Education	歯科器材・薬品開発センター Center for Development of Instruments and Drugs in Dentistry	中央器材室 Section of Central Supplies
歯科技工部 Dental Laboratory	地域歯科医療連携センター Center for Clinical Cooperation	中央手術室 Division of Surgical Operation	歯科衛生士室 Section of Dental Hygiene
感染対策室 Unit for Infection Control	歯科医療情報センター Center for Dental Information	歯科病棟 Dental Ward	

## 薬剤部 Department of Pharmacy

## 看護部 Department of Nursing



歯科棟・歯科外来事務棟

## 患者数 Number of Patients

(平成19年度) (Fiscal Year 2007)

区分 Classification	入院 Inpatients			外来 Outpatients	
	延数 Total	1日平均 Per Day	病床稼働率 Bed Occupancy	延数 Total	1日平均 Per Day
医学部附属病院 University Hospital, Faculty of Medicine	253,020 人	691.3 人	86.4%	516,495 人	2,108.1 人
歯学部附属病院 University Hospital, Faculty of Dentistry	17,958 人	49.1 人	81.8%	433,587 人	1,769.7 人
計 Total	270,978 人	740.4 人	86.1%	950,082 人	3,877.8 人

# 特色ある教育・研究

## Current Projects

- 今年度新規採択プロジェクト
- グローバル COE プログラム
- がんプロフェッショナル養成プラン
- 現代的教育ニーズ取組支援プログラム
- 大学病院連携型高度医療人養成推進事業
- 大学教育の国際化推進プログラム（戦略的国際連携支援）
- 社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム
- 特色ある大学教育支援プログラム
- 大学院教育改革支援プログラム
- 科学技術振興調整費
- 新興・再興感染症研究拠点形成プログラム
- 独創的シーズ展開事業 大学発ベンチャー創出推進
- 分子イメージング研究プログラム
- ライフサイエンス分野の統合データベース整備事業
- 日本学術振興会先端研究拠点事業
- 大学教育の国際化加速プログラム（国際共同・連携支援（総合戦略型））
- 産学官連携戦略展開事業（戦略展開プログラム）
- 特別教育研究経費
- 政策課題対応経費
- 大学院医歯学総合研究科医歯科学専攻（修士課程）  
医療管理政策学（MMA）コース
- 知的財産本部・技術移転センター（TLO）

# 今年度新規採択プロジェクト

(平成 20 年 9 月 1 日現在) (September 1, 2008)

2008 年度は、以下のプロジェクトが新たな助成対象事業として採択されました。

## ● グローバル COE プログラム

### 歯と骨の分子疾患科学の国際教育研究拠点

→ 36 ページ

高齢化の進行する我が国で“歯と骨”の疾患とその治療・再建は、国民の健康上の緊急課題です。「21 世紀 COE プログラム」の実績に基づき、最高水準の研究を推進するとともに、国際 PI シャペロン制度及びアドバンスト・I・スーパースチューデント制度の 2 つを柱として次世代の国際的に活躍する優秀な若手研究者を育成し、世界最高レベルの教育研究拠点を構築します。

## ● 大学病院連携型高度医療人養成推進事業

### 都会と地方の協調連携による高度医療人養成

→ 40 ページ

本学・秋田大学・島根大学の 3 大学は、昨年度より（初期）臨床研修における連携を既に開始しています。さらに、本年度より新たに首都圏と医療過疎地の医療の連携により専門医および家庭医を育成する取り組みを行います。電子ポートフォリオや短期・長期パッケージ研修プログラムの導入で、個々に最適なテラーメイドプログラムという画期的な事業が期待されます。

## ● 社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム

### 医師不足、診療科偏在の解消に向けたママさんドクター・リターン支援プログラム

→ 42 ページ

女性医師の増加は今後も見込まれるものの、出産・育児等を契機に離職した女性医師の職場復帰には困難が伴います。本プログラムは、医師の絶対数不足・診療科偏在を解消するための有効な対応策として、具体的には臨床手技実習や外来・病棟実習、最新医学知識の講習会等により、離職女性医師が現場へすみやかに復帰できるように再教育を行い、再就職を促します。

## ● 科学技術振興調整費

### 女性研究者への革新的支援

→ 48 ページ

本プログラムは「女性研究者支援モデル育成」事業として平成 20 年から実施されます。女性研究者支援室を開設するとともに女性研究者支援対策会議を立ち上げ、施策の立案、実施体制を整備しました。女性研究者のネットワーク形成推進、雇用推進、出産・育児等に対する支援など、女性研究者がその能力を最大限に発揮できるような環境整備と意識改革を重点的に進めます。

## ● 新興・再興感染症研究拠点形成プログラム

### 西アフリカ地域の研究拠点を核とした感染症研究の戦略的展開

→ 52 ページ

新興・再興感染症の多くは発展途上国で発生しており、情報収集にはそのような地域の研究者との連携が欠かせません。本学は結核予防会結核研究所と共同で、西アフリカ唯一の研究環境を誇るガーナ共和国野口記念医学研究所を拠点として、感染症研究展開を進めています。on-site の拠点形成により、研究強化、人材育成、疾病対策などが効率的に図られると考えられます。

## ● 独創的シーズ展開事業 大学発ベンチャー創出推進

### ディスプレイ、磁気浮上遠心血液ポンプの研究開発

→ 53 ページ

本研究は 2004 年から本学をはじめ 4 大学連合で研究開発が進められてきた磁気浮上技術を遠心血液ポンプ技術に応用し、ミニマム抗凝固剤の使用により、従来の血液ポンプの耐久性、生体適合性の改善等を目指します。基礎性能、耐久性を確認後、デバイスの安全性、有効性について評価し、産学連携を通して企業化を行い、国内外での臨床治験を進め、社会への還元を目指します。

## ● 大学教育の国際化加速プログラム（国際共同・連携支援（総合戦略型））

### 異分野融合型疾患生命科学教育の国際連携

→ 57 ページ

本事業では、これまで推進してきた官民の先端的研究所との連携大学院制度と教育の国際化を、国境を越えて展開し、国際複数学位（修士）指導員制度を実現して、国際教育研究拠点の形成を目指します。国内外約 10 大学の間で連携を構築し、大学院生が本学に在学しながら海外の大学の学位（修士）研究指導を享受できる制度を整備し、大学院教育の国際水準を確保します。

## ● 産学官連携戦略展開事業（戦略展開プログラム）

### 国際的な産学官連携活動の推進

→ 58 ページ

本事業は、大学等の知的財産戦略などが持続的に展開されるよう支援し、産学官連携活動全体の質の向上を図ることを目的としています。基本特許の国際的な権利取得、海外企業からの共同研究・受託研究の拡大、知的財産人材の育成・確保など、国際的な産学官連携体制の強化を図ります。平成 19 年からは国際産学官連携部門を中心に、海外への技術移転活動を活発に行っています。

## ● 特別教育研究経費

### センシングバイオロジーにおける基盤技術の戦略的推進事業

→ 59 ページ

生命現象や疾病情報を直接生体内で計測（センシング）する研究の需要が高まっています。一定期間継続的に変化を計測し解析する「時系列解析」、柔らかく生体適合性に優れた計測デバイスや細胞情報との対話が可能な有機高分子デバイス等をはじめとして、本学がこれまで培ってきたセンシング技術の研究開発を戦略的に推進し、医科・歯科の領域への発展に貢献します。

# New Projects

## グローバル COE プログラム Global COE Program

平成 14 年度から文部科学省において開始された「21 世紀COEプログラム」の評価・検証を踏まえ、その基本的な考え方を継承した「グローバルCOEプログラム」に、東京医科歯科大学からは下記のプログラムが採択されました。このプログラムは大学院の教育研究機能を一層充実・強化し、世界最高水準の研究基盤の下で世界をリードする創造的な人材育成を図ること、国際的に卓越した教育研究拠点の形成を重点的に支援し国際競争力のある大学づくりを推進することを目的としています。

### 歯と骨の分子疾患科学の国際教育研究拠点

事業推進責任者：難治疾患研究所長 野田政樹 教授

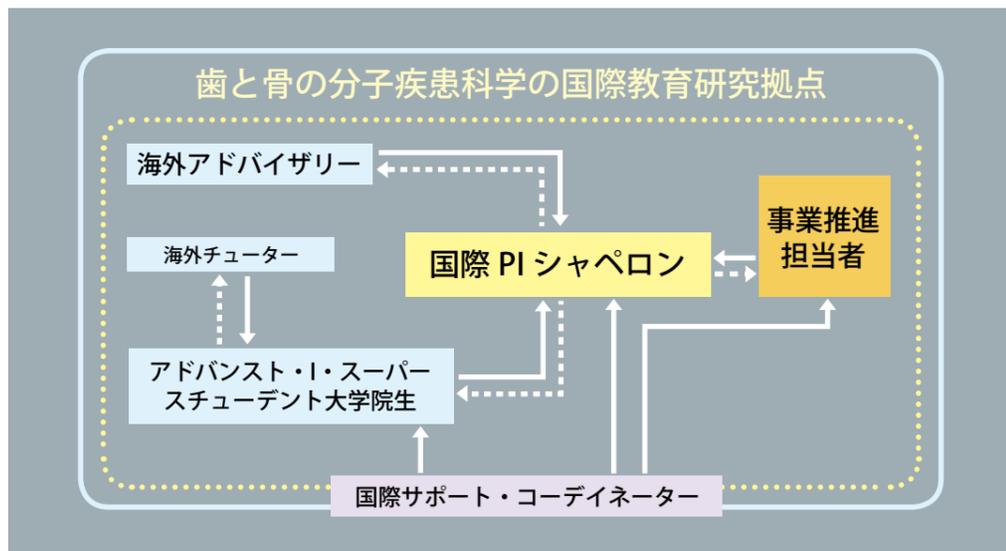
グローバル COE プログラム：歯と骨の分子疾患科学の国際教育研究拠点（ーデント・メドミクスのインテリジェンスハブー）の理念は新しい「若手に対する重点教育」による育成システムを創造することである。

本拠点は、2007 年度までの 21 世紀 COE プログラムにおいて、「歯と骨の分子破壊と再構築のフロンティア」と題して、教育研究活動を行い、世界最高レベルの歯と骨の研究の達成と“スーパースチューデント制度”と“シャペロン制度”を創成し、育成の成果を挙げた。21 世紀 COE プログラムにおいては、その活動の中心を新たなシステムによる若手育成におき、客観的な評価と英語面接で選抜した大学院生（スーパースチューデント（SS））の重点教育と経済支援を行い、同時にシャペロン教員制度として創設したポスト卒後以上上の優れた若手研究員を育成した。また、シャペロン教員が自らの研究を推進するとともに、彼らも SS 大学院生を重点的に教育しつつ、研究を推進させるプログラムを展開した。

21 世紀 COE プログラムの成果として、世界の最先端の研究成果が挙げられ、また国内外の一流の研究機関にて活躍する優秀な若手が育成され、研究レベルの上でも着実な発展を遂げた。臨床的にも本拠点から発表された非侵襲性の治療の研究は特筆すべきであり、その成果は、わが国の多くのメディアをはじめ、全世界に報道された。事業推進担当者は優れた研究を推進し、本拠点から多数の業績を発信するとともに外部資金を充実させ大学院に新たな教育方式を取り入れ、人材を養成するなど研究、教育、診療にわたり本領域の発展に貢献した。

グローバル COE プログラムとして採択された課題は「歯と骨の分子疾患科学の国際教育研究拠点の形成」であり、本グローバル COE プログラムの目的は、世界で最も高齢化の進行する我が国において、人が生きる為に必須の“歯と骨”の疾患の分子病態とその再建・治療について、新たに新領域の研究を加え最先端の研究をさらに推進し、現在の国際教育推進

### 歯と骨のグローバル COE プログラム



体制を新設し、次世代を担う「世界で活躍する若手研究者」を育成することである。

生命的な寿命のみならず“健康寿命”をいかに維持するか重要な“歯と骨”の硬組織は、加齢により量・質共に喪失が進行し、これを完全に止めることは尚困難である。そこでいかにこれを“治療・再建”するかが緊急の課題で、ここに本研究の必要性があり国民の健康上の課題としての重要性が大きい。本拠点の期待される効果は、世界の最先端の“歯と骨”の領域における実績に基づき、

- (1) さらにこれまでにない、先導的研究を歯と骨の研究領域に導入し、引き続き世界のトップとして牽引すること
  - (2) 我が国の“歯と骨に関わる国民の健康増進”に寄与すること
  - (3) また次世代の国際的に活躍する優秀な若手研究者を育成すること
- である。

構想する拠点は、これまでの本領域における実績に加え、その規模と質の両面で高い評価を基盤とした基礎ならびに臨床研究を推進する歯と骨の研究領域における世界最高レベルの教育研究拠点であり、疾患の分子病態のメカニズムならびにその先進的治療法開発を実現する研究を推進し、国際的に活躍する若手研究者を育成するものである。

本拠点の研究活動の重点は

- (1) 歯と骨の喪失に至る疾患の分子病態成立のメカニズムの解明
  - (2) 歯と骨の先進的再建の為の診断治療法の基盤研究の推進
  - (3) 歯と骨の疾患の機能ゲノム研究の推進
- にある。

人材育成としては、本拠点においては以下の2つの柱がある。

若手研究者の養成としては“国際PI シャペロン（PIC）制度”で、これは、新たな点として国際公募により選抜され、国際的に活躍する自立した研究者を目指すシャペロン型（大学院生を指導し共に研究する）若手研究者の育成制度である。大学院生の教育としては“アドバンスト・I・スーパースチューデント（AI-SS）制度”であり、重点的な大学院教育と経済支援を与えられ、国際的に発展する力をつける選抜された上位の学生の育成制度である。本拠点においては、これまでの大学院教育を進展させ、

- (i) 国際的に活躍する人材
  - (ii) 国際的に大学院生同士で相互に切磋琢磨する人材
  - (iii) 個性的な人材
- として育成されることを目指す新システムを創設する。

AI-SS 制度においては、新たに、

- (1) 国際教育としての国際メンター制度及び
- (2) 国際 Interactive プログラム

を通して、一流の研究教育機関であるハーバード大（米国）、カリフォルニア大学サンフランシスコ校（UCSF、米国）、トロント大（カナダ）等の大学院における研究発表会形式の教育に参加し、海外拠点の大学院生との交流ならびに現地海外教員による教育を受け、早期から海外の教育研究環境におかれることによる相互作用を生み出し、本拠点の研究を発信することを目指す。

## がんプロフェッショナル養成プラン

Human Resource Development Plan for Cancer

このたび、本学が中心となって文部科学省に申請した「がん治療高度専門家養成プログラム」が採択されました。この事業は、文部科学省が全国国公立大学に「がんプロフェッショナル養成プラン」として公募したもので、大学のがん治療の教育を活性化し、がん医療を担う医療人養成を推進させるために、質の高いがん専門医等を養成し得る優れたプログラムに財政支援を行うというものです。全国で18件のプログラムが採択されています。

### がん治療高度専門家養成プログラム

事業推進責任者：大学院医歯学総合研究科副研究科長 大野喜久郎 教授

がんは、わが国の死亡率第1位の疾患ですが、診断から種々の治療、そして終末期にいたるまで総体としてチームによりがん医療を行う体制が整っておらず、その構築が急務と思われます。そのためには、がん医療を担う高度な知識や技術を持つ専門医のみならず、がん医療に携わるコメディカルも含めて、がん医療に特化した医療人を養成する必要があります。

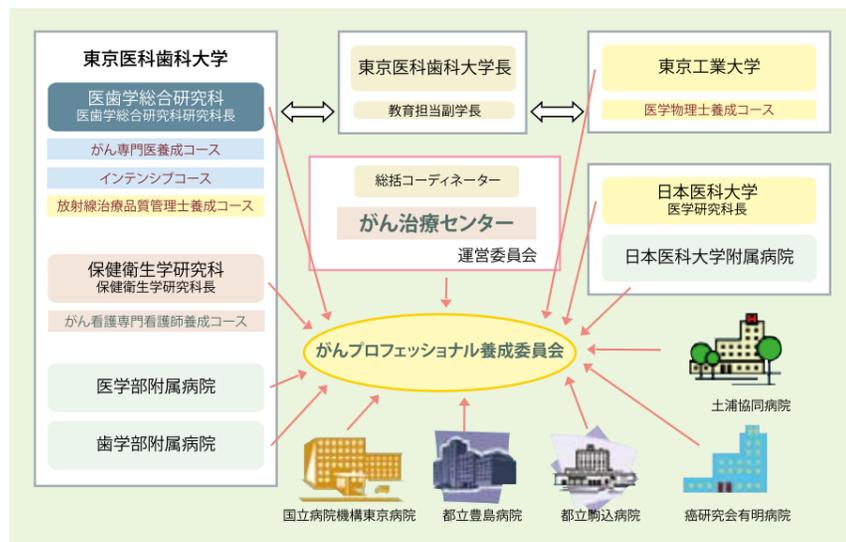
本プログラムの特徴は、組織体制として、コーディネーターを中心に、本学大学院医歯学総合研究科・保健衛生学研究科ならびに医学部附属病院・歯学部附属病院、日本医科大学医学研究科および附属病院、東京工業大学大学院医歯学特別専攻、そして連携医療機関から構成されることです。連携医療機関は、東京都立駒込病院、癌研究会有明病院、東京都立豊島病院、独立行政法人国立病院機構東京病院、土浦協同病院となっています。

本プランのがん専門医療人養成計画のコースは大きく3つに分かれています。一つは、がん医療に携わる専門医養成コースで、この中にはがん放射線療法専門医養成コース、がん化学

療法専門医養成コース、がん緩和ケア専門医養成コースがあります。二番目のコースは、がん医療に携わる専門のコメディカル養成コースで、がん看護専門看護師養成コースと医学物理士および放射線治療品質管理士養成コースを設けています。三つ目は、がん医療に携わる専門医等の研修（インテンシブ）コースで、すでにかん治療に従事している医師の専門分野に対応する養成コースです。平成20年度から、本プログラムの履修要項ならびにシラバスに基づき、各コースの授業が始まっています。

本学は、これから、各科が個別にかんの治療を行うということではなく、また手術治療後に補助療法として放射線療法、化学療法などを行うというだけではなく、患者さんの全てを総体として捉え、関与する医師やコメディカルらの医療人がチームとして最も良い方法でがんに対する診断から治療の後のあらゆるケアのところまで行うことを考えられる、すなわちがんに対して一貫した医療を行うことができる、人と体制作りを目指しています。

### がん治療高度専門家養成プログラム



## 現代的教育ニーズ取組支援プログラム

Support Program for Contemporary Educational Needs

現代的教育ニーズ取組支援プログラムは、各種審議会からの提言等、社会的要請の強い政策課題に対応したテーマ設定を行い、各大学等から応募された取組の中から、特に優れた教育プロジェクト（取組）を選定し、財政支援を行うことで、高等教育の活性化が促進されることを目的とするものです。本学からは下記プロジェクトが採択されました。

### ICT活用教育と従来型臨床現場実習の連携

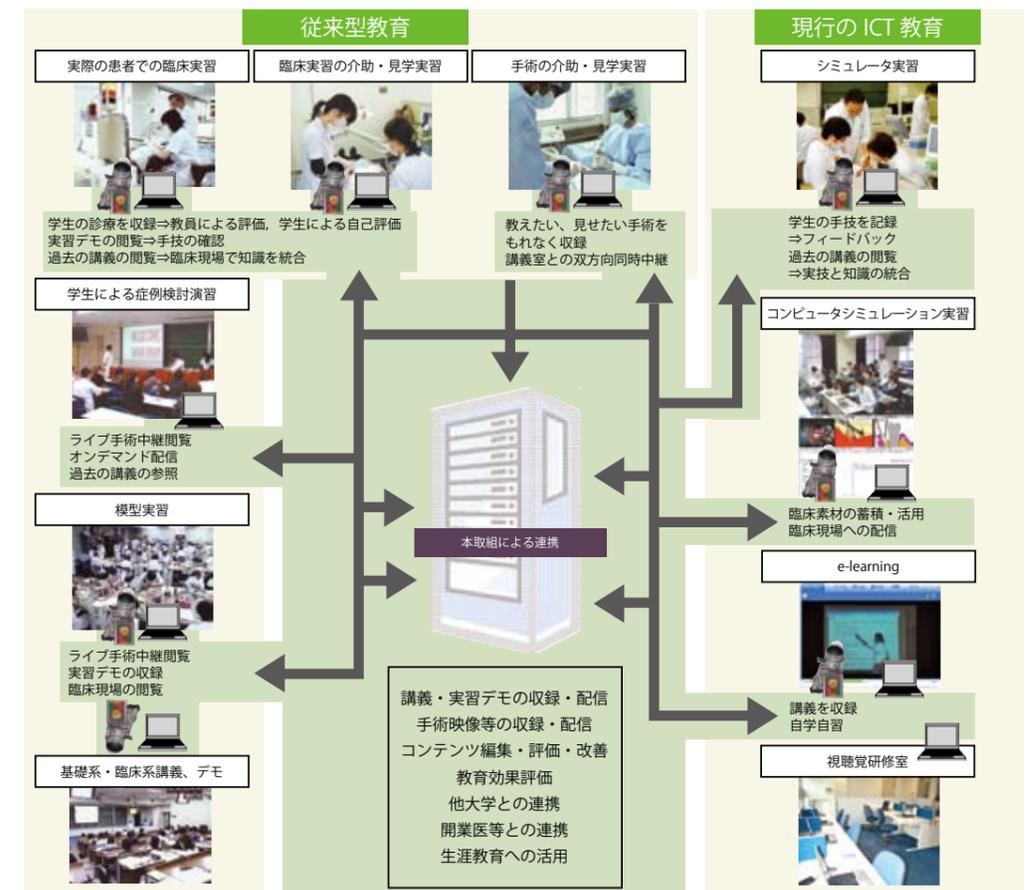
取組責任者：歯学部長 田上順次 教授

本学歯学部では創立以来、実際の患者を担当する臨床実習、マネキンによる模型実習を行っています。また、ICT（Information and Communication Technology）を活用し、シミュレーション実習、e-learningによる収録講義の配信、課題提出、オンライン試験等を導入してきました。

本取組では、現在独立して実施されているICT活用教育と従来型の臨床実習、模型実習、講義を、複数のサーバを介して相互に連携させる新しい教育システムを開発・構築します。

第一の柱は、ICT活用コンテンツの充実を図ることで、①臨床現場における処置・手術、②模型実習室でのデモ、③講義室での講義、④学生実習室で学生が行う模型実習・臨床実習手技等を映像自動収録装置によって日常的にもれなく収録、蓄積、評価します。第二の柱として、これらICT活用コンテンツをオンデマンド配信し、現行の教育との連携を図り、学年進行に合わせたフィードバック、自己評価、自己研鑽を推進します。

これにより、臨床直結型で臨場感のある歯学教育を確立し、自己問題提起・解決のできる、臨床能力に優れた人材を育成します。



## 大学病院連携型高度医療人養成推進事業

University Hospitals Collaborative Project to Develop Advanced Medical Specialists

本事業は、複数の大学病院が緊密に連携・協力しそれぞれの得意分野での相互的な補完を図ることで、各病院等を循環しながら修練や幅広い経験を積むことができる医師キャリア形成システムを構築するとともに、大学病院の若手医師に多様なキャリアパスを明確に示すことにより、若手医師が将来に希望を持ちながら安心して研修に専念でき、国民の要請に応えられる質の高い専門医や臨床研究者の養成に貢献することを目的としています。

### 都会と地方の協調連携による高度医療人養成 — 「付加価値」を身につけるテラーメイド研修 —

取組責任者：医学部附属病院長 坂本 徹 教授

平成 20 年度「大学病院連携型高度医療人養成推進事業」で選定された「都会と地方の協調連携による高度医療人養成」は、首都圏と医療過疎地の医療の連携により、専門医および家庭医を育成する取組です。

東京医科歯科大学・秋田大学・島根大学の医学部は、それぞれ高度先進医療機関である附属病院と豊富な関連病院が一体となって、地域の医療を担う医師を輩出してきました。

この3大学は、昨年度より広域連携臨床研修プログラムを創設し（初期）臨床研修における連携を既に開始しました。これを踏まえ、新たに専門医および家庭医育成においても連携することとなりました。

3大学が新たに提供する①短期(3ヶ月) および②長期(1年)パッケージ研修を活用することにより、付加価値のある専門医または家庭医になるための研修が可能となります。また、3大学は（社会人）大学院を有し、後期研修の過程で発見した課題を、研修を継続しつつ研究に昇華・発展させる道も開いており、専門医に加え学位取得も可能です。

さらに、首都圏と医療過疎地という、全く異なる診療圏の医療を体験し、大きく視野を広げることが可能となります。

指導体制としては、大学病院においては屋根瓦方式の導入により、若手医師は、教育経験豊富な指導医から高度先進医療の指導を受けるとともに、初期臨床研修医や学生へ指導を行うことで、自らの知識・技術を定着させることができます。

また、情報共有のために、テレビ会議システムおよびオンラインネットワークを構築し、Web ベースの共通評価が可能となる電子ポートフォリオを運用します。その結果、研修先が変わっても指導の一貫性が担保される体制となります。さらに、短期および長期パッケージ研修というプログラムを導入することで、個々の補助金により滞在費・交通費が登録研修医に援助されます。

以上のように、ゴールが明確な研修が実施し、個々に最適といわゆるテラーメイドプログラムという画期的な事業となることが期待されます。

### 都会と地方の協調連携による高度医療人養成

— 「付加価値」を身につけるテラーメイド研修 —  
東京医科歯科大学・秋田大学・島根大学



### パッケージ研修プログラム

短期パッケージ研修（3か月） ←参加者は、滞在費・交通費の補助があります

<b>ER</b> 亀田総合病院におけるドクターヘリ搭乗医師トレーニング ドクターヘリ	<b>心肺機能外科</b> オフポンプ CABG（人工心肺を用いない心拍動下冠動脈バイパス手術）トレーニング 心機能を損なわない側壁展開法のコツ CRUX（後壁・側壁境界の心基部）に吸着して左下に牽引 側壁のmid（心尖部と心基部の間）に吸着して右上に牽引 心尖部は右胸骨下に牽引
<b>島根大学 遠隔診療教育システムトレーニング</b> 遠隔通信中	<b>秋田大学 訪問診療トレーニング</b> 訪問診療

長期パッケージ研修（1年）

<b>脳神経外科</b> 重傷頭部外傷手術重点トレーニング 斧による脳損傷	<b>泌尿器科</b> ミニマム創内視鏡下根治的腎摘除トレーニング 取り出す創は取り出す物より小さい
--	---

## 大学教育の国際化推進プログラム（戦略的国際連携支援）

Support Program for the Internationalization of University Education

高等教育の国際的通用性・共通性の向上と国際競争力の強化を目的として海外の大学等との積極的な連携を図る特に優れた取り組みとして、下記のプログラムが採択されました。

### 医療グローバル化時代の教育アライアンス

取組担当者：大学院医歯学総合研究科環境社会医歯学系専攻 高野健人 教授

このプログラムは、我が国のみならず諸外国の医療システム構築に関わることができる優れた人材の育成を戦略的に図り、医学教育の国際化を促進することを目的としています。

具体的には、東京医科歯科大学の医学教育や研究における国際連携の実績をふまえ、また東京医科歯科大学の特徴である世界保健機関（WHO）との連携を組み込み、以下の活動を通して学生や教員が医療システムの構築において国際的にリーダーシップを取れるよう育成することが目的です。

- 大学院学生と教員を海外の大学、研究所、保健医療行政機関へ派遣し、保健医療ならびに公共保健政策専門家の現地教育指導を実践しています。
- 学生を国際機関に派遣して海外でのインターンシップを行い、実践的な能力開発をカリキュラムに取り入れています。
- 海外の大学、研究所、保健医療行政機関で指導的立場で活躍する学生を受け入れ、保健医療リーダーシップ教育を実施しています。
- 医療システム国際連携教育のモジュール教材を開発し、新しいリーダーシップ教育の普及を行っています。
- 保健医療システム教育の国際連携を推進するアライアンスの構築に取り組んでいます。



## 社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム

Remedial Training Program

社会人の「学び直し」のニーズに対応するため、大学、短期大学、高等専門学校における幅広い教育研究資源を活かした優れた学修プログラムを開発・実施することにより、学び直しに資する良質な教育プログラムの普及を図り、再チャレンジを可能とする柔軟で多様な社会の実現を目指します。

### 医師不足、診療科偏在の解消に向けたママさんドクター・リターン支援プログラム

事業推進責任者：医歯学教育システム研究センター長 奈良信雄 教授

我が国においては医師の絶対数不足、産科医および小児科医の不足をはじめとする医師の診療科偏在が顕在化し、医師確保が社会的に緊急の課題となっております。国内の医学部女子学生の比率は3割を超え、女性医師の増加は今後も見込まれておりますが、出産・育児等を契機に離職した女性医師の職場復帰は円滑に進んでいるとは言い難い状況にあります。医師不足・診療科偏在を解消するための有効かつ実現可能な対応策のひとつは離職女性医師の職場復帰であると思われま。復職を阻む要因としては、①治療手技再開への不安、②最新の医学知識の不足、③家事・育児などが大きいと考えられます。

本プログラムは離職女性医師をリクルートし、現場へすみやかに復帰できるように潜在能力を再教育する企画であります。申し込み用のホームページを常設し、希望者が24時間申し込

みができるようにいたします。具体的な講習内容として①東京医科歯科大学スキルラボ（3号館2階）におけるシミュレータを用いた臨床手技実習、②青梅市立総合病院における外来・病棟実習、③東京医科歯科大学および青梅市立総合病院における最新の医学知識に関する講習会を実施いたします。プログラム参加者の達成度は客観的臨床能力評価試験（OSCE）および筆記試験により評価し、修了証書を発行して再就職を促します。

本プログラムの活用により多くの離職女性医師が医療現場に復帰することになれば、深刻な医師不足の改善が期待され、社会への大きな還元となると期待されます。

紹介 URL：<http://www.tmd.ac.jp/mdc/return>



### 社会的なニーズに対応した歯科衛生士および歯科技工士への再教育プログラム

取組責任者：歯学部附属口腔保健教育センター長 高木裕三 教授

この取組では、就労中あるいは再就労を希望する歯科衛生士と就業歯科技工士に、最新のエビデンスに基づいたスキル向上を図る再教育プログラムを提供し、就業者にはスキルアップと離職の抑制を図り、離職者には再就労の促進を図ります。

このプログラムには歯科衛生士コースと歯科技工士コースを設け、それぞれ昨今の医療の急激な変化に対応する科目横断的教育カリキュラムを設定しています。平成16年度から歯科衛生士教育が2年制から3年制以上へと移行しつつあるのを受けて、歯科衛生士コースでは過去に2年制の教育を受けた歯科衛生士が対象になります。また、歯科技工士コースでは卒業後2年から10年までの就業歯科技工士が対象になります。

受講生には問題解決型教育を行い、単なる知識・技術の習得だけでなく、自学自習の態度が身に付くように教育を行います。また、講義・実習の教育効果を高めるために、職場あるいは自宅からインターネットを介した遠隔教育・e-learningが利用できる環境を提供しています。



## 中堅看護職のキャリア・トランジションニーズに対応した学び直し教育プログラム

取組責任者：大学院保健衛生学研究科 本田彰子 教授

### プログラム概要

本教育プログラムは、看護師として実務経験があり、現場復帰および活動範囲の拡大をめざしている者、また、現在実務についているが更なる職業人としての実践能力の向上、および専門領域での自立をめざしている者に対して、社会人としての継続した学習姿勢を持ち、自ら教育学習を企画運営できる自立した看護職の育成、および専門職者として納得できる働き方を実現するキャリア・トランジションを果たせる看護職の育成を目的とする。

また、本プログラムは、看護職者のキャリア・トランジション・ニーズに基づき、学び直しの基礎となるジェネラリスト養成コースと4つの専門コース（在宅専門看護・助産師外来専門〔周産期継続ケア〕・研究実践能力養成・臨床指導能力養成）を設置し、独自のプログラム内容に加え、学部・大学院における教育資源を活用するものである。

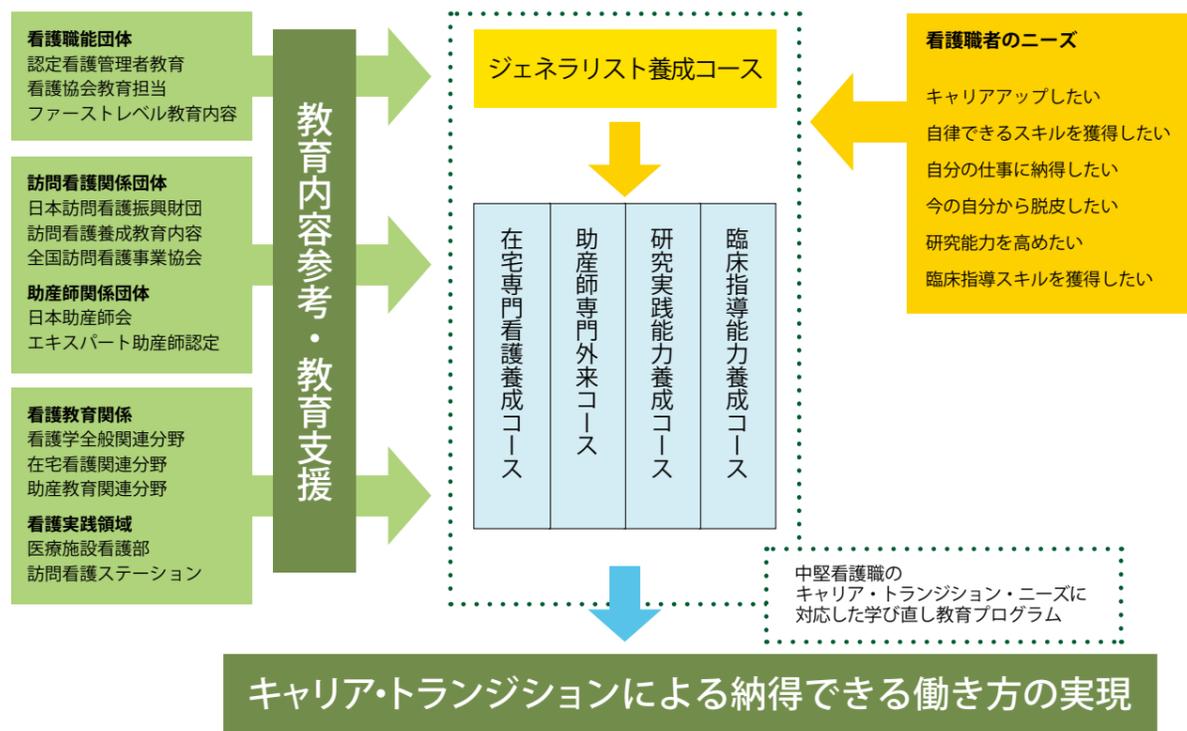
プログラム受講を契機として、質の高い生涯学習への更なるチャレンジにつなげる、また履修証明を協力団体の認定する専門資格の取得に活用し、新たなトランジションの実現（フォローアップコース、認定看護師教育課程、大学院進学等）を可能にする。

### 教育目標

「専門職として納得できる働き方を実現すること」、および「専門職としての転換期を自立的に乗り越える能力を身につけること」を長期的教育目標とし、そのために本事業においては、プログラム実施期間内の以下の短期的教育目標の達成を目指す。

- ①自立的、主体的学習姿勢を持ち、社会人としての学習方法を習得する。  
（ジェネラリスト養成）
- ②専門領域における看護実践の展開、およびマネジメント能力を習得する。  
（在宅専門看護）（助産師外来専門〔周産期継続ケア〕）
- ③看護実践の発展に関わる教育的能力、および探究的能力を習得する。  
（研究実践能力養成）（臨床指導能力養成）

### プログラムの仕組み



## 特色ある大学教育支援プログラム

Support Program for Distinctive University Education

特色ある大学教育支援プログラム（特色 GP）は、優れた大学教育を財政支援し、日本の高等教育を活性化することを目的として文部科学省が選定するものです。平成 17 年度に全国の大学・短期大学から 410 件の応募があり、東京医科歯科大学から申請した下記取組を含む 47 件が採択され、平成 17 年度～ 20 年度まで実施されます。

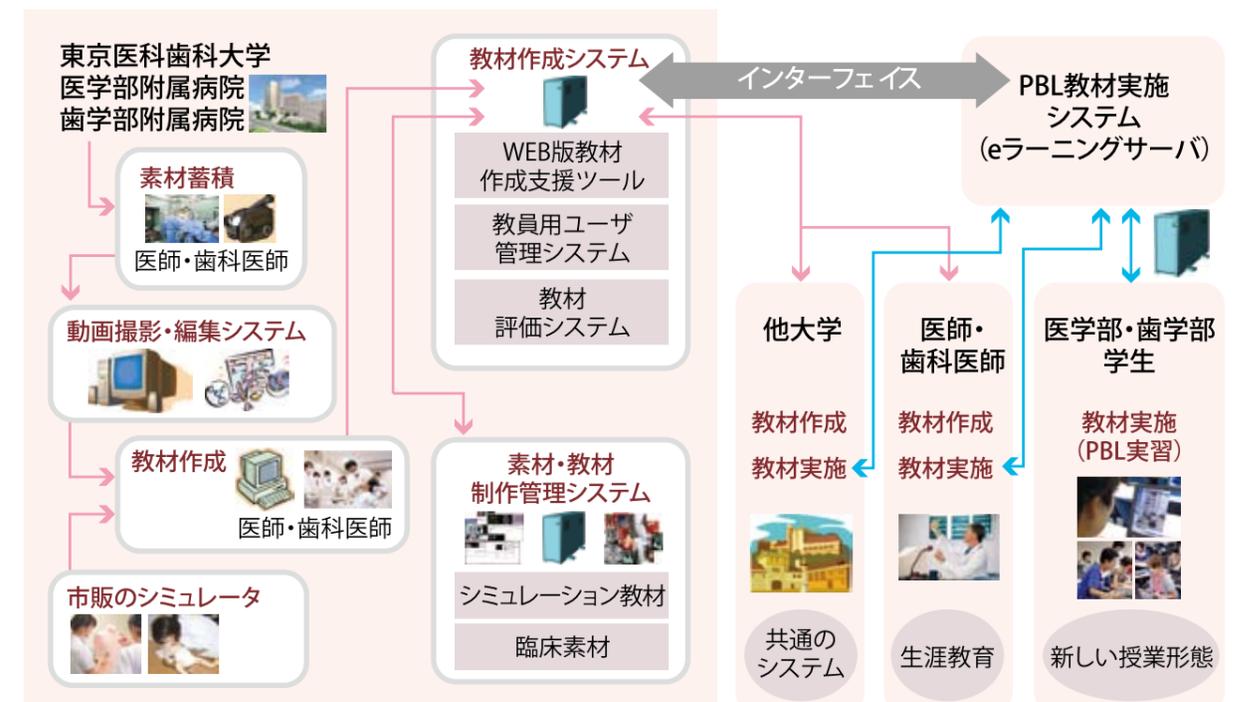
### 医歯学シミュレーション教育システムの構築

取組責任者：歯学部口腔保健学科 木下淳博 教授

この取組は、医・歯学生の診療能力向上のため、症例写真、X線、CT、MRI、手術動画、内視鏡検査動画、心音、呼吸音等を多用したコンピュータシミュレーション教育システムを構築し、市販のシミュレータ(マネキン、模型等)の活用と共にシミュレーション教育を充実させるためのものです。具体的には以下のような取組を行っていきます。

- (1) 問診、検査等により的確な診断を行って、治療計画を立案する過程、あるいは手術・処置・準備・補助・検査の手順等を疑似体験できるマルチメディア教材をコンピュータの専門家でない教員が、直接、簡単に作成できるように、対話型の教材作成支援ツールを開発し、教員による教材開発を支援すること。
- (2) 臨床資料、シナリオ、教材等をデータベース化し、教員・学生がオンデマンドで情報を共有できるようにすること。
- (3) 作成、蓄積された豊富な教材を eラーニングシステムと連携させて医学教育、歯学教育に活用し、その教育効果を評価、解析すること。
- (4) 市販の医歯学教育用シミュレータを導入し、活用すること。

### 医歯学シミュレーション教育システムの将来像 (特色 GP)



# 大学院教育改革支援プログラム

Support Program for Improving Graduate School Education

大学院教育改革支援プログラムは、社会の様々な分野で幅広く活躍する高度な人材を育成する大学院博士課程、修士課程を対象として、優れた組織的・体系的な教育取組に対して重点的な支援を行うことにより、大学院教育の実質化を推進することを目的としています。また、採択された取組を広く社会に情報提供することで、今後の大学院教育の改善に活用します。

## 国際産学リネージュプログラム

取組実施担当者：大学院生命情報科学教育部長 田中 博 教授

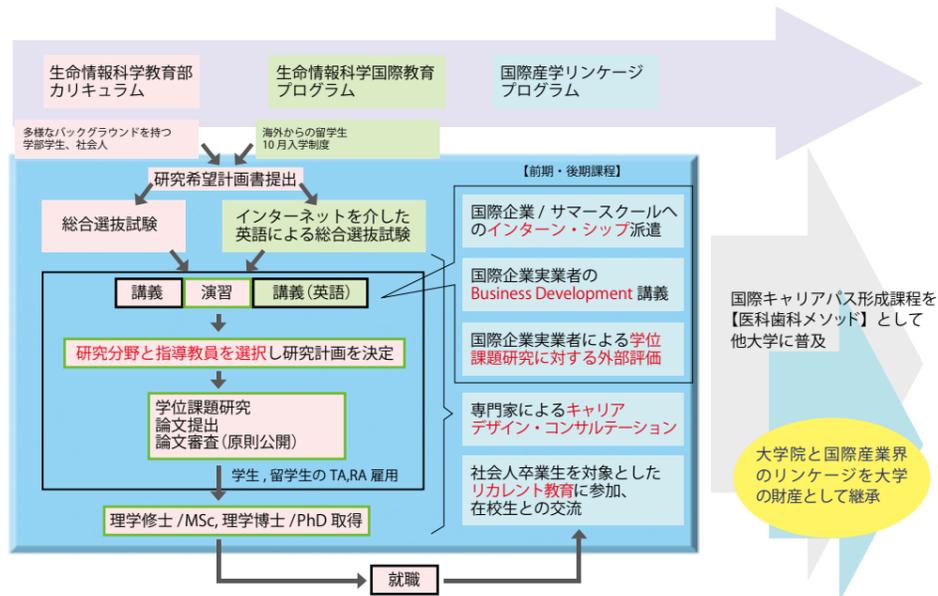
本学大学院生命情報科学教育部は異分野融合型を目指し、疾患を指向した最先端の生命科学の教育を目的としたプログラムを整備してきました。発足後は「魅力ある大学院教育イニシアティブ」に「生命情報科学国際教育プログラム」が採択され、大学院教育の国際化を実現することにより、英語で討論をリードし活発に発言する新しいタイプの研究者が養成されてきています。

「国際産学リネージュプログラム」は、この国際的なコミュニケーション能力を、国際産業界で活用できる総合実践力にまで高め、社会のニーズに適合した国際キャリアパス形成について修業年限内に準備できるよう組織的に支援するものです。これまでの生命情報科学教育部のカリキュラムで養成された基礎力に対して、本教育プログラムはそれを結実させる応用編として位置づけられます。

これまでのカリキュラムでは座学と演習が中心でありましたが、本教育プログラムはケーススタディ体験型コースとして実現されることが特徴です。学生自らが企画して、国際企業へのインターン・シップを実施しています。国際社会のリアルタイムの動向と求められる人材像を、国際的企業や研究所の現場に滞在し、体験的に学習することを目標としています。インターン・シップが単なる見聞に終わらぬよう、事前にキャリアパス形成に関する専門家のコンサルテーションを実施し、明確な目的と豊かな知性を持ってインターン・シップに臨むためのカリキュラムも整備しています。さらに、国際産業界と連携して国際産学スクールを開催し、ビジネス戦略について学び国際産業界と会話する力を鍛えるよう指導します。

このように本プログラムでは、国際産業界と大学院のリネージュを重点的に整備して、養成した人材の国際社会貢献を支援しています。

## 組織的大学院教育、国際化、社会要請に応える人材養成へと発展

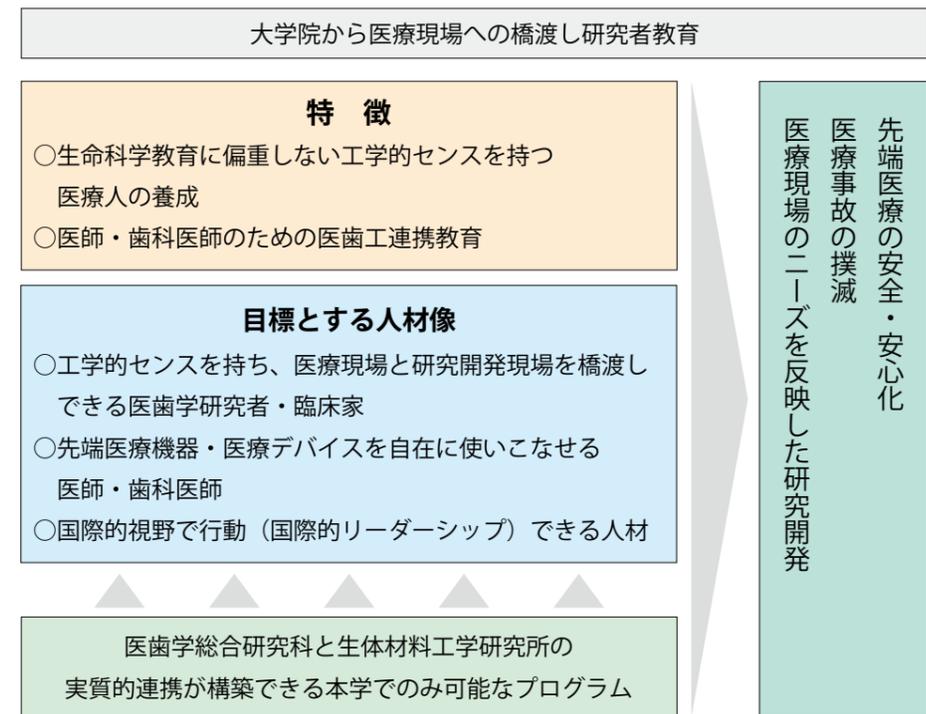


## 大学院から医療現場への橋渡し研究者教育

取組実施担当者：大学院医歯学総合研究科長 田上順次 教授

従来、医歯学系大学院では生命科学と医歯工学が研究・教育の主要な柱とされてきました。しかし、近年では生命科学が医療の発展に大きな役割を果たしていることから、大学院教育も生命科学に特化し、高度化する傾向があります。外科系や多くの歯科系が含まれる機能再構築学系と機能再建学系の臨床医歯学でも、医療の発展に生命科学が大きく関わっています。しかし、これらの臨床では医用材料や医用機器、さらには医療技術が診療結果を大きく左右しており、先端医療の開発等による医療の高度化に医歯工学研究が不可欠となっているのも事実です。

本大学院教育改革プログラムでは、通常の医歯学系、生命科学系、工学系科目のうち工学系科目を再編し、系統的教育を行って大学院から臨床現場への橋渡し役となる工学的センスを持った医療人研究者の養成を行います。従来も学内外で医歯工連携教育はされてきましたが、理工系学生のための教育が主で、医師・歯科医師への系統的教育は行われていませんでした。本プログラムは医師・歯科医師のためのプログラムであり、生体材料工学研究所が歯系大学では国内唯一設置されている本学だからこそ可能なプログラムです。



# 科学技術振興調整費

Special Coordination Funds for Promoting Science and Technology

科学技術振興調整費は、科学技術会議の方針に沿って科学技術の振興に必要な重要研究業務の総合推進調整のための経費として、昭和56年度に創設されたもので、各省庁、大学、民間といった既存の研究体制の枠を超えた横断的・総合的な研究開発の推進を主たる目的としています。

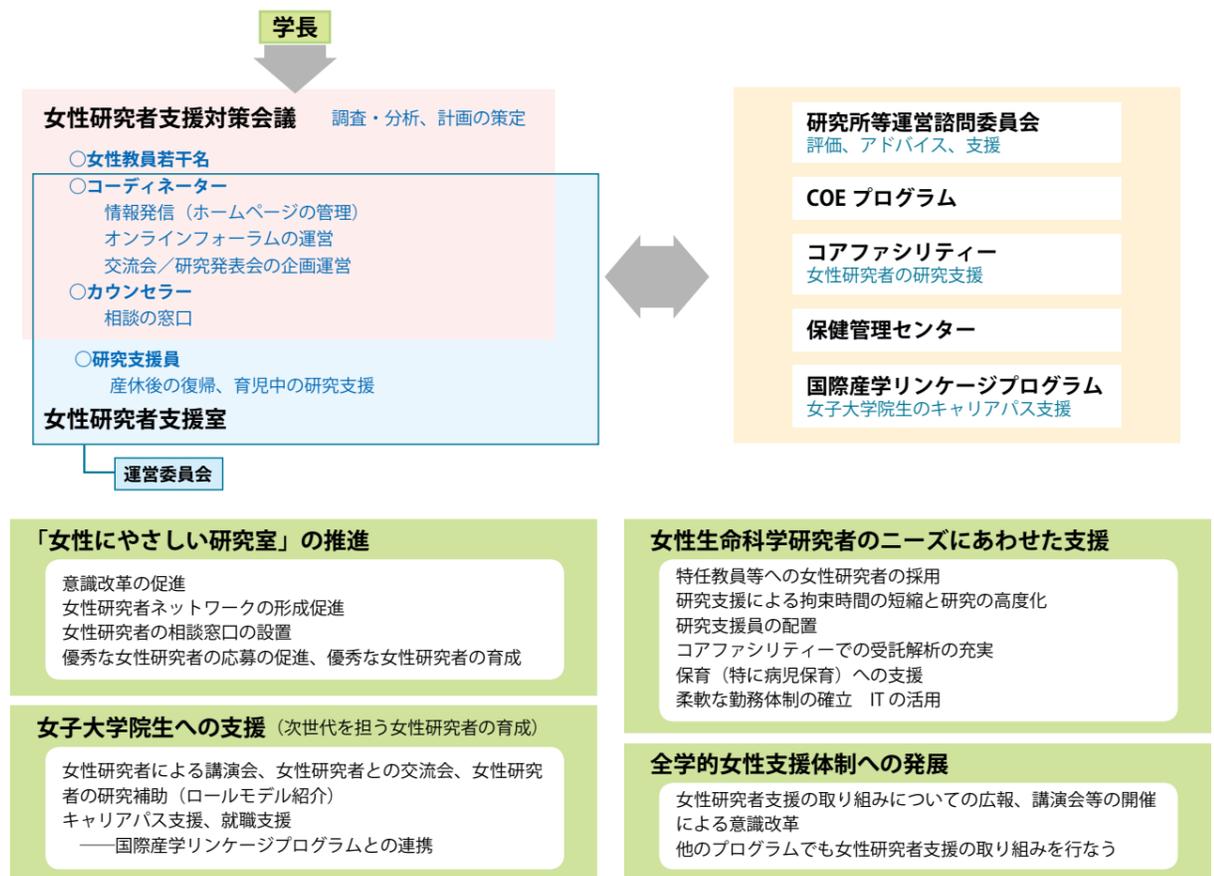
## 女性研究者への革新的支援

業務主任者：大山喬史 学長

本プログラムは科学振興調整費『女性研究者支援モデル育成』事業として採択されたもので、平成20年から3年間の予定で実施されます。

本プログラムはまだはじまったばかりですが、担当の荒木特任教授が着任して女性研究者支援室を開設するとともに、女性研究者支援対策会議を立ち上げ、施策の立案、実施体制を整えました。本プログラムは難治疾患研究所、生体材料工学研究所、疾患生命科学部、生命情報科学教育部が中心となって申請したのですが、全学的な波及が要請されており、女性研究者支援対策会議も全学的な視野で構成されています。

本プログラムでは、女性研究者がその能力を最大限に発揮できるように、環境整備と意識改革を重点的に進めます。講演会、交流会やオンラインフォーラムなどにより女性研究者のネットワーク形成と意識改革を進めるとともに、女子学生へのロールモデル提示を行います。また、研究者の雇用を推進するとともに、出産・育児等のライフイベントやその他の女性特有の問題に対する支援を行い、ITを整備して柔軟な勤務ができるよう環境整備をはかります。さらに「女性に優しい研究室」の推進や、性差医学研究を推進するなど意識を高めることを目指しています。



## 若手研究者の自立的な研究環境整備促進「メディカル・トップトラック (MTT) 制度の確立」

研究代表者：難治疾患研究所長 野田政樹 教授

難治疾患研究に従事する若手研究者を育成するために、外部・内部審査員からなる MTT 推進委員会を設置し、書類審査と英語によるプレゼンテーションよりなる厳正な2段階審査により多様かつ優秀な若手研究者をメディカル・トップトラックフェロー (MTT フェロー) として国際公募により採用します。これまでに高い研究業績を有しており、今回の任用期間内においても、競争的資金を獲得して先端的研究活動を推進し、キャリアパスの展開を目指す若手研究者を採用し、ポスト終了後、または、これに準ずる研究経歴の方 (博士号取得後概ね10年以内) を対象とします。

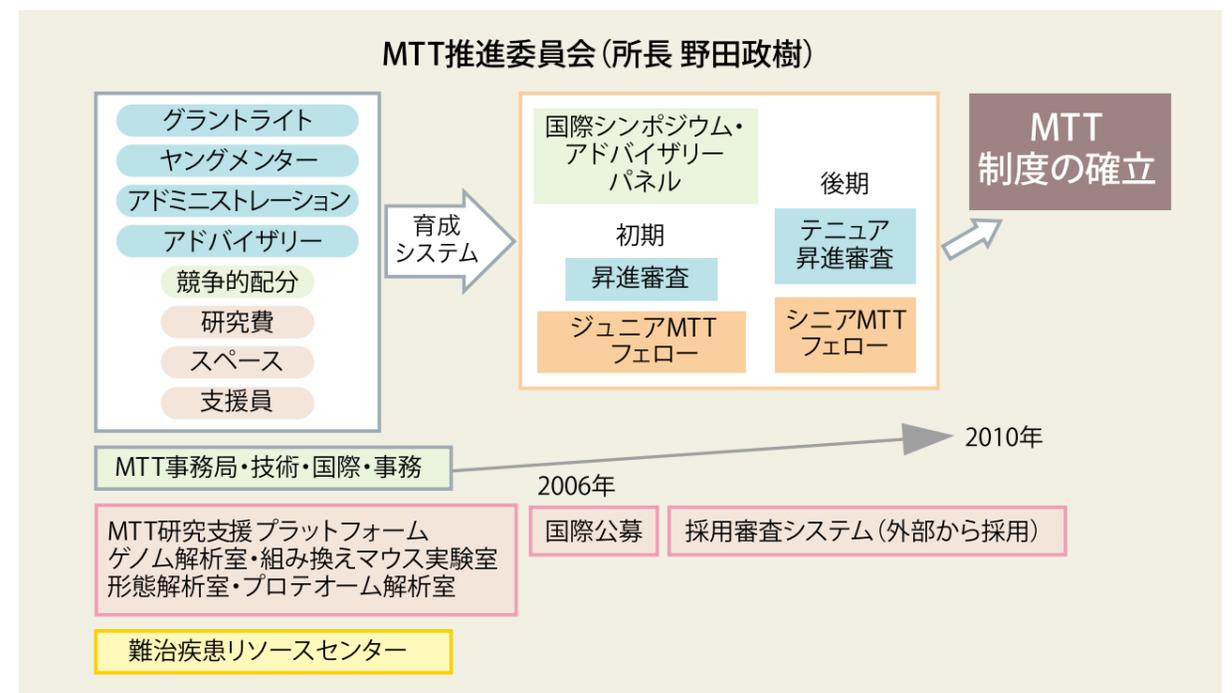
審査結果に応じて、競争的にそれぞれの MTT フェローの (1) スタートアップファンドの額、(2) 博士後研究員の有無、(3) 研究スペース配分を決定します。前期には、MTT フェローはジュニア MTT フェローとして競争的環境で育成され、本研究所の若手研究支援プラットフォームや難治疾患リソースセンターをフル活用し、研究活動に専念します。

期間中に一定の成果を挙げた一部のジュニア MTT フェローは、後期のシニア MTT フェローの段階に進み、研究活動を継続するとともにヤングメンターシステム、アドミニストレーション参加、グラントライティングコースにおいて、研究、教育、競争的研究費獲得の各々の面において独立した国際的に通用する若手研究者として育成されます。優れた研究成果を挙げたシニア MTT フェローは、国内外の審査委員によるテニュア昇進審査の結果に基づいて本研究所のテニュア教員 (本研究所の正式職員) に採用される可能性があります。

以上のように、本事業の MTT フェローは准教授あるいは助教などのテニュア教員の前段階として位置づけられ、若手の育成と人材の流動化を促進することにより将来のテニュア制度及びテニュア・トラック制度の確立を目指します。若手研究者による自立的・競争研究環境整備の新しいモデルとなることが期待されます。

紹介 HP <http://www.tmd.ac.jp/mri/mtt/mtt.html>

## メディカル・トップトラック (MTT) 制度



新興分野人材養成  
「バイオ医療オミックス情報学人材養成プログラム」

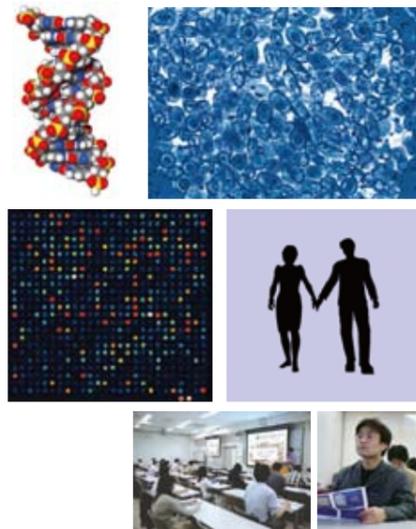
研究代表者：情報医科学センター長 田中 博 教授

ヒトゲノム解読計画で実証されたように、情報科学やコンピュータが生命科学研究に欠かせない手段になりつつあります。生命科学と情報科学の融合領域はバイオインフォマティクスと呼ばれ、新しい分野ですが、この分野を担う人材が不足しています。また一方生命科学の分野もゲノム解読計画終了以降、遺伝子発現のマイクロアレイによるゲノムワイドな観測、細胞内たんぱく質の質量分析器による網羅的測定など、ゲノム以外の網羅的分子情報、いわゆるオミックス情報へと範囲を広げていますし、その医療への応用が叫ばれています。

東京医科歯科大学では、生命科学と情報科学に素養のある医療人を育てる「バイオ医療オミックス情報学」人材養成プログラムを平成17年度から5年間にわたって科学技術振興調整費委託事業として実施しています。このプロジェクトは、これからのオミックス医療を支えるために、「臨床に活用できる生命科学の知識と情報科学を有効利用できる素養を持った医師を始めとする医療人」の養成を第一の目標としています。

また、この人材養成プログラムでは、これまで生命科学の分野で活動していたバイオインフォマティストも対象とし、彼らとその活躍の場を医療へと広げるように、医学・医療の基礎的かつ実践的な知識を教授し、オミックス医療の実際的な情報管理を担うためにコースも設けました。この人材養成コースの修習をとおして新たなオミックス医療を実現する優秀な人材の輩出を目指します。

これまでの4年間で延べ100名超の社会人が本プログラムを聴講し、52名（見込み20名）が修士課程相当の全課程を修了しました。10名（見込み5名）の修了生が本学の博士後期課程に進学し、自らオミックス医療の実現に取り組んでいます。



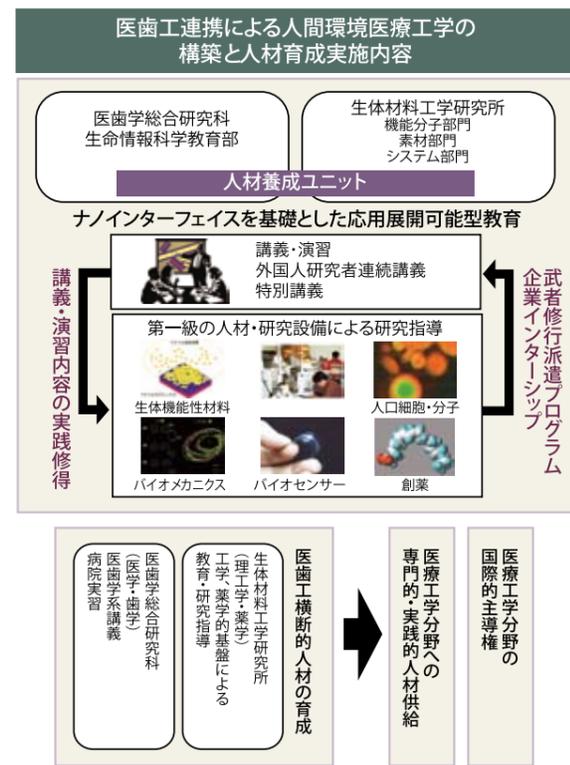
新興分野人材養成  
「医歯工連携による人間環境医療工学の構築と人材育成」

研究代表者：生体材料工学研究所長 山下仁大 教授

本学医歯学総合研究科及び生命情報科学教育部の修士課程及び博士課程学生、また希望に応じて企業からの派遣学生を対象に、ナノテクノロジー融合領域を基盤とした、近未来に必要な理想的医療環境を構築するための基礎的科学的及び応用的技術を修得させ、自力で発展的に実用展開できる人材を養成して、産業界、研究機関へ供給することを目指しています。

ナノインターフェイス、すなわちナノメートルレベルでの界面反応制御を共通の基盤技術と位置づけ、基盤となる科学及び技術の緊密な連携によって、高機能生体材料、薬物徐放材料、診断システムなどの医療用デバイスを創出できる人材の育成を第一義とし、教育を進めます。

本学の特色を生かした医学、歯学に関する教育に加え、理学、工学、薬学の講義・演習・研究実習のみならず、外国人講師による連続講義、学生の国外研究機関への武者修行的派遣、企業への派遣を行い、実践力を高めるとともに、国際社会の中での日本の実情を把握できるカリキュラムとしています。



新興分野人材養成  
「ライフサイエンス分野知財評価員養成制度」

研究代表者：知的財産本部技術移転センター長 前田裕子 特任准教授

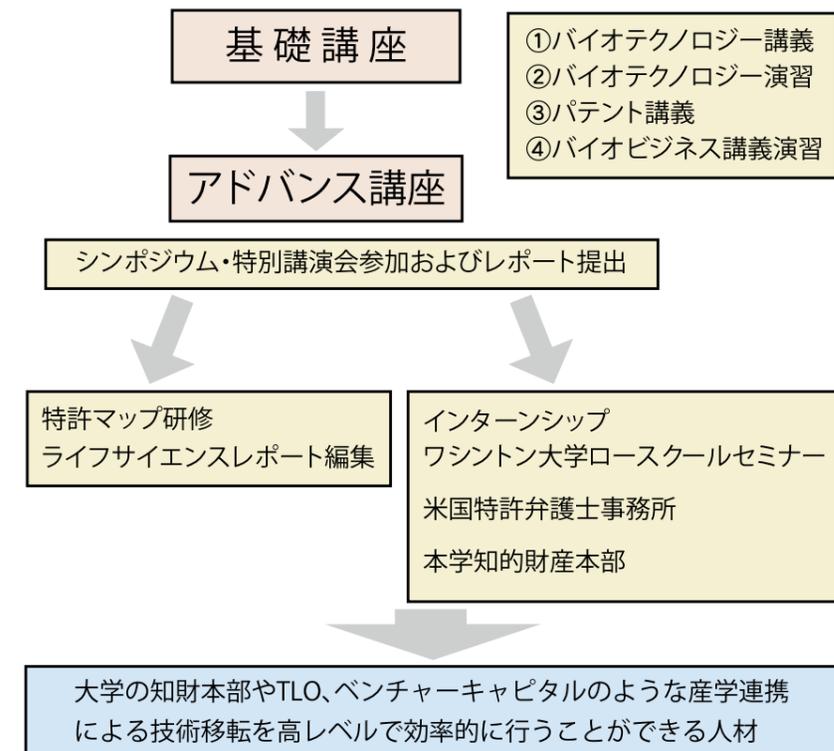
医歯学を含む生命科学領域は21世紀の基幹産業になると予測され、その知的財産の集積は我が国にとって急務となっています。生命科学領域の知的財産の価値を評価するには、高度な専門知識を有し、特許制度や法規に精通した上で、将来的マーケットニーズを戦略的に考慮する必要があります。また、医療やバイオに関する有力な特許が主として米国で出願されているため、英語で書かれた資料を読みこなすだけの語学力も求められます。残念ながらそのような多様な才能を有した人材は我が国において極度に不足し、我が国の生命科学領域における多くの発明は、その知的財産的価値が正しく評価されていないのが実情です。とくに大学の知的財産本部やTLO、さらにはバイオベンチャー等に投資するベンチャーキャピタルなど金融・証券業界ではそうしたライフサイエンス分野で“目利き”のできる人材が不足しています。本制度でこうした分野への人材供給を効果的に進めることにより技術移転を効率的に進め、産業の

活性化を図ると同時に生命科学領域に精通した弁理士を養成することで我が国の知的財産の集積に大きく貢献するものと思われれます。

本学知的財産本部では、生命科学領域の各専門分野に精通する、修士及び博士課程の優秀な本学大学院生を評価担当技術員として雇用し、知的財産業務を知悉した知財マネージャーや弁理士が指導する集中講義と、内外の医療・バイオ領域の特許を精査して専門の評価を加えるOJTシステムを経験させることにより、ライフサイエンス分野の知的財産を評価する人材養成に努めています。

本人材養成制度は、本学大学院生が対象である評価担当技術員制度の人材養成の対象を、大学院生命情報科学教育部・疾患生命科学研究部の全面的支援を受けて、他大学生や一般社会人に拡大し、ライフサイエンス分野の知的財産を評価できる“目利き”の養成を目指します。

ライフサイエンス分野知財評価員養成制度の構成



## 新興・再興感染症研究拠点形成プログラム

Program to Create an Infectious Diseases Research Center

本プログラムは、国内外に設置した研究拠点において新興・再興感染症の研究を実施し、新興・再興感染症対策に資する基礎的知見の集積を図るとともに、研究を通じた感染症研究分野の人材の育成を目的として実施されています。

### 西アフリカ地域の研究拠点を核とした感染症研究の戦略的展開

研究代表者：大学院医歯学総合研究科環境社会医歯学系専攻 太田伸生 教授

感染症は21世紀の全地球的課題として、医学はもとより、社会、経済、政治など多方面に大きな影響を及ぼす問題である事が認識されるようになりました。私たちは何時、何処で、如何なる感染症でも起こりうる時代に生きています。新興感染症という私たちが未だかつて遭遇した事のない感染症も視野に入れる必要があります。

感染症の対策のために一番大切な事は情報の収集です。新興・再興感染症の多くは発展途上で発生しており、情報収集のためにはそのような地域の研究者との連携が欠かせません。文部科学省の「振興・再興感染症研究拠点形成プログラム」は、この緊急の社会的ニーズに基づき、これまで築いて来た日本と途上国の研究者の連携をさらに強化し、日本が世界の感染症研究や対策に主導的役割を果たすことを目指して平成17年度から開始されました。

東京医科歯科大学は結核予防会結核研究所と共同で、ガーナ共和国野口記念医学研究所(野口研)を拠点とした感染症研究展開を進めています。ガーナが位置する西アフリカ地域は感染症の宝庫と言っても過言でなく、エイズ、結核、マラリアはもとより、ラッサ熱や黄熱などのウイルス性出血熱、アフリカ睡眠病や住血吸虫病などの寄生虫疾患、ブルリ潰瘍など西アフリカに特有の細菌感染症などが流行しています。しかし、その医学研究は未整備なままであり、信頼に足る疫学情報の構築が必要です。また適切な治療プロトコルや新規治療法開発など、応用医学の面でも多くの課題が山積しています。私たちは、これらの感染症を on-site で研究できる拠点を形成する事により、研究強化はもとより、人材育成、疾病対策などが効率的に図られると考えています。

野口研は野口英世博士に因んで日本がガーナに設置した研究所です。P3 実験室や実験動物センターなどを設置し、西アフリカ随一の研究環境を持っています。本学からは2名の研究者を常駐させて、ウイルス、寄生虫感染症の研究を野口研の研究者と協力して開始しました。野口博士がガーナで黄熱病に斃れて80年後の今年、新たに日本人研究者が現地に滞在して感染症に関する先端医学研究を推進し、本学が中心となって日本と西アフリカの感染症研究の向上と若手研究者育成を進める事は大きな意義があることと考えています。

### 本学と野口研の交流協定調印式



## 独創的シーズ展開事業 大学発ベンチャー創出推進

Japan Science and Technology Agency Project to Develop "innovative seeds" Supporting Program for Creating University Ventures

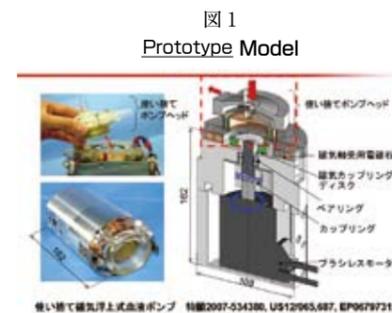
この事業は、大学の独創的シーズを基盤に、ベンチャー企業を創出推進することを目指しています。基礎研究、臨床応用、産学連携を通して、大学の基盤技術を企業に技術移転し、新しい産業の創出、研究成果の社会への還元を目指します。

### ディスプレイ式、磁気浮上遠心血液ポンプの研究開発

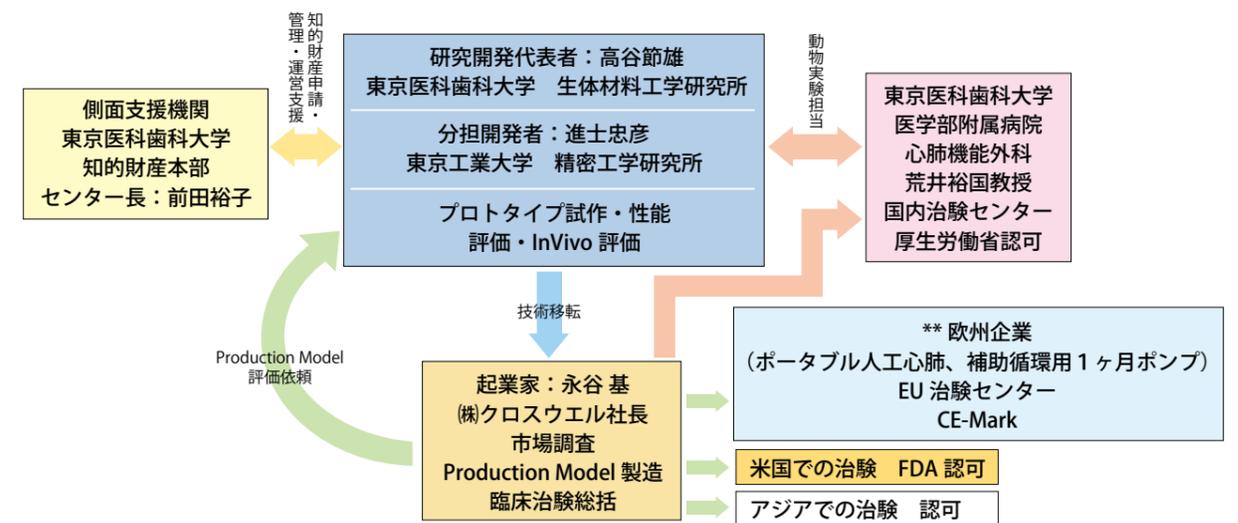
開発代表者：生体材料工学研究所 高谷節雄 教授

本研究開発は、ミニマム抗凝固剤の使用により、1ヶ月間安全な循環補助が可能な、生体適合性に優れた、ディスプレイ式、磁気浮上遠心血液ポンプの技術を基盤に企業を興し、製品化、臨床応用を目指す。本研究は、4大学連合(東京医科歯科大学、東京工業大学、一ツ橋大学、東京外国語大学)の一貫として、2004年から、東京医科歯科大学生体材料工学研究所と東京工業大学精密工学研究所の協力で研究開発が進められてきた磁気浮上技術を遠心血液ポンプ技術に応用し、従来のメカニカルベアリング構造を有する血液ポンプの耐久性、生体適合

性を改善し、ミニマム抗凝固剤の使用で、最低一ヶ月間は、安全・安心な循環補助を可能とする循環補助デバイスの研究開発を目指す。使いやすさ、簡便性並びに低コストを実現するために、ポンプシステムは、ディスプレイポンプヘッド部と再利用可能な駆動制御部に分ける(図1)。研究は、基礎性能、耐久性を確認した後、仔牛を用いたデバイスの安全性、有効性について評価し(図2)、産学連携を通して企業化を行い(組織図3)、国内外での臨床治験を進め、社会への還元を目指す。



### 研究開発組織図 図3



## 分子イメージング研究プログラム

Molecular Imaging Research Program

生物が生きた状態のまま外部から生体内の遺伝子やタンパク質などの様々な分子の挙動を観察する分子イメージング技術について、PET (Positron Emission Tomography) を中心としたイメージング技術を利用し、創薬プロセス改革、疾患の診断技術及び治療の評価技術の開発を目指します。

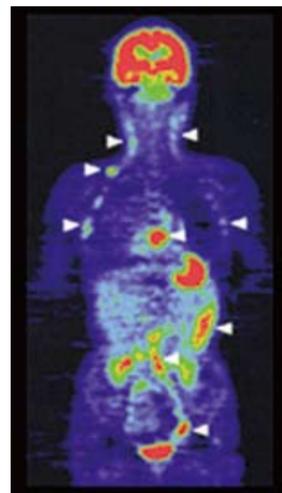
### 難治感染症に対する新規治療薬開発のためのイメージング研究

研究責任者：大学院疾患生命科学部 萩原正敏 教授

C型慢性肝炎から肝硬変、肝癌へと進行する病変を抱える200万人の患者の治療法確立が社会的急務となっていますが、インターフェロン等以外には有効な治療方法が無く、C型肝炎ウイルスを根絶できる新規治療薬が待望されています。BSEなどプリオン病は、現在、日本に大きな社会不安を引き起こしていますが、これはプリオン病に対する有効な治療方法がないことが原因です。鳥インフルエンザウイルスはその変異の速さから、ワクチンの効力は完全とはいえず、経口薬タミフルも安全性に問題があることが明らかとなっており、タミフルとは異なる作用点を有する薬剤の創製が社会的に強く求められています。

本研究では、近年脅威が増大しつつあるが有効な治療法がない難治の感染症、特に新規治療薬開発に対する社会的希求度が高いC型肝炎、伝染性海綿状脳症(プリオン病)、新型

インフルエンザの3疾患を対象に、新規治療薬を開発・研究している研究者を結集してリード化合物を創製します。具体的には、研究代表者萩原らが、C型肝炎のin vitro評価系で著効を示した新規化合物を合成展開し、分子イメージング用プローブの開発を行なう予定です。また研究参画者桑田らがプリオンの立体構造に基づいて論理的に見出した新規抗プリオン化合物は、動物実験レベルでもその有効性が証明できています。また研究参画者間はNP蛋白質に対する薬剤を理論的に設計することによって、多くのインフルエンザウイルス株間に共通に効果のある薬物を創製する予定です。これらの新薬候補化合物から高速C-メチル化反応を応用して分子イメージング用プローブを合成し、理化学研究所創薬候補物質探索拠点(神戸)と連携してPETイメージングによる薬物動態解析を行い、新たな創薬手法の確立を目指します。



- 抗C型肝炎ウイルス化合物
- 抗プリオン化合物
- 抗インフルエンザウイルス化合物

PETイメージングによる低分子化合物の体内動態・集積部位の解析

新たな診断・治療・予防法の開発

## ライフサイエンス分野の統合データベース整備事業

Integrated Database Project

現在、我が国のライフサイエンス分野の国内主要データベースの統合化と継続的な維持方策の必要性が指摘されています。そこで本事業では、我が国のライフサイエンス関係のデータベースの利便性の向上を図るため、我が国のライフサイエンス関係データベース整備戦略の立案・評価支援、データベース統合化の基盤技術開発、ポータルサイトの整備等を行い、統合化を推進します。

### 統合医科学データベース構築方式の開発

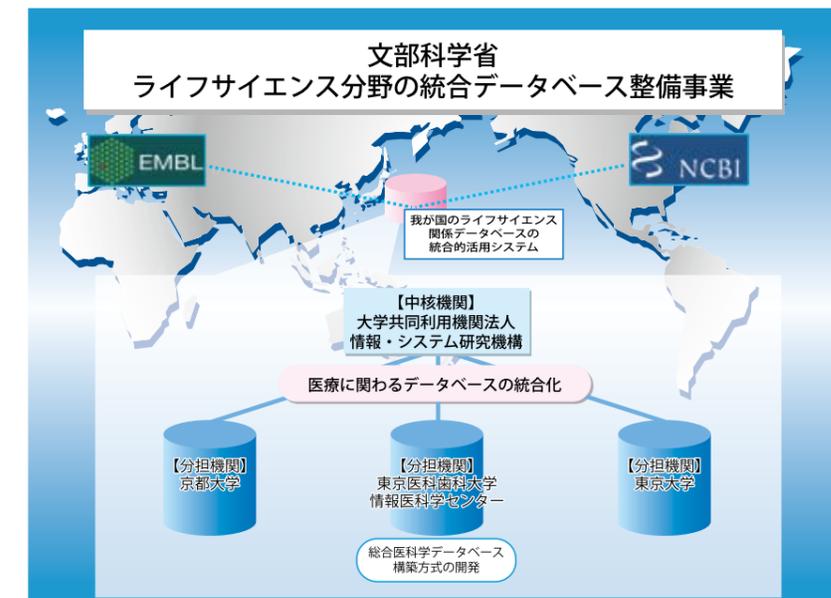
研究代表者：情報医科学センター長 田中博 教授

2003年のヒトゲノム解読計画以降、ライフサイエンス分野の情報は爆発的に増加しつつあり、わが国においても多数の大学、研究所において、ゲノムを始めとする様々な網羅的分子情報を蓄積したデータベースが構築されています。しかし、わが国においては、これらデータベースは分散して米国NCBIやヨーロッパのEBIなどのように、これを統合するナショナルセンターが存在しません。

そこで文部科学省では数年前から、ライフサイエンスの全分野、すなわち網羅的分子情報から疾患情報まで「生命情報を統合的に扱うナショナルセンター機構」を構築することを目的として、「ライフサイエンス分野の統合データベース整備事業」が進められてきました。今年、それを実現する機構として、わが国のライフサイエンス分野の情報を統括する「中核機関」と、中核機関と連携してそれぞれの専門分野でのデータベースを担当する「分担機関」によって、この統合化事業を行うことが決まりました。

各機関の公募の結果、東京大学、京都大学とならび、本学の情報医科学センターが「ライフサイエンス分野統合データベース事業」を国が委託する3つの分担機関の1つとして選ばれ、平成19年度より4年間で事業を実施しております。

本学の情報医科学センターが科学技術振興調整費の受託を受け開発した、網羅的分子情報と臨床情報を集積した統合的医療データベース(iCOD; <http://omics.tmd.ac.jp/>)および大阪大学の神経難病(パーキンソン病)データベースを実証的に統合し、統合医科学データベース検索のプロトタイプシステム(<http://ibmd.tmd.ac.jp/>)を公開しております。国内の医科学データベース統合のための基盤構築を目標とし、戦略の立案及び統合化技術の開発を行います。



## 日本学術振興会先端研究拠点事業

JSPS Core to Core Program

先端研究拠点事業は、先端的な学問領域において、日本と複数の先進諸国の中核的な研究拠点機関間のネットワークを形成し、従来の二国間交流の枠を超えた多国間交流として、より一層の国際共同研究の推進を図るとともに、将来を担う次世代の若手研究者間の交流促進を目的としたもので、本学では下記のプログラムが採択されました。

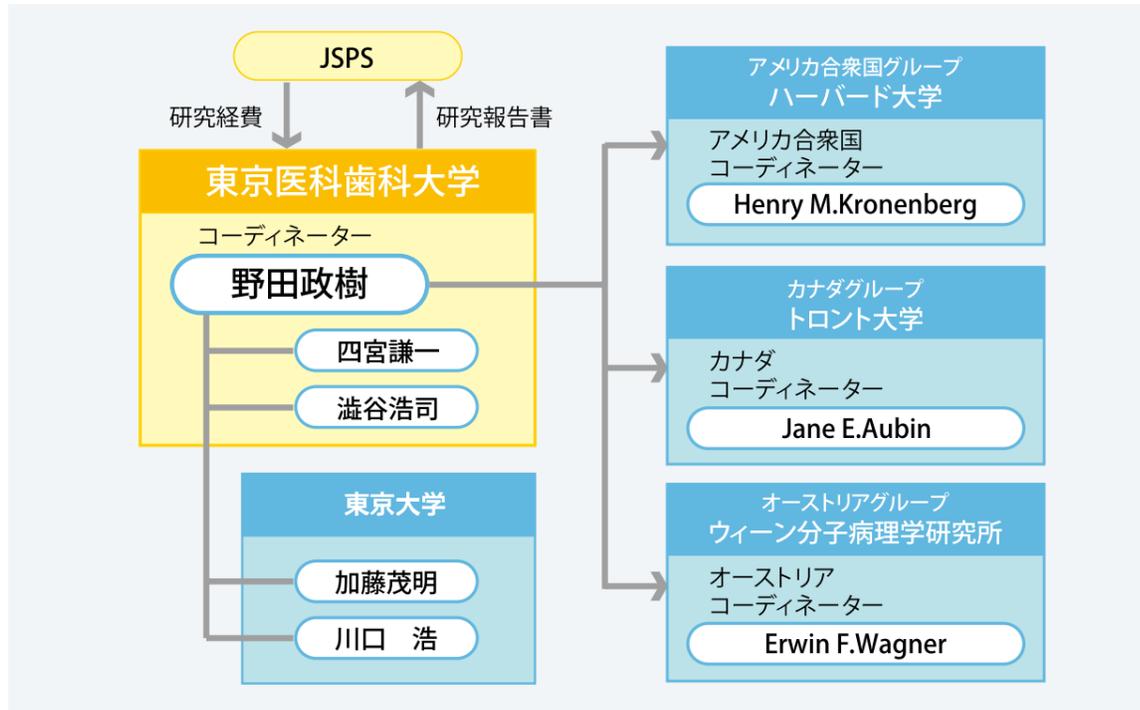
### 骨・軟骨疾患の先端的分子病態生理学研究的国際的拠点形成

コーディネーター：難治疾患研究所長 野田政樹 教授

わが国と世界の科学先進国 15 ヶ国を指定して、その中における先端的な研究拠点を形成する事業であり、本学における拠点形成型の 2 年間の実績を踏まえ、「国際戦略型」の先端研究拠点の形成事業が設置されました。東京医科歯科大学は、先端的な学問領域において日本と複数の先進諸国の中核的なネットワークを形成し、一層の国際共同研究の推進を図ると共に将来を担う次世代の若手研究者の国際的交流の促進を目的とした日本学術振興会の先端研究拠点事業の中核拠点として活動するものです。研究交流計画においては、骨・軟骨疾患の先端的分子病態生理学の国際的研究拠点形成を目指し、東京医科歯科大学・ハーバード大学（米国）・トロント大学（カナダ）

ウィーン分子病理学研究所（オーストリア）の 3 カ国とわが国における東京大学分子細胞生物学研究所ならびに同大学院医学系研究科の連携の下に研究が推進されます。既に、国際的な先進研究者の共同研究体としての先端研究推進フォーラムが 10 回以上開催され、また若手の交流と育成を目指す国際的な若手研究者ネット会議も 15 回以上にわたり開催され、国際シンポジウムと合わせた 3 つの活動、即ち共同研究、若手育成、シンポジウムを柱とした研究活動が推進されています。

### 骨・軟骨疾患の先端的分子病態生理学の国際的拠点形成



## 大学教育の国際化加速プログラム（国際共同・連携支援（総合戦略型））

Program for Accelerating Internationalization of Higher (University) Education

大学教育の国際化加速プログラムは、大学等が行う教職員や学生の海外派遣の取組や海外の大学との積極的な連携等を行う取組のうち、文部科学省が特に優れた取組を選定し財政支援を行うことで、「国際社会に貢献できる人材の養成」や「大学の国際競争力の強化」等を促進することを目的としたプログラムです。

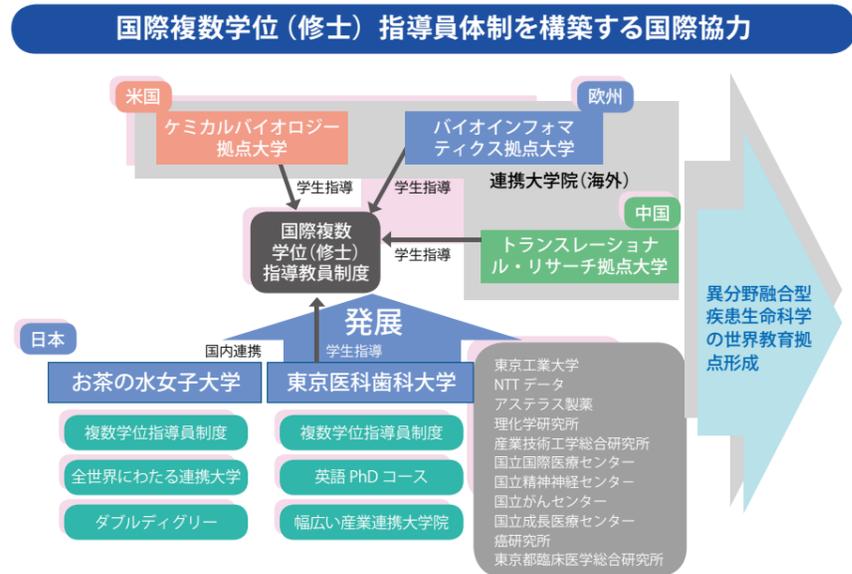
### 異分野融合型疾患生命科学教育の国際連携

取組実施責任者：大学院生命情報科学教育部長 田中 博 教授

大学院生命情報科学教育部・疾患生命科学研究部は、異分野融合型疾患生命科学を教育研究の理念に掲げ、官民の先端的研究所と連携大学院を構成し、多様でかつ選択可能なカリキュラムを実現するとともに、英語のみで大学院教育を受け PhD を取得できる教育カリキュラムを整備して、大学院教育を実質的に国際化してきました。本事業では、これまで推進してきた連携大学院制度と教育の国際化を、国境を越えて展開し、海外の教員と協力した国際複数学位（修士）指導員制度を実現して、国際教育研究拠点形成へ向けて高度化することにあります。

欧州米国アジアの高等教育機関（本学、お茶の水女子大学、ドイツハイデルベルク大学、中国協和医科大学、中国医科大学、等他、約 10 大学）の間でグローバルな連携を構築し、異分野融合型疾患生命科学という同じ教育理念の下に教育資源を再構成して国際ネットワーク型ダブルディグリー教育プログラム（博士 5 年間）を開発し、本取組が終了する 3 年後に開始を目指します。大学院生が本学に在学しながら海外の先進的大学の学位（修士）研究指導を享受できる制度を整備し、学位研究指導を実質的に国際化し、大学院教育の国際水準を確保します。

本大学院が受託している、大学院教育改革支援プログラム「国際産学リンケージプログラム」で実現する国際産学連携を相互補完し、大学教育の国際化加速プログラム「異分野融合型疾患生命科学教育の教員研修」で実施する教員交流の成果を結実させて、ダブルディグリー・プログラムの構築まで高度化する施策として取り組んでいきます。



## 産学官連携戦略展開事業（戦略展開プログラム）

Project for the Strategic Development of Industry-University-Government(I-U-G) Collaboration

産学官連携戦略展開事業は、国際的な基本特許の権利取得などを図る国際的な産学官連携体制の強化や国公立大学間連携等による地域の多様な知的財産活動体制の構築など、大学等の活動としては実施のリスクが高く、かつ、国として政策的観点から積極的に促進すべき活動を重点的に支援し、産学官連携活動全体の質の向上を図ることを目的とした事業です。

### 国際的な産学官連携活動の推進

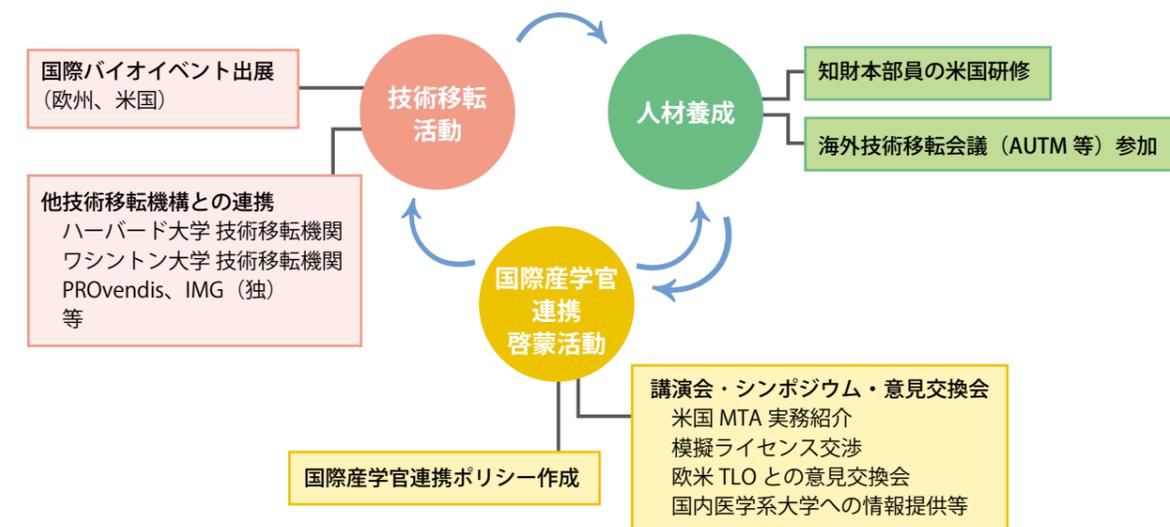
取組責任者：知的財産本部技術移転センター長 前田裕子 特任准教授

本事業は、イノベーション創出の原動力である大学等の知的財産戦略などが持続的に展開されるよう主体的かつ多様な特色ある取り組みを支援し、産学官連携活動全体の質の向上を図ることを目的としています。基本特許の国際的な権利取得の促進、海外企業からの共同研究・受託研究の拡大、知的財産人材の育成・確保など、国際的な産学官連携体制の強化を図ります。

東京医科歯科大学は知的財産本部を平成15年9月に立上げ、その後平成16年4月に国立大学が法人化されてから、大学研究者の発明を本学帰属として出願を開始しました。また、同年8月に知的財産本部内に技術移転センターを設置し、企業への技術移転活動を開始しました。技術移転センターは平成20年3月に承認TLOとして文部科学省・経済産業省の認可を受け、より一層の広報活動を展開し多くの技術移転成果を

生み出す予定です。平成19年5月には国際産学官連携部門を立上げ、米国等の技術移転機関との連携交渉を進め、欧州の技術移転イベントへ出展するなど、海外への技術移転活動を活発に行っています。

国際産学官連携戦略として、出願する特許の質の向上を図り技術移転活動を効率的に行い、本学の産学連携アソシエイトを軸にした技術移転活動の他に、国内外の技術移転機関を活用した活動を展開して、より多くの技術移転を図ります。特に海外はその国情を把握した欧州、米国等複数の連携する海外技術移転機関と定期的に意見交換を行いながら、互いに効率的な技術移転を実施できるようなシステムの構築を目指します。このような活動の成果として、模擬ライセンス交渉などの研修会の開催や技術移転に関わる事例集などを発行し、広く社会に発信します。



## 特別教育研究経費

Special Funds for Education and Research

特別教育研究経費は社会経済の変化や学術研究の進展性を踏まえ、特に配慮が必要となる諸課題に対応した各国立大学法人が取り組む事業等への支援を目的とします。本学の採択プロジェクトは以下の4件です。

### センシングバイオロジーにおける基盤技術の戦略的推進事業

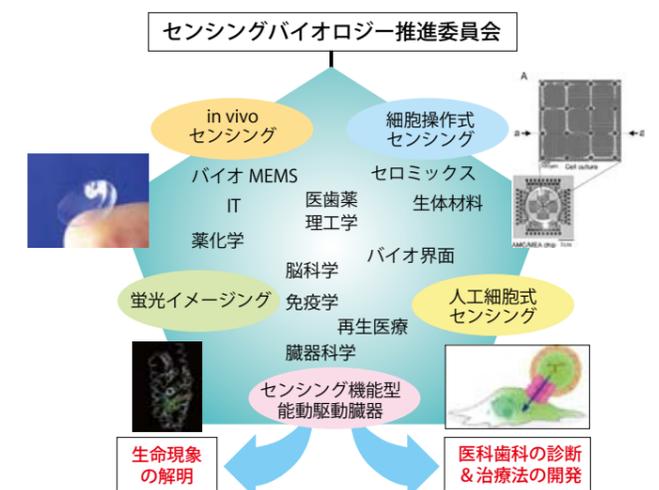
取組責任者：生体材料工学研究所 三林浩二 教授

細胞や個体、病理など様々なレベルで生命現象や疾病情報を直接生体内で計測 (in vivo センシング) する研究が重要となっています。この事業では、本学がこれまでに培ってきたセンシングデバイスや計測プローブ等の技術及び手法を発展させ戦略的に推進することにより、生命現象及び生体機能を理解し、医学や歯科の領域への発展に貢献するものです。

例えば、細胞内部及び組織においてリアルタイムに連続モニタリングすることは生命現象解明や難治疾患研究において極めて重要で、従来の「ある瞬間の」状態を検査する検査手法から、「ある一定の期間」継続的に変化を計測して、その結果を解析する「時系列解析」の需要がますます高まっています。また、生体への長期組み込み性や装着性を考慮し、臓器表面や皮膚、患部、術後部位への装着が可能な、柔らかく生体適合性に優れた計測デバイスや、細胞と接着し膜タンパク質を介して細胞との化学情報の直接対話ができる高分子デバイス、細胞個々について内部情報を評価できるチップ等が求められています。さらに、臓器科学においても、生体情報をセンシングし自律的且つ能動的に機能する、有機系臓器デバイスの研究が近未来医療として期待されています。

そこで本事業では、生体材料工学研究所・難治疾患研究所・大学院疾患生命科学研究部・大学院生命情報科学教育部が横断的な組織を形成し、①柔らかく生体適合性に優れた有機系センシングデバイス技術、②セルソーターや培養機能を有するゼロミックスチップ技術、③細胞情報との対話可能な有機高分子デバイス、④リアルタイムイメージングのための蛍光プローブ、⑤化学認識・能動駆動型有機臓器等の技術をもって、細胞から個体までを総合的にセンシングすることで生命現象を理解し、医科・歯科の領域における疾病診断及び治療へと展開いたします。またケミカルバイオロジーとの連携により、従来にはない国内で唯一の相補性を持った独創的な研究開発協力体制を実現し、生命現象や難治疾患医療、健康科学に貢献する次世代の研究開発モデルを提案するものです。

### 「センシングバイオロジーにおける基盤技術の戦略的推進事業」



## 硬組織疾患研究プロジェクト

取組責任者：硬組織疾患ゲノムセンター長 野田政樹 教授

文部科学省の特別研究教育経費により「硬組織疾患研究プロジェクト」が開始されました。本プロジェクトにおいては東京医科歯科大学における硬組織疾患研究の臨床ならびに基礎の研究集団を有機的に結集し、全学の横断的な研究の集合体として疾患情報と病態情報、さらにはこれらの基盤となる分子生命科学的な情報を基盤とした疾患科学研究を推進することを目的としています。

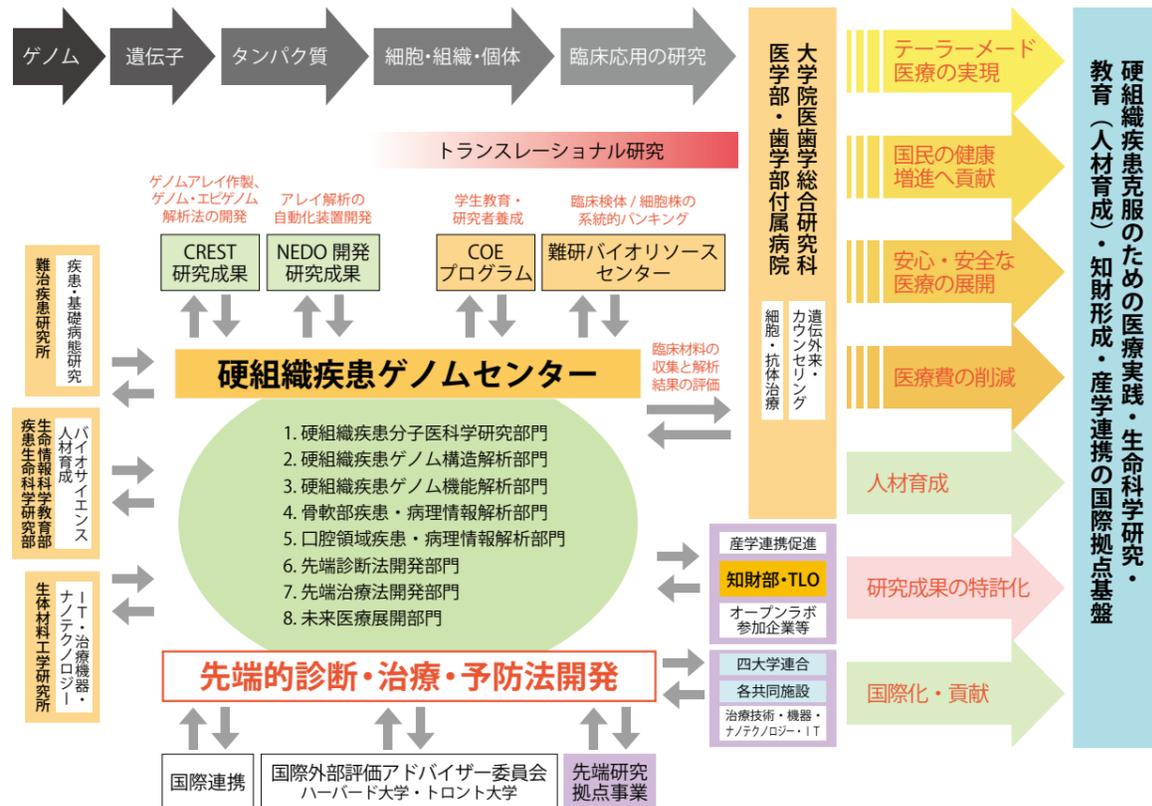
このプロジェクトに基づき「硬組織疾患ゲノムセンター」が発足しました。

本研究の組織は

1. 硬組織疾患分子医科学研究部門
2. 硬組織疾患ゲノム構造解析部門
3. 硬組織疾患ゲノム機能解析部門
4. 骨軟部疾患・病情報解析部門
5. 口腔領域腫瘍疾患・病情報解析部門
6. 先端診断法開発部門
7. 先端治療法開発部門
8. 未来医療展開部門

の8部門（センター長 野田政樹）より成ります。

### 硬組織疾患研究プロジェクト 概念図



## 組織と機能 硬組織疾患ゲノムセンター

### 1. 硬組織疾患分子医科学研究部門：

(教授併任 野田政樹、准教授併任 江面陽一)

骨軟部腫瘍、口腔領域腫瘍をはじめとする硬組織疾患における細胞増殖・細胞接着関連分子機能の解析、骨浸潤・骨転移の病態生理学、硬組織細胞の増殖・分化制御と疾患病態解析の研究を、ゲノム解析に対応する分子病態生理学として形態学、分子生物学の観点から推進する。

### 2. 硬組織疾患ゲノム構造解析部門：

(教授併任 稲澤謙治、准教授併任 井本逸勢、特任准教授 小崎健一)

骨軟部腫瘍、口腔領域腫瘍を対象とする硬組織疾患のゲノム多型、網羅的染色体構造異常、エピジェネティック遺伝子制御の解析研究から疾患(癌)の原因遺伝子の同定、悪性度診断(個性診断)のバイオマーカーの探索、治療の分子標的のスクリーニングを行い、疾患の診断、治療、予防法を開発しテラーメイド医療の実現に資する成果を目指す。

### 3. 硬組織疾患ゲノム機能解析部門：

(教授併任 三木義男)

骨軟部腫瘍、口腔領域腫瘍を対象とする硬組織疾患の体系的遺伝子発現解析、プロテオミクス解析研究、機能ゲノミクスの視点から疾患遺伝子、治療の分子標的の探索、同定を行い、抗がん剤の個別感受性、疾患の診断、治療、予防法を開発しテラーメイド医療の実現に資する成果を目指す。

### 4. 骨軟部疾患・病情報解析部門：

(研究教授 石田剛)

骨軟部腫瘍を対象とする硬組織疾患の病理診断、腫瘍細胞の形態学的解析、機能解析で得られたデータからのより有用な情報の抽出や、疾患関連遺伝子の機能予測、罹病性予測等を行う。

### 5. 口腔領域腫瘍疾患・病情報解析部門：

(研究教授 津田均)

口腔領域腫瘍を対象とする硬組織疾患の病理診断、腫瘍細胞の形態学的解析、機能解析で得られたデータからのより有用な情報の抽出や、シミュレーション解析による疾患関連遺伝子の機能予測、罹病性予測等を行う。

### 6. 先端診断法開発部門：

(教授併任 小村健、特任講師 長谷川正午)

口腔領域腫瘍疾患を対象とする硬組織悪性疾患の先端診断法の開発を行う。

### 7. 先端治療法開発部門：

(教授併任 四宮謙一、助教併任 阿江啓介)

骨軟部腫瘍疾患を対象とする硬組織疾患の先端治療法開発を行う。

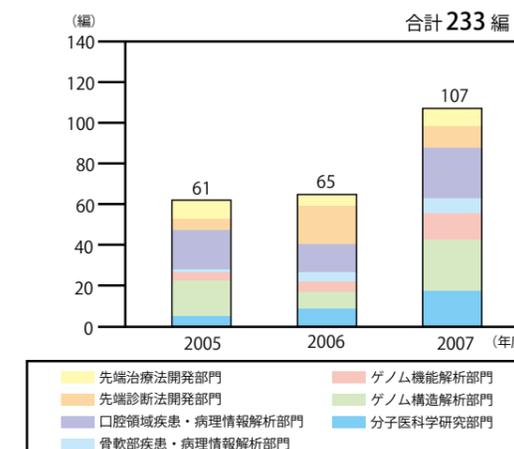
### 8. 未来医療展開部門：

(教授併任 森山啓司)

顎顔面異常を伴う遺伝性難治疾患の病態解明と診断、治療法の開発、ならびにその研究成果を実地医療に展開する。

## 硬組織疾患ゲノムセンターの実績

### 国際誌英文原著発表論文数



### 収集・保存された骨軟部腫瘍症例数



## 国際的な生命倫理学に関する研究創出事業

取組責任者：生命倫理研究センター長 水谷修紀 教授

当センターは2005年度、「ポストゲノム時代に即応した生命倫理・医療倫理の構築」として、国内拠点創出及び国際的研究支援を推進することを目的として設立されました。

### 1. 研究倫理審査支援についての事業

ハーバード大学公衆衛生学倫理審査部門にスタッフを派遣し、実際に研究倫理審査を効率的にかつ迅速化するようなシステムを掌握し、それらを本学に適用するため、以下のいくつかの試みを開始しました。

- ① 研究倫理審査に提出された書類上の記載内容についての事前チェック
- ② 研究計画前後の個別相談
- ③ 学内各倫理委員会のネットワーク化による問題共有  
今後は問題点を共有し、解決を図る方法を開発することを目指しています。

### 2. 研究倫理、医療倫理に関する教育

本学医学部、生命情報科学教育部、保健衛生学研究科及び他大学など、大学院レベルから基礎教育まで、臨床（遺伝カウンセリング）に関する医療倫理の講義等を担当しました。また、研究倫理についての教育啓蒙活動として、研究倫理講習会を開催し、修了証を発行しました。

3. 医療倫理の基本となる遺伝カウンセリングにおける臨床実践  
自費診療による遺伝子診療外来において遺伝カウンセリングを実践し、臨床遺伝専門医研修施設として10名余の研修を行うとともに、カンファレンスやセミナーなどを通して、関連する診療科のスタッフへ、卒後教育などの啓発活動を行っています。また、引き続き、疾患別ではなく、遺伝性疾患に対する意識を共通項に、画期的な遺伝カウンセリングデータベースの開発をさらに進めます。

### 4. 国際シンポジウム開催

全国組織である医学系大学倫理委員会連絡会議と共催で、「国際的視野から見た先端研究の倫理的諸問題について」というテーマで国際シンポジウムを開催しました。生命倫理領域で高名なHastings CenterのThomas Murry 所長、Harvard Medical SchoolのヒトES細胞研究倫理委員会委員長であるRobert Truog 教授、Munich大学の倫理センター Wilhelm Vossenkuhl 教授などの海外演者を招聘し、国内・学内の先端研究・研究倫理のあり方を論じました。



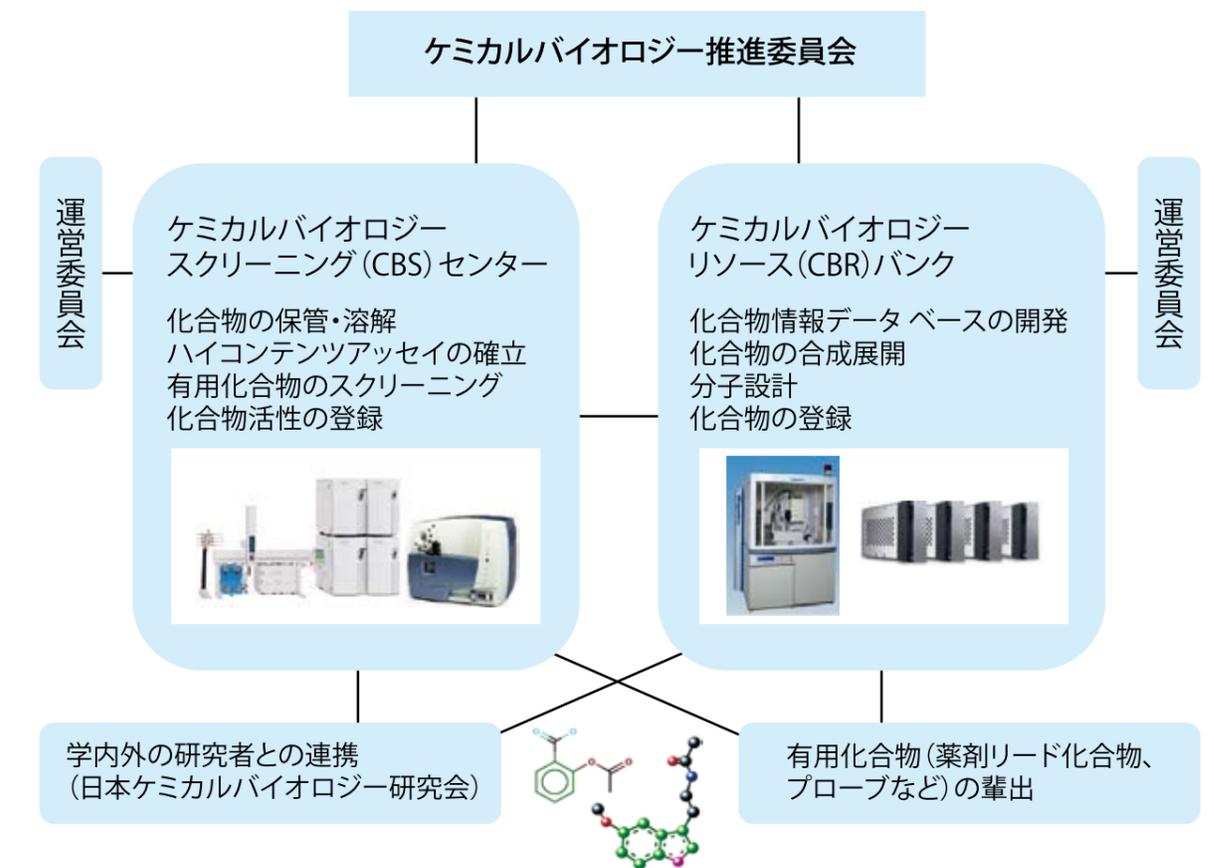
## ケミカルバイオロジー推進基盤整備事業

取組責任者：大学院疾患生命科学部 長 鏑田武志 教授

ケミカルバイオロジーとは、化学の考え方や化合物を駆使して生命現象の解明とその制御法の開発を行うという化学と生命科学の新たな融合領域です。この領域は、これまでの学問とは異なった方法論によって生命現象にアプローチすることにより、生命科学・医学の飛躍的な発展が期待できるとともに、化合物を用いた研究を展開するために、治療薬および可視化プローブを含む診断薬の創出に直結するという特徴を持ち、米国NIHのロードマップ5本柱の1つとして重要視されています。また、この領域はバイオインフォマティクスや材料学などの学問分野との相互作用によりさらに発展することが期待されています。本学では、これまで優れた疾患研究を行うとともにケミカルバイオロジーの教育研究において我が国をリードしてきました。この成果をもとに、本学より申請していた、ケミカルバイオロジー推進基盤整備事業が平成19年度に採択され、5年間の予定で事業の推進を行っています。この事業により、ケミカルバイオロジー領域の教育研究のますますの推進が期待されます。

本事業では、ケミカルバイオロジースクリーニングセンターとケミカルバイオロジーリソースバンクを整備拡充することにより、ケミカルバイオロジー教育研究のためのプラットフォームを整備しています。すでに本学に多数の化合物を集積した化合物ライブラリーが設置されるとともに、その構造や活性情報がデータベース化され、今後、学内外の研究者がそのデータベースにアクセスすることが可能になります。このことにより、種々の疾患の診断および治療に役立つ薬剤リード化合物の同定が容易になるとともに、生命科学および医学研究がますます推進されます。

## ケミカルバイオロジー推進基盤創出事業



## 政策課題対応経費

Funds for Subjects Related to Policies

政策課題対応経費は国立大学として緊急に対応し、かつ、社会に対して早急な成果の発信が望まれる取り組みへの支援を目的とします。本学からは下記のプログラムが採択されました。

### 国際性豊かな医療人・世界的競争に打ち勝つことのできる研究者の養成

取組責任者：医学部長 大野喜久郎 教授

現代的教育ニーズ取組支援プログラム「国際的医療人育成のための先駆的教育体系」で達成される「国際化へ対応するための準備教育」の成果を踏まえ、「国際水準の臨床および研究教育」を行う取組です。

具体的には

- (1) ハーバード大学でのクラークシップ・プログラムへの参加
- (2) 本学のクラークシップ・プログラムの内容充実および環境整備

(3) 海外提携大学における研究および発表体験

からなり、実際には、医学部医学科 6 年生が正規のカリキュラムの一環として米国ハーバード大学医学生と共に臨床実習を行い、4 年生が英国インペリアルカレッジで研究に従事するプログラムが実動しています。

また、ハーバード大学から臨床実習の指導員を招聘して、本学教員と共にクラークシップの改善に取り組んでいます。



### 大学院医歯学総合研究科医歯科学専攻(修士課程) 医療管理政策学(MMA)コース Medical and Dental Sciences Master of Medical Administration Course

本学では、戦略的な管理運営・医療管理政策に携わる専門職の養成を目的として、平成 16 年度から医療管理政策学〔MMA: Master of Medical Administration 《医療管理学(1年)・医療政策学(2年)》〕コースを四大学連合(本学、東京外国語大学、東京工業大学、一橋大学)を基盤に開設し、好評を得ています。

本コースは、医療管理並びに医療政策の分野において指導的立場で活躍する人材の育成を図り、医療サービスに関わる社会的ニーズに応えようとするもので、急速な制度改革、グローバル化が進む医療の分野にあって、患者中心のより良い医療を効率的に提供できる社会システムの構築に寄与する人材を輩出しようとするものです。

履修内容は、これまでの医療管理における組織管理や安全管理を含む医療関連分野を網羅した包括的なもので、法学・経済学・工学・社会学・倫理学をも含む以下の項目について修得します。

- |                |               |
|----------------|---------------|
| ① 医療政策         | ⑥ 施設設備と衛生管理   |
| ② 医療の質確保とリスク管理 | ⑦ 経営戦略と組織管理   |
| ③ 医療関連法規と医の倫理  | ⑧ 人的資源管理と人材開発 |
| ④ 病院情報とセキュリティ  | ⑨ 医療における情報発信  |
| ⑤ 医療の国際文化論     | ⑩ 臨床疫学        |

### 知的財産本部・技術移転センター(TLO)

Intellectual Property Division・Technology Licensing Organization

21 世紀において豊かで潤いある社会を実現していくため、大学などにおける知的創造活動に対し大きな社会的期待が寄せられています。とりわけ医歯学を含む生命科学領域は、IT に変わる 21 世紀の基幹産業となると予測され、「知的財産立国」構築に向けて本学も多大な貢献ができるものと期待されています。こうした社会的要請に応じていくため、本学は、医療、生体材料、バイオなどの領域に特化したユニークな知的財産本部を平成 15 年 9 月に発足させ、さらに平成 16 年 8 月より技術移転センター(TLO)を発足させました。学内組織として知的財産本部と TLO を合わせ持ち、両者の密接な連携により、本学の研究成果の権利化及びライセンス活動を促進し、産業界と協力して新しい医療関連技術の開発と普及を目指しています。

また、特許情報誌「ライフサイエンスレポート」を発行してライフサイエンス分野の特許情報の分析・発信を行うとともに、ライフサイエンス分野の知的財産を評価できる人材養成を行うなど、独自の活動を推進しています。



# 国際交流

## International Exchange

.....

パートナーズ・ハーバード・メディカル・インターナショナルとの医学教育提携

国際交流協定校

学部等間協定

外国人留学生在籍者数

国際交流会館

国際学生宿舎

## 世界トップレベルの医師、歯科医師、コ・メディカル・スタッフを育成

# パートナーズ・ハーバード・メディカル・インターナショナルとの医学教育提携

Tokyo Medical and Dental University and Partners Harvard Medical International, Inc.  
Alliance for Medical Education

本学では、平成14年度にHMI（ハーバード・メディカル・インターナショナル、平成20年からPHMI / パートナーズ・ハーバード・メディカル・インターナショナル）との医学教育提携契約を締結しました。この提携は、世界トップレベルの医師、歯科医師、コ・メディカル・スタッフを育成するとともに、世界をリードする医学・歯学研究者を養成することを目標としています。

現在、世界最先端の医学教育方法の研究及び研修のために、ハーバード大学教員を本学へ招聘するばかりでなく、多数の本学教員をハーバード大学に派遣し、教育研修を実施し、着実に成果を上げています。

また、この教育連携の大きな特色としては、本学医学部医学科の正規のカリキュラムとして、「ハーバード大学の学生と共に学ぶ臨床実習」が選択コースとして設定されており、年々充実を図り、過去5年間で32名の学生が参加し、大きな成果を上げています。

更には、本提携の高い評価により、平成17年度には、特別教育研究経費「国際性豊かな医療人・世界的競争に打ち勝つことのできる研究者の養成」が措置され、カリキュラム改革等の推進に積極的に取り組んでいます。

また、本年度、PHMIとの教育提携が7周年を迎えました。

本提携は広範囲におよび、学生派遣（6年次3ヶ月の臨床実習 5年間で32名、来年度11名予定）のほか、右記のような活動を行っています。

### ①月例テレビ会議

（カリキュラム改革案についてテレビ会議システムを利用して米国PHMIと協議を継続し、その実施経過を逐次検討）、

### ②教育リーダー派遣調査および協議

〔平成14年6月2名、同年12月14名、16年2月14名、17年4月14名、18年8名、19年10名（内 延べ 医学部52名、歯学部7名、教養部3名、期間5-10日間）〕、  
および

### ③HMS教員を招聘した教員研修会

（全学規模で平成12年より5回、医学科のみ平成13年より12回 延べ1176人参加）  
が実施されています。

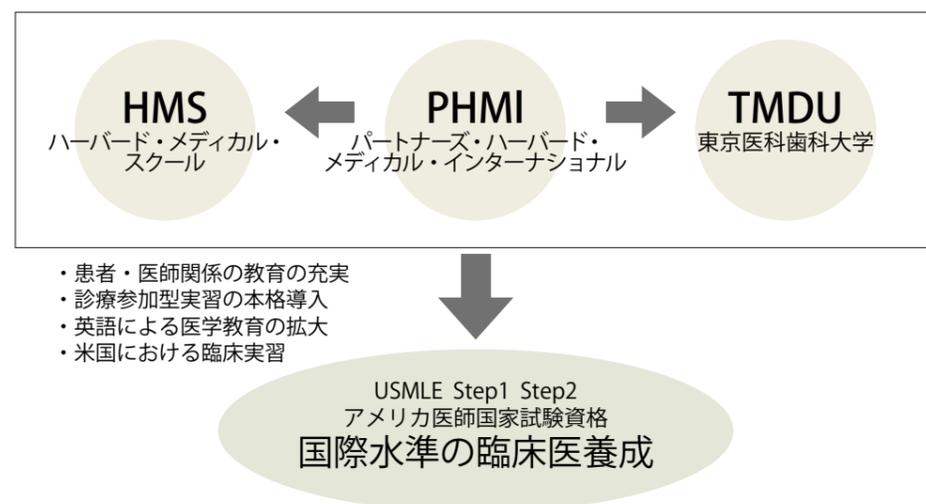
このような多段階、多様な提携の結果、本学のカリキュラムは様変わりし、最終段階としてクリニカルクラークシップの改変が今始まっています。この改革には、ハーバードに派遣された教員のみならず学生、その後本学の研修医となっている卒業生の意見を反映させながら、英米では長い歴史を持つもののわが国では形式に止まっている診療チームの一翼を担う臨床実習の「真の実現」を目指し準備が進められています。



〈ハーバード大学医学部（HMS）正面〉



### 概念図



## パートナーズ・ハーバード・メディカル・インターナショナルとの医学教育提携

国名・地域等	法人名	締結年月日 (注) (Y/M/D)
アメリカ合衆国	ハーバード・メディカル・インターナショナル Harvard Medical International, Inc. (2008年からPHMI / パートナーズ・ハーバード・メディカル・インターナショナル)	2002/07/01

## 国際交流協定校 / 学部等間協定

### 大学院医歯学総合研究科 (医学系)・大学院保健衛生学研究科・医学部

国名・地域等	大学名	締結年月日
フィンランド共和国	セイナジョキ・ポリテクニク大学大学院 Seinajoki Polytechnic University, Graduate School セイナジョキ・ポリテクニク大学 Seinajoki Polytechnic University タムベル大学 Tampere University	2000/07/07 2000/07/17 2000/07/17
ドイツ連邦共和国	ユスタス・リービック大学医学部生化学研究所 Justus-Liebig University Medical Faculty, Institute for Biochemistry	2000/07/18
アメリカ合衆国	ニューヨーク大学教育学部大学院看護学科 New York University, Graduate School of Education, Division of Nursing コロラド大学大学院 University of Colorado, Graduate School イリノイ大学 University of Illinois ワシントン大学看護学部 University of Washington School of Nursing	2000/11/07 2000/11/28 2001/04/27 2002/01/08
カナダ	トロント大学医学部保健管理学科 Department of Health Administration, Faculty of Medicine, University of Toronto トロント大学看護学部 Faculty of Nursing, University of Toronto	2001/03/15 2001/07/05
イギリス	シェフィールド大学看護部 University of Sheffield, Graduate School of Nursing and Midwifery インペリアル・カレッジ医学部 Imperial College London Faculty of Medicine	2001/09/10 2003/04/30
中華人民共和国	首都医科大学公共衛生与家庭医学学院 Capital University of Medical Sciences, Faculty of Public Health	2002/03/18
タイ王国	チュラロンコン大学医学部 Faculty of Medicine, Chulalongkorn University	2002/03/25
フランス共和国	リヨン高等師範学校 École Normale Supérieure de Lyon	2005/04/01
ガーナ共和国	ガーナ大学野口記念医学研究所 Noguchi Memorial Institute for Medical Research	2008/05/28

### 大学院医歯学総合研究科 (歯学系)・歯学部

国名・地域等	大学名	締結年月日
大韓民国	ソウル大学校歯科大学 College of Dentistry, Seoul National University 慶北大学校歯科大学 College of Dentistry, Kyungpook National University 全南大学校歯学部 School of Dentistry, Chonnam National University	1983/10/10 1995/09/04 2006/10/20
タイ王国	チュラロンコン大学歯学部 Faculty of Dentistry, Chulalongkorn University マヒドン大学歯学部 Faculty of Dentistry, Mahidol University チェンマイ大学歯学部 Faculty of Dentistry, Chiang Mai University ソンクラ王子大学歯学部 Faculty of Dentistry, Prince of Songkla University コンケン大学歯学部 Faculty of Dentistry, Khon Kaen University	1991/01/18 2001/05/03 2001/12/07 2003/03/21 2008/01/08
中華人民共和国	吉林大学口腔医学院 College of Stomatolgy, Jilin University 大連医科大学口腔医学院 Stomatology College of Dalian Medical University 北京大学口腔医学院 School of Stomatology, Peking University 首都医科大学歯学部 School of Stomatology, Capital Medical University 同济大学口腔医学院 Tongji University, School of Stomatology	1993/07/27 2000/06/08 2003/09/21 2006/09/01 2008/10/14
台湾	台北医学大学口腔医学院 College of Oral Medicine, Taipei Medical University 国立台湾大学医学部歯学科 School of Dentistry, College of Medicine, National Taiwan University	2004/04/23 2005/06/14
インドネシア共和国	インドネシア大学歯学部 Faculty of Dentistry, University of Indonesia	1993/08/31
シンガポール共和国	シンガポール大学歯学部 Faculty of Dentistry, National University of Singapore	1995/07/20
マレーシア	マラヤ大学歯学部 Faculty of Dentistry, University of Malaya	1995/08/27

デンマーク王国	コペンハーゲン大学健康科学部歯学科 School of Dentistry, Faculty of Health Sciences, University of Copenhagen	1995/08/31
ミャンマー連邦	ヤンゴン歯科大学 Institute of Dental Medicine, Yangon	1995/09/08
ベトナム社会主義共和国	ホーチミン医科薬科大学歯学部 Faculty of Odonto-Stomatology, The University of Medicine & Pharmacy at Ho Chi Minh City ハノイ歯科大学 University of Odonto-Stomatology, Hanoi	1996/01/16 2005/06/07
モンゴル国	モンゴル健康科学大学歯学部 School of Dentistry, Health Sciences University of Mongolia	1999/01/19
スリランカ民主社会主義共和国	ペラデニヤ大学歯学部 Faculty of Dental Sciences, University of Peradeniya	1999/04/29
カンボジア王国	カンボジア健康科学大学歯学部 Faculty of Odonto-Stomatology, University of Health Sciences, Phnom Penh Cambodia	2002/09/19
ラオス人民民主共和国	ラオス国立大学医科学部歯学科 Faculty of Medical Sciences, National University of Laos	2003/10/28
フィリピン共和国	フィリピン大学マニラ校歯学部 College of Dentistry, University of the Philippines Manila	2003/11/06
ドイツ連邦共和国	チャリテーベルリン医学大学 Charité-University Medicine Berlin	2004/03/17
アメリカ合衆国	ペンシルベニア大学歯学部 School of Dental Medicine, University of Pennsylvania ハーバード大学歯学部 Harvard School of Dental Medicine ノースカロライナ大学歯学部 School of Dentistry, University of North Carolina at Chapel Hill カリフォルニア大学 サンフランシスコ校歯学部 School of Dentistry, University of California San Francisco	1994/01/27 1996/07/26 1999/03/18 2000/08/28
カナダ	マギル大学歯学部 Faculty of Dentistry, McGill University	2006/08/07
オーストラリア	メルボルン大学健康科学部歯学科 School of Dental Science, Faculty of Medicine, Dentistry and Health Sciences, The University of Melbourne	1994/03/31

### 生体材料工学研究所

国名・地域等	大学名	締結年月日
イギリス	ストラスカライド大学バイオエンジニアリングユニット Bioengineering Unit, University of Strathclyde ロンドン大学クイーンメアリー・アンド・ウエストフィールド校生体医用材料総合研究センター Interdisciplinary Research Centre in Biomedical Materials and Science, Queen Mary and Westfield College, University of London	1993/03/26 1995/07/03
スウェーデン王国	リンシェーピング大学医用生体工学科 Department of Biomedical Engineering, Linköping University	1995/09/26
ポーランド共和国	ポーランド科学アカデミー、バイオサイバネティクス・生体工学研究所ならびにバイオサイバネティクス国際センター Institute of Biocybernetics and Biomedical Engineering and International Center of Biocybernetics, Polish Academy of Science	1996/02/21
大韓民国	慶北大学校生体材料研究所 Institute for Biomaterials Research and Development, Kyungpook National University	1996/09/24
中華人民共和国	北京大学口腔医学院 School of Stomatology, Peking University	2006/06/06

### 難治疾患研究所

国名・地域等	大学名	締結年月日
シンガポール共和国	国立シンガポール大学腫瘍研究所 Oncology Research Institute, National University of Singapore	2003/01/01
アメリカ合衆国	マサチューセッツ総合病院 The General Hospital Corporation D/B/A, Massachusetts General Hospital	2005/04/25
タイ王国	チュラロンコン大学歯学部 Faculty of Dentistry, Chulalongkorn University	2006/02/28
フランス共和国	リヨン高等師範学校 École Normale Supérieure de Lyon	2008/02/25

### 大学院生命情報科学教育部・大学院疾患生命科学研究所・難治疾患研究所

国名・地域等	大学名	締結年月日
ポーランド共和国	グダニスク医科大学 Medical University of Gdansk	2003/11/01
ドイツ連邦共和国	ドイツリウマチ疾患研究センター Deutsches Rheuma-Forschungszentrum Berlin	2004/02/01
中華人民共和国	北京大学医学部基礎医学院 School of Basic Medical Sciences, Peking University Health Science Center 中国医科大学 China Medical University	2006/02/27 2008/04/01

# 外国人留学生在籍者数

(平成 20 年 5 月 1 日現在) (May1, 2008)

区 分	大学院学生						学部学生				専攻生				日本語研修生		小 計		計					
	医歯学総合研究科	保健衛生学研究科	生命情報科学教育部	医学部	歯学部		医学部	歯学部	生体材料工学研究所	難治疾患研究所	留学生センター	留学生センター	国費	私費										
国・地域等																								
韓 国	1	2		1		1					1						1	5	6					
中 国	8	43	2		2	1		4		1	2	8	1				15	57	72					
モンゴル	3	2															3	2	5					
フィリピン	2																2	0	2					
インドネシア	3	1															3	1	4					
ヴェトナム	2						2										4	0	4					
ラオス	1																1	0	1					
カンボディア	1															1	2	0	2					
マレーシア	1	1								1							1	2	3					
ブルネイ						1											1	0	1					
タイ	15	2				1	1										16	3	19					
ミャンマー	1	1				1							1				1	4	5					
バングラデシュ	8	7															8	7	15					
インド	1	2									1						1	3	4					
スリランカ	4	1			1						1						5	2	7					
アフガニスタン		1															0	1	1					
イラン		3				1											0	4	4					
イラク	1																1	0	1					
レバノン	1																1	0	1					
ヨルダン	2																2	0	2					
エジプト	2																2	0	2					
リビア	1																1	0	1					
コートジボアール	1																1	0	1					
ガーナ	1	1															1	1	2					
ドイツ											1						1	0	1					
キプロス	1																1	2	0	2				
ボスニア・ヘルツェゴビナ	1																1	0	1					
アゼルバイジャン	1																1	0	1					
スロバキア											1						1	0	1					
スウェーデン					1												1	0	1					
メキシコ		1				1											0	2	2					
ブラジル	1																1	0	1					
パラグアイ	2	1															1	3	1	4				
フィジー	1					1											1	1	2					
オーストラリア													1				0	1	1					
小計	67	69	2	1	4	6	4	5	0	3	4	11	1	1	0	0	0	1	0	0	3	85	97	182
合計	国費 73		私費 76		国費 4		私費 8		国費 5		私費 13		国費 3								182			
	149						12				18						3							

※大学院学生(私費)には大学院特別研究学生を含む。



## 国際交流会館

所在地	千葉県市川市国府台2-8-1
建築概要	鉄筋コンクリート 3階建
面 積	1,708 m <sup>2</sup>
居住施設	単身 33室 15 m <sup>2</sup> 夫婦 10室 40 m <sup>2</sup> 家族 5室 58 m <sup>2</sup>
管理・共用施設	管理事務室、エントランスホール、郵便受けコーナー、倉庫、談話室、コインランドリー

## 国際学生宿舎

所在地	千葉県市川市国府台2-8-1
建築概要	鉄筋コンクリート 4階建
面 積	1,175 m <sup>2</sup>
居住施設	単身 50室 15 m <sup>2</sup>
管理・共用施設	談話室、コインランドリー

※居住施設には国際交流会館の一部を含む。

# 統計

## Statistics 2008

職員数

学生数 (大学院・学部)

平成 20 年度入学志願者・入学者数 (大学院・学部)

大学院修了者・学部卒業生数及び進路

学位授与数

附属教育施設

平成 20 年度科学研究費補助金採択状況

受託研究費等受入状況 (平成 19 年度)

平成 20 年度厚生労働科学研究費補助金採択状況

寄附講座・寄附研究部門一覧

平成 20 年度収入・支出予算

# 職員数

(平成20年5月1日現在) (May 1, 2008)

区分	役員	教員				小計	その他の職員			小計	計
		教授	准教授	講師	助教		一般職	薬剤師 放射線技師 検査技師等	看護師		
学長	1										1
理事	5										5
監事	2(1)										2(1)
事務局						139				139	139
大学院医歯学総合研究科		72	49	38	146	305				305	305
大学院保健衛生学研究科		16	5	5	13	39				39	39
大学院疾患生命科学研究所		7	5		1	13				13	13
医学部						74	6			80	80
医学部附属病院		1	8	31	85	125	4	84	672	760	885
歯学部		6	2	5		13	32	3		35	48
歯学部附属病院			4	12	22	38	51	58		109	147
歯学部附属歯科技工士学校				4		4				4	4
教養部		11	9		2	22	5			5	27
生体材料工学研究所		10	5		17	32	6			6	38
難治疾患研究所		15	20		25	60	9			9	69
附属図書館						6	6			6	6
国府台分館						2	2			2	2
疾患遺伝子実験センター		1		1	1	3				3	3
先端研究支援センター (機器分析センター)			1		1	2				2	2
(アイソトープ総合センター)			1			1				1	1
(医学部附属動物実験施設)			1		1	2				2	2
共同教育研究センター事務局						8	8			8	8
留学生センター			3			3				3	3
保健管理センター		1	1			2		1		1	3
医歯学教育システム研究センター		2	1	1		4				4	4
脳統合機能研究センター			2			2				2	2
職員数	8(1)	142	117	97	314	670	285	144	731	1160	1838(1)

\* ( ) 内は非常勤役員を内数で示す。

# 学生数 大学院

(平成20年5月1日現在) (May 1, 2008)

## ● 医歯学総合研究科

専攻	入学定員	収容定員	修士課程			博士課程					計					
			第1	第2	小計	第1	第2	第3	第4	小計						
医歯科学(一般コース)	35	70	34	21	44	22	78	43						78	43	
医歯科学(MMAコース)	15	25	16	10	10	7	26	17						26	17	
口腔機能再構築学系	42	168					51	26	51	22	32	18	65	28	199	94
顎顔面顎部機能再建学系	30	120					35	13	25	4	23	6	24	5	107	28
生体支持組織学系	18	72					14	7	11	3	14	7	19	6	58	23
環境社会医歯学系	20	80					17	7	23	14	22	9	28	15	90	45
老化制御学系	10	40					15	5	12	5	17	6	23	5	67	21
全人的医療開発学系	8	32					9	5	9	6	11	7	16	7	45	25
認知行動医学系	19	76					19	4	18	3	19	8	23	5	79	20
生体環境応答学系	17	68					14	6	14	7	19	7	14	8	61	28
器官システム制御学系	29	116					34	8	30	10	32	13	45	11	141	42
先端医療開発学系	21	84					28	8	30	16	20	6	30	8	108	38
小計	264	951	50	31	54	29	104	60	236	89	223	90	209	87	287	98

## ● 保健衛生学研究科

専攻	入学定員	収容定員	博士(前期)課程			博士(後期)課程					計					
			第1	第2	小計	第1	第2	第3	第4	小計						
総合保健看護学	前期17 後期8	前期34 後期24	18	16	18	17	36	33	11	11	13	12	19	19	43	42
生体検査科学	前期12 後期6	前期24 後期18	13	10	12	10	25	20	6	5	7	5	12	7	25	17
小計	前期29 後期14	前期58 後期42	31	26	30	27	61	53	17	16	20	17	31	26	68	59

## ● 生命情報科学教育部

専攻	入学定員	収容定員	博士(前期)課程			博士(後期)課程					計					
			第1	第2	小計	第1	第2	第3	第4	小計						
バイオ情報学	前期21 後期8	前期42 後期23	21	14	26	7	47	21	9	3	12	6	15	5	36	14
高次生命科学	前期24 後期7	前期48 後期20	27	9	16	7	43	16	8	5	4	2	4	2	16	9
小計	前期45 後期15	前期90 後期43	48	23	42	14	90	37	17	8	16	8	19	7	52	23

合計(修士課程・博士課程)	入学定員	収容定員	修士課程			博士課程					計					
			第1	第2	小計	第1	第2	第3	第4	小計						
	264	951	50	31	54	29	104	60	236	89	223	90	209	87	287	98
			(6)	[5]	(21)	[17]	(4)	[3]	(4)	[5]	(7)	[4]	(21)	[17]	(21)	[17]
合計(博士前期・博士後期)	入学定員	収容定員	博士(前期)課程			博士(後期)課程					計					
			第1	第2	小計	第1	第2	第3	第4	小計						
	103	217	79	49	72	41	151	90	34	24	36	25	50	33	120	82

総合計  
1,330 596  
(21)[17]

\* (注1) 赤色は、女子学生を内数で示す。  
\* (注2) ( ) 内は、歯学国際大学院コース学生を内数で示す。  
\* (注3) [ ] 内は、バリアックヘルスリーダー養成特別コース学生を内数で示す。

# 学生数 学部

(平成20年5月1日現在) (May 1, 2008)

## ● 医学部

	入学定員	収容定員	第1	第2	第3	第4	第5	第6	計
医学科	75 (5)	470	76 28	79 16	94 23 [6 3]	83 25 [5 3]	83 30 [5 3]	86 34 [5 3]	501 156 [21 12]
保健衛生 学科	看護学専攻 50 (10)	220	59 57	50 48	47 42	59 53 [11 9]			215 200 [11 9]
			検査技術学専攻 30 (10)	140	35 29	35 25	32 23	37 30 [11 10]	
小計	80 (20)	360	94 86	85 73	79 65	96 83 [22 19]			354 307 [22 19]

## ● 歯学部

	入学定員	収容定員	第1	第2	第3	第4	第5	第6	計
歯学科	55 (10)	370	56 23	62 26	68 30 [10 8]	64 26 [11 7]	63 26 [10 7]	62 31 [10 7]	375 162 [41 29]
口腔保健学科	25 (10)	120	30 27	22 21	32 30 [6 6]	35 34 [10 10]			119 112 [16 16]

合計	入学定員	収容定員	第1	第2	第3	第4	第5	第6	計
	235 (45)	1,320	256 164	248 136	273 148 [22 17]	278 168 [48 39]	146 56 [15 10]	148 65 [15 10]	1,349 737 [100 76]

## ● 専攻生

区分	男	女	計
医学部			
医学科	36	19	55
保健衛生学科	8	28	36
歯学部			
歯学科	127	103	230
生体材料工学研究所	5	1	6
難治疾患研究所	8	3	11
合計	184	154	338

\* (注1) 赤色は、女子学生を内数で示す。  
\* (注2) 〈 〉 内は、3年次編入学定員を外数で示す。  
\* (注3) [ ] 内は、3年次編入学生を内数で示す。

# 平成20年度入学志願者・入学者数 大学院

## ● 医歯学総合研究科

専攻	入学定員	志願者			入学者		
		男	女	計	男	女	計
医歯科学(MMAコース含む)	50	102	107	209	18	31	49
口腔機能再構築学系	42	28	25	53	23	23	46
顎顔面顎部機能再建学系	30	24	13	37	20	13	33
生体支持組織学系	18	8	7	15	6	6	12
環境社会医歯学系	20	8	4	12	7	6	13
老化制御学系	10	14	4	18	10	4	14
全人的医療開発学系	8	6	6	12	4	5	9
認知行動医学系	19	15	4	19	15	3	18
生体環境応答学系	17	5	7	12	8	6	14
器官システム制御学系	29	29	8	37	26	8	34
先端医療開発学系	21	21	7	28	19	8	27
計	264	260	192	452	156	113	269

## ● 保健衛生学研究科

専攻	入学定員	志願者			入学者		
		男	女	計	男	女	計
総合保健看護学	前期 17	4	27	31	2	15	17
	後期 8	0	33	33	0	10	10
生体検査科学	前期 12	13	15	28	3	9	12
	後期 6	1	5	6	1	5	6
計	前期 29	17	42	59	5	24	29
	後期 14	1	38	39	1	15	16

## ● 生命情報科学教育部

専攻	入学定員	志願者			入学者		
		男	女	計	男	女	計
バイオ情報学	前期 21	27	28	55	9	14	23
	後期 8	10	3	13	7	3	10
高次生命科学	前期 24	47	28	75	15	9	24
	後期 7	3	6	9	3	4	7
計	前期 45	74	56	130	24	23	47
	後期 15	13	9	22	10	7	17

## 平成20年度入学志願者・入学者数 学部

### ● 医学部

	入学定員	志願者			入学者		
		男	女	計	男	女	計
医学科	75(5)	360(34)	171(31)	531(65)	48(3)	27(3)	75(6)
保健衛生学科							
看護学専攻	55 [20]	10 [2]	171 [45]	181 [47]	2 [1]	53 [21]	55 [22]
検査技術学専攻	35	34	121	155	6	29	35
小計	165 [20](5)	404 [2](34)	463 [45](31)	867 [47](65)	56 [1](3)	109 [21](3)	165 [22](6)

### ● 歯学部

	入学定員	志願者			入学者		
		男	女	計	男	女	計
歯学科	55(10)	240(12)	180(27)	420(39)	33(2)	23(8)	56(10)
口腔保健学科	27(6)	5(0)	58(24)	63(24)	3(0)	24(6)	27(6)
小計	82(16)	245(12)	238(51)	483(63)	36(2)	47(14)	83(16)

合計	入学定員	志願者			入学者		
		男	女	計	男	女	計
	247 [26](21)	649 [2](46)	701 [45](82)	1,350 [47](128)	92 [1](5)	156 [21](17)	248 [22](22)

\* (注1) [ ] 内は、推薦入学生について内数で示す。  
 \* (注2) < > 内は、3年次編入学生について外数で示す。  
 \* (注3) 留学生の数は含まない。



## 大学院修了者・学部卒業生数及び進路

### 大学院

区分	平成19年度	累計	進学	臨床研修医	就職 <small>社会人大学院生を含む</small>	その他
医歯学総合研究科 博士	197	1,036	2		135	60
修士	63	250	12		46	5
医学系研究科 博士		978(58)				
医学		30				
看護		10				
検査		100				
修士		93				
歯学研究科 博士		1,361(28)				
保健衛生学研究科 博士(後期)	17	71			13	4
博士(前期)	28	200	4		17	7
生命情報科学教育部 博士(後期)	14	18			8	6
博士(前期)	37	108	12		20	5
計	356	4,255	30		239	87

### 学部

区分	平成19年度	累計	進学	臨床研修医	就職	その他
医学部 医学科	86	3,820	2	84		
保健衛生学科	103	1,521	28		69	6
歯学部 歯学科	67	4,010		50		17
口腔保健学科	27	27	7		15	5
計	283	9,378	37	134	84	28

\* (注) ( ) 内の数字は、研究科(旧制大学院)を示す。

## 学位授与数

### 課程博士

区分	博士(医学)	博士(歯学)	博士(学術)	博士(看護学)	博士(保健学)	博士(理学)
平成19年度	107	89	13	7	2	12
累計	1,439	1,735	91	57	26	17

### 論文博士

区分	博士(医学)	博士(歯学)	博士(学術)	博士(看護学)	博士(保健学)
平成19年度	16	6	2	1	1
累計	1,678	472	18	8	8

### 課程修士 Master's Program

区分	修士(医科学)	修士(歯科学)	修士(医療管理学)	修士(医療政策学)	修士(看護学)	修士(保健学)	修士(理学)	修士(生命情報科学)	修士(バイオ情報学)
平成19年度	45	0	8	9	15	13	35	1	1
累計	202	5	39	34	212	181	104	2	2



学位記授与式



入学式

## 附属教育施設

(平成20年5月1日現在) (May 1, 2008)

### 生徒数

学校	学年		計
	第1	第2	
歯科技工士学校	20 (11)	21 (14)	41 (25)
歯科技工士学校(実習科)	10 (4)	11 (6)	21 (10)
計	30 (15)	32 (20)	62 (35)

### 卒業生数

学校	平成19年度	累計
歯科技工士学校	18	1,006
歯科技工士学校(実習科)	6	454
計	24	1,460

### 平成20年度入学志願者・入学者数

学校	入学定員	志願者			入学者		
		男	女	計	男	女	計
歯科技工士学校	20	24	25	49	9	11	20
歯科技工士学校(実習科)	10	8	9	17	6	4	10
計	30	32	34	66	15	15	30

# 平成20年度科学研究費補助金採択状況

(平成20年9月1日現在) (September 1, 2008)

研究種目	件数	金額(千円)
特定領域研究 Grant-in-Aid for Scientific Research on Priority Areas	37	367,000
萌芽研究 Grant-in-Aid for Exploratory Research	40	56,600
若手研究 (A) Grant-in-Aid for Young Scientists (A)	5	42,120
若手研究 (B) Grant-in-Aid for Young Scientists (B)	85	158,600
特別研究員奨励費 Grant-in-Aid for JSPS Fellows	29	22,700
基盤研究 (S) Grant-in-Aid for Scientific Research (S)	1	21,710
基盤研究 (A) Grant-in-Aid for Scientific Research (A)	15	200,330
基盤研究 (B) Grant-in-Aid for Scientific Research (B)	59	359,840
基盤研究 (C) Grant-in-Aid for Scientific Research (C)	108	192,920
学術創成研究費 Grant-in-Aid for Creative Scientific Research	3	288,990
若手研究 (スタートアップ) Grant-in-Aid for Young Scientists (Start-up)	27	45,539
合計 Total	409	1,756,349

# 受託研究費等受入状況 (平成19年度)

外部資金区分 (受託事業を含む)	件数	金額(千円)
受託(委託)研究費(うち複数年契約によるもの) Entrusted Research	83 (21)	722,325 (10,850)
共同研究費(うち複数年契約によるもの) Cooperative Research	114 (76)	210,293 (113,359)
奨学寄附金 Donation for Promotion of Learning	794	1,267,424
合計 Total	991	2,200,042

\* 複数年度契約とは、研究期間が平成19年度を含み、2年度以上にまたがるものであり、当該19年度に受け入れた金額(件数も1件としてカウント)を積算したものとします。

# 平成20年度厚生労働科学研究費補助金採択状況

(平成20年9月1日現在) (September 1, 2008)

研究種目	件数	金額(千円)
エイズ対策 Research on HIV/AIDS	1	5,000
健康安全・危機管理対策総合研究 Research on Health Security Control	4	21,500
こころの健康科学研究 Research on Psychiatric and Neurological Diseases and Mental Health	1	36,400
再生医療実用化研究 Research on Regenerative Medicine for Clinical Application	2	66,000
長寿科学総合研究 Comprehensive Research on Aging and Health	1	3,840
難治性疾患克服研究 Research on Measures for Intractable Diseases	3	198,957
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究 Research on Regulatory Science of Pharmaceuticals and Medical Devices	3	15,900
感覚器障害研究 Researches on Sensory and Communicative Disorders	1	14,000
肝炎等克服緊急対策研究 Research on Hepatitis	1	112,112
循環器疾患等生活習慣病対策総合研究 Comprehensive Research on Cardiovascular and Life-Style Related Diseases	1	21,000
政策科学推進研究 Research on Policy Planning and Evaluation	1	7,584

統計情報総合研究 Research on Statistics and Information	1	1,051
地域医療基盤開発推進研究 Research on Region Medical	5	38,000
免疫アレルギー疾患等予防・治療 Research on Allergic disease and Immunology	1	36,000
合計 Total	26	577,344

# 寄附講座・寄附研究部門一覧

(平成20年9月1日現在) (September 1, 2008)

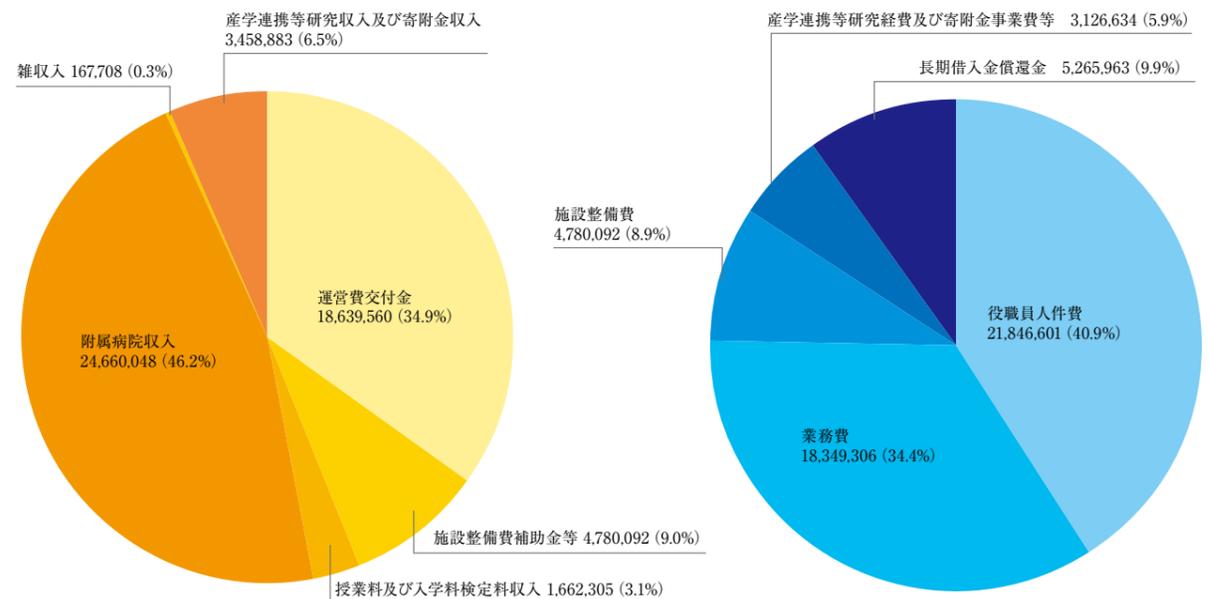
所属部局名	寄附講座名・寄附研究部門名	設置期間	寄附者
大学院医歯学総合研究科 情報処理センター	臨床インフォマティクス講座 先端生命医療情報学研究部門	H15.12.15 ~ H20.12.14 H16.8.1 ~ H21.7.31	(株)ニッポンジーン / マイクログライアグノスティック(株) 日本ペリサイン(株) / 富士ゼロックス(株) ティー・ティー・ティー(株) / (株)スプライト
大学院医歯学総合研究科	薬害監視学講座	H17.4.1 ~ H22.3.31	田辺製薬(株) / ワイス(株) / 武田薬品工業(株) アボットジャパン(株) / エーザイ(株) / 中外製薬(株)
大学院医歯学総合研究科	ナノメディスン (DNP) 講座	H17.4.1 ~ H22.3.31	大日本印刷(株)
大学院医歯学総合研究科	応用腫瘍学講座	H17.10.1 ~ H20.9.30 (H23.9.30まで継続申請中)	大鵬薬品工業(株)
大学院医歯学総合研究科	歯科睡眠呼吸障害管理学講座	H17.10.1 ~ H20.9.30	フジ・レスピロニクス(株)
大学院医歯学総合研究科	生体機能性分子探索学講座	H17.11.1 ~ H20.10.31	(株)常磐植物化学研究所
大学院医歯学総合研究科	分子肝炎制御学講座	H18.4.1 ~ H21.3.31	シェリング・プラウ(株)
大学院医歯学総合研究科	消化管先端治療学講座	H19.4.1 ~ H22.3.31	日清キョーリン製薬(株) / 旭化成メディカル(株) / 味の素ファルマ(株) ユーシービージャパン(株) / 大塚製薬(株) / エーザイ(株) (株)JIMRO / セリア新薬工業(株) / 田辺製薬(株)
大学院医歯学総合研究科	脊椎・脊髄再生治療学講座	H19.8.1 ~ H21.7.31	ペンタックス(株) / ストライカー・バイオテック(株) メトロニックソファモアダネック(株)
大学院医歯学総合研究科	血管病先進制御学講座	H19.6.1 ~ H22.5.31	三菱ウェルファーマ(株)
大学院医歯学総合研究科	軟骨再生学講座	H19.6.1 ~ H21.5.31	ジンマー(株)

# 平成20年度収入・支出予算

(単位:千円)

収入 総額 53,368,596 千円

支出 総額 53,368,596 千円



# キャンパス概要



医歯学総合研究棟（II期棟）（工事中）

## 医歯学総合研究棟II期の建設

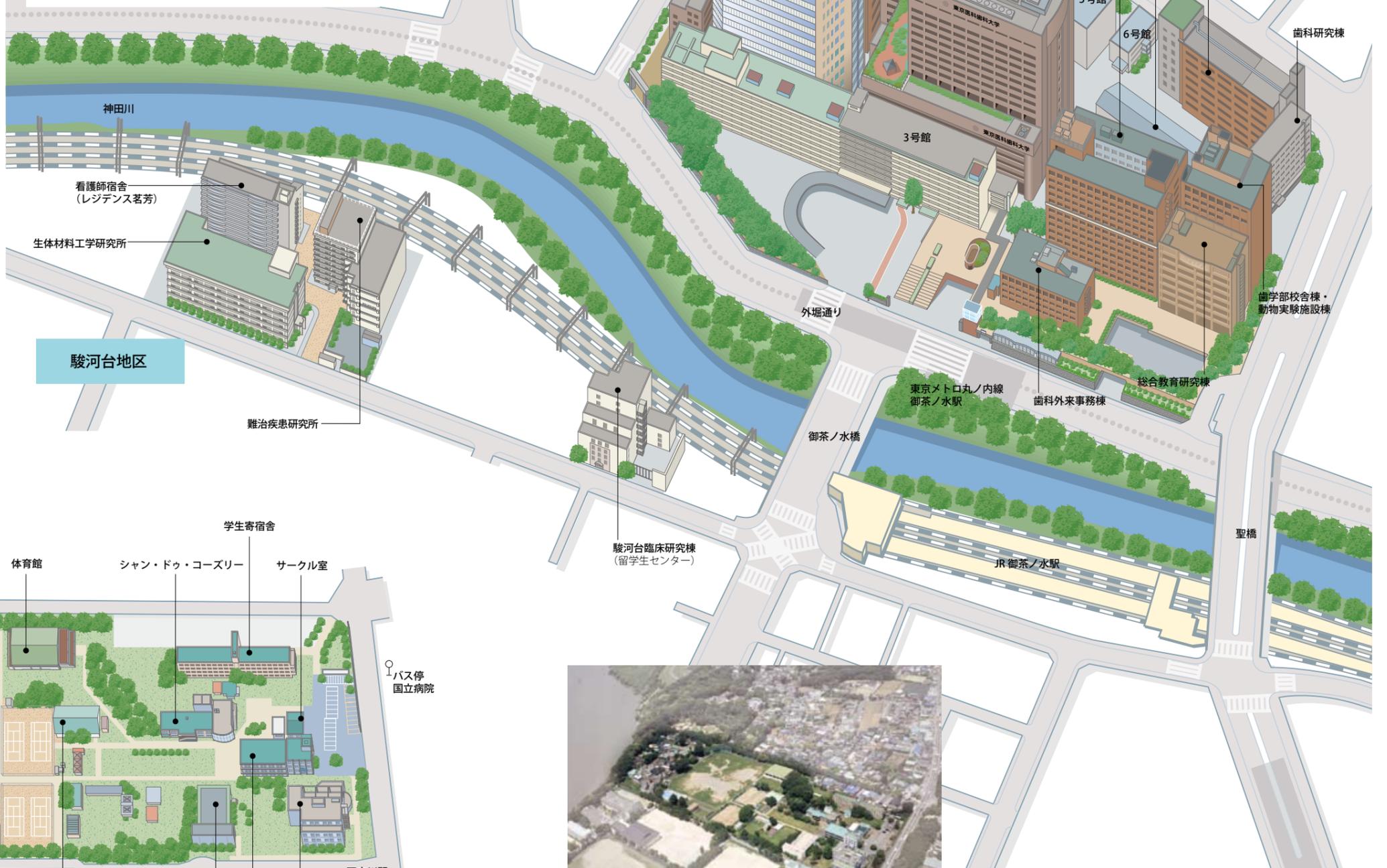
本学では、21世紀のニーズに応える研究心旺盛な高度専門職（アカデミックドクター）と世界をリードする研究者を養成するため、その核となる施設を湯島地区に建設しています。

本施設は、先進医療分野の変化に対応できる研究実験ゾーンを確保するとともに、プロジェクト的な教育研究活動に供するオープンラボや、全学または部局などで共有するコモンプラザなど、総合的・複合的な共同利用空間を確保し、施設を有効活用できるよう計画しています。

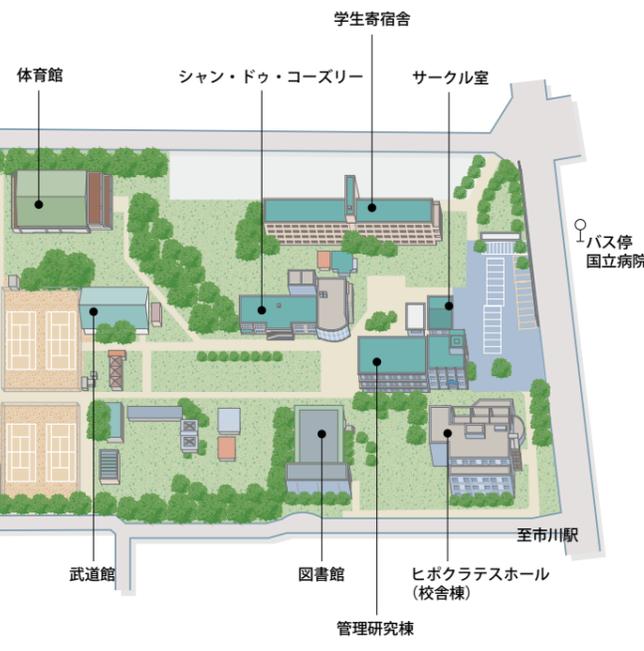
※完成イメージ図（実際とは異なる場合があります）



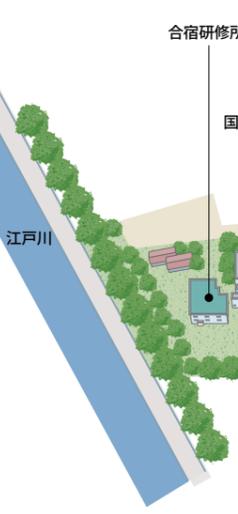
2号館・附属教育施設等



## 駿河台地区



## 国府台地区



# 土地・建物及び所在地

(平成 20 年 5 月 1 日現在) (May 1, 2008)

**湯島地区** Yushima Campus ■土地 Grounds (sq. Metre) : 45,192 m<sup>2</sup> ■建物 Buildings (sq. Metre) : 237,832 m<sup>2</sup>

名称 Name	郵便番号・所在地・電話番号 Zip code・Address・Telephone
事務局 Administration Bureau / 大学院医歯学総合研究科 Graduate School 大学院保健衛生学研究科 Graduate School of Health Sciences 大学院生命情報科学教育部 Biomedical Science PhD Program 大学院疾患生命科学研究所 School of Biomedical Science	〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45 5-45, Yushima 1 chome, Bunkyo-ku, Tokyo 03-3813-6111
医学部 Faculty of Medicine 医学部附属病院 University Hospital, Faculty of Medicine	〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45 5-45, Yushima 1 chome, Bunkyo-ku, Tokyo 03-3813-6111
歯学部 Faculty of Dentistry 歯学部附属病院 University Hospital, Faculty of Dentistry	〒113-8549 東京都文京区湯島 1-5-45 5-45, Yushima 1 chome, Bunkyo-ku, Tokyo 03-3813-6111
附属図書館 University Library / 保健管理センター Health Service Center 疾患遺伝子実験センター Human Gene Sciences Center 先端研究支援センター Research Center for Frontier Life Sciences (機器分析センター) Instrumental Analysis Research Center for Life Science (アイソトープ総合センター) General Isotope Center / (医学部附属動物実験施設) Animal Research Center 情報処理センター Information Center for Medical Sciences 医歯学教育システム研究センター Center for Education Research in Medicine and Dentistry	〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45 5-45, Yushima 1 chome, Bunkyo-ku, Tokyo 03-3813-6111
歯学部附属歯科理工士学校 School for Dental Technicians	〒113-8549 東京都文京区湯島 1-5-45 5-45, Yushima 1 chome, Bunkyo-ku, Tokyo 03-3813-6111

**駿河台地区 (1)** Surugadai Campus (1) ■土地 Grounds (sq. Metre) : 5,047 m<sup>2</sup> ■建物 Buildings (sq. Metre) : 17,946 m<sup>2</sup>

生体材料工学研究所 Institute of Biomaterials and Bioengineering	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-10 3-10, Kanda Surugadai 2 chome, Chiyoda-ku, Tokyo 03-5280-8000
難治疾患研究所 Medical Research Institute	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-10 3-10, Kanda Surugadai 2 chome, Chiyoda-ku, Tokyo 03-5280-8050

**駿河台地区 (2)** Surugadai Campus (2) ■土地 Grounds (sq. Metre) : 532 m<sup>2</sup> ■建物 Buildings (sq. Metre) : 2,156 m<sup>2</sup>

留学生センター International Student Center	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-21 3-21, Kanda Surugadai 2 chome, Chiyoda-ku, Tokyo 03-5283-5855
--------------------------------------	---

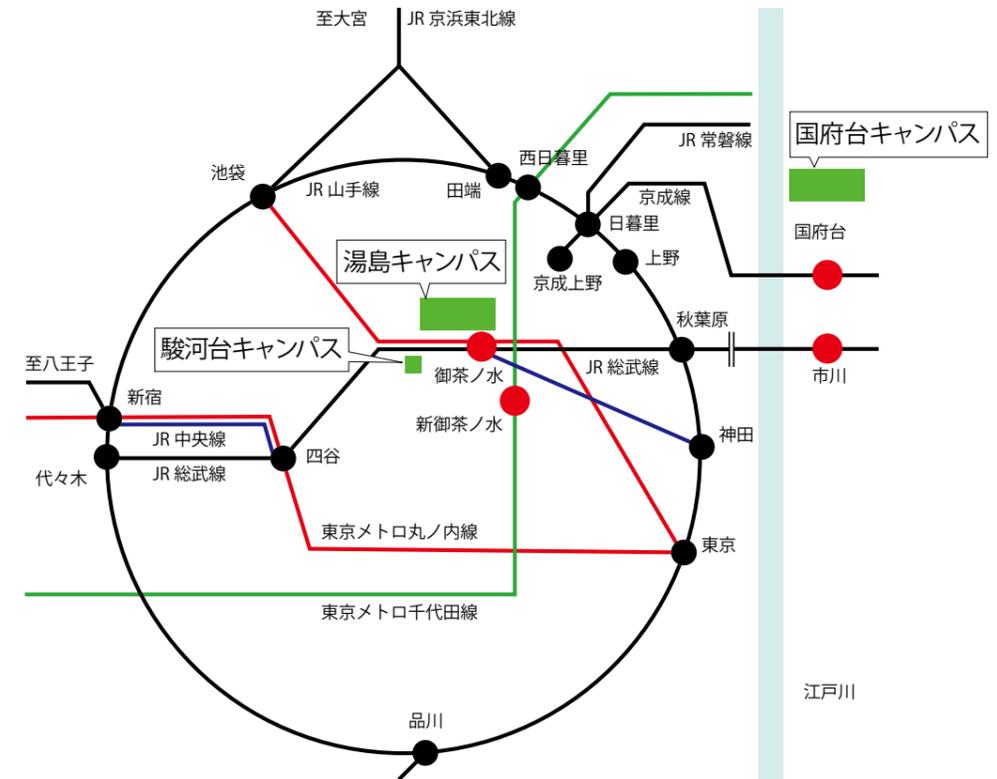
**国府台地区** Kounodai Campus ■土地 Grounds (sq. Metre) : 60,938 m<sup>2</sup> ■建物 Buildings (sq. Metre) : 13,993 m<sup>2</sup>

教養部 College of Liberal Arts and Sciences / 附属図書館国府台分館 Kounodai Branch Library 保健管理センター分室 Health Service Center, Kounodai Branch	〒272-0827 千葉県市川市国府台 2-8-30 8-30, Kounodai 2 chome, Ichikawa-city, Chiba Prefecture 047-300-7103
国際交流会館 International House 国際学生宿舎 International Student House	〒272-0827 千葉県市川市国府台 2-8-1 8-1, Kounodai 2 chome, Ichikawa-city, Chiba Prefecture 047-371-7936

名称 Name	所在地 Address	土地 Grounds (sq. Metre)	建物 Buildings (sq. Metre)
戸田地区 Toda Boat-House	埼玉県戸田市戸田公園 1-60 60, Todakoen 1 chome, Toda-city, Saitama Prefecture	691 m <sup>2</sup>	478 m <sup>2</sup>
妙高高原地区 Akakura Resort House	新潟県妙高市赤倉温泉 Akakura-Onsen, Myoko-city, Niigata Prefecture	1,655 m <sup>2</sup>	334 m <sup>2</sup>
館山地区 Tateyama, Oga-Resort House	千葉県館山市大賀 Oga, Tateyama-city, Chiba Prefecture	4,334 m <sup>2</sup>	839 m <sup>2</sup>
白山宿舎 Hakusan Residence Housing	東京都文京区白山 2-36-3 36-3, Hakusan 2 chome, Bunkyo-ku, Tokyo	495 m <sup>2</sup>	96 m <sup>2</sup>
若宮町宿舎 Wakamijacho Residence Housing	東京都新宿区若宮町 26 26, Wakamiya-cho, Shinjuku-ku, Tokyo	995 m <sup>2</sup>	
塔の山住宅 Tonoyama Residence Housing	東京都中野区中央 1-50-3 50-3, Chuo 1 chome, Nakano-ku, Tokyo	1,960 m <sup>2</sup>	1,815 m <sup>2</sup>
越中島住宅 Etchujima Residence Housing	東京都江東区越中島 1-3 3, Etchujima 1 chome, Koto-ku, Tokyo	18,136 m <sup>2</sup>	28,492 m <sup>2</sup>
納骨堂 The Ossuary (Nokotsu-do)	千葉県市川市国府台 3-10-1 10-1, Kounodai 3 chome, Ichikawa-city, Chiba Prefecture	(115)	
計 Total		139,975 m <sup>2</sup> (115)	268,393 m <sup>2</sup>

\* (注1) 駿河台地区 (1) は、生体材料工学研究所、難治疾患研究所、看護師宿舎を示す。  
\* (注2) 駿河台地区 (2) は、駿河台臨床研究棟を示す。  
\* (注3) 土地・建物の ( ) 内数字は、借用又は一時使用面積を外数で示す。

# 関係施設位置図



## 湯島キャンパス・駿河台キャンパス

JR 御茶ノ水駅 下車  
東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅 下車  
東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅 下車

## 国府台キャンパス

京成線 国府台駅 下車  
JR 市川駅 下車



## 東京医科歯科大学シンボルマーク

この図は本学のシンボルマークであり、これには、次のような意味が含まれております。

1. 東京医科歯科大学の発展の歴史と、その将来へのあるべき姿を、本学の所在地、湯島にちなんで、湯島天神-学問の神-の象徴である梅の花になぞらえて図案化したものです。
2. 花の芯に当たる中央の輪は、旧東京高等歯科医学校の校章であり、これを基盤として現在の本学があることを示しております。
3. 5 枚の花弁は、医学部、歯学部、教養部、生体材料工学研究所、難治疾患研究所の 5 部局を表し、それらが、がっちりスクラムを組んで花を咲かせているという本学の姿を表現しています。
4. 5 枚の花弁は、将来に向かって無限に躍進するという意図を表すために花弁の外側を肉厚にし、これによって躍動的な感覚を盛り込んでおります。